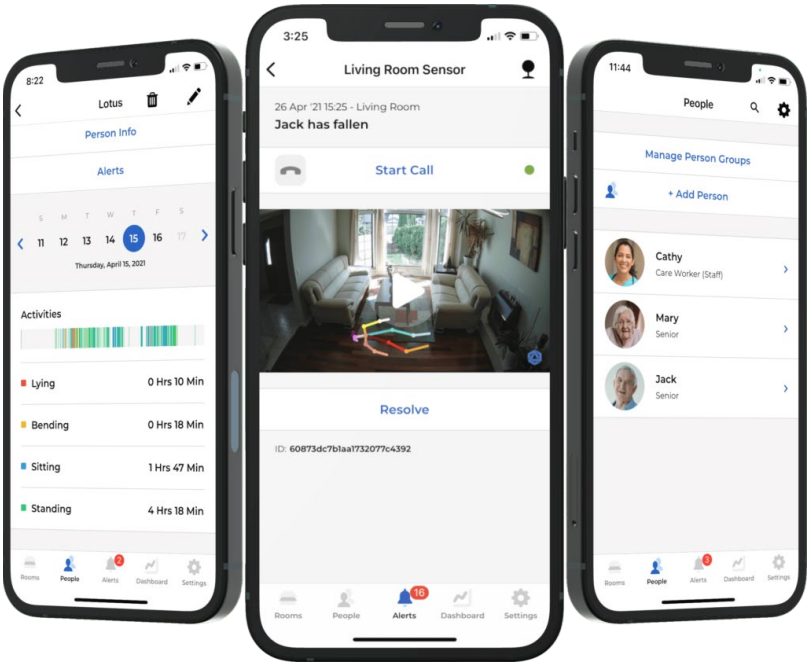
AltumView
Systems Inc.

AltumView 棒人間知能行動認識センサー

取扱説明書



2024 年 5 月 1 日

AltumView Systems Inc.

目次

改訂履歴 *6*

1. 快速入門ガイドと情報 *14*

1.1 概要 **14**

1.1.1 主な機能 14

1.1.2 主な性能 15

1.1.3 安全性能 16

1.1.4 主要な技術仕様 16

1.1.4 3D 図 17

1.2 Apple Store からアプリをインストールする **18**

1.3 アンドロイド アプリのインストール **18**

1.4 アカウントを追加 **18**

1.4.1 アプリの許可 19

1.5 センサーをアカウントに追加して WiFi を設定する **19**

1.6 棒人間センサーを取り付ける **19**

1.6.1 その他の設置方法 21

1.7 センサーのキャリブレーション **22**

1.8 免責事項、制限事項、および使用のコツ **23**

1.8.1 免責事項と人工知能アルゴリズムの制約 23

1.8.2 転倒検出の使用のコツと代替策 24

1.8.3 アラートの数を減らす方法 24

1.9 よくある質問と回答 **25**

1.9.1 既知の問題点 25

1.9.2 その他の問題点 26

1.9.3 一般的なトラブルシューティングの流れ 28

1.10 技術サポート **28**

1.11 認証 **28**

1.12 米国 FCC 干渉声明 **29**

1.13 カナダ ISED 干渉声明 **30**

1.14 オーストラリア GACA 干渉声明 **30**

2. ユーザーアカウント管理 *31*

2.1 サインアップ **31**

2.2 ログイン **33**

2.3 二次ユーザー 34
3. 部屋管理 35
3.1 部屋リスト 35
4. センサーの管理 37
4.1 新しいセンサーの追加 38
4.1.1 新しいセンサーを追加する 39
4.1.2 WiFi の設定 41
4.1.3 ファームウェアのアップグレード 44
4.1.4 キャリブレーション 46
床スイッチの自動検出 49
背景のプライバシー設定 49
4.1.5 その他の重要な設定 51
4.2 リアルタイムでセンサーを確認し、セットアップ 51
4.2.1 センサー名の変更 52
4.2.2 ディスプレイの更新 52
4.2.4 棒人間の動画を見る 53
4.2.5 拡大 53
4.2.6 音声通話 54
4.2.7 センサーの再起動 55
4.2.8 キャリブレーション 55
4.2.9 リモートの再キャリブレーション 55
4.2.10 関心のある領域(ROI) 56
4.2.11 転倒検出の設定 61
4.2.12 助けを求める検出設定 62
4.2.13 Wi-Fi の管理 63
4.2.14 ファームウェアのアップグレード 64
4.2.15 センサーの部屋の変更 64
4.2.16 センサーの削除 64
4.2.17 詳細設定 65
4.2.18 ナイトビジョンの設定 66
4.2.19 LED ライトの制御 66
4.2.20 アラーム送信時のセンサー警告音 67
4.2.21 ローカルビデオ録画 67
4.2.22 棒人間録画 68
4.2.23 HDMI 出力（サイプレスのみ） 68
4.2.24 工場出荷状態のリセット 69
5. 人の管理 72
5.1 グループ管理 72
5.2 人の添加 73
5.3 個人情報 76

6. アラート 79

6.1 アラート 79

6.2 誤報の管理 81

7. 転倒リスク評価 83

7.1 概要 83

7.2 モース転倒リスク評価尺度 83

7.3 歩行解析 85

7.3.1 部屋の設定 85

7.3.2 歩行テスト 85

7.4 最終的なモース転倒リスク評価 86

8. ダシュボード 88

8.1 来訪記録 90

9. アカウント設定 92

9.1 アカウント 92

9.2 アカウントの強化とサブスクリプションプラン 92

9.3 アカウント設定 94

9.3.1 棒人間のプレゼンテーション 94

9.3.2 重複アラート防止 94

9.3.3 センサーオフライン通知 94

9.3.4 定期的な電子メールの概要 94

9.4 アプリの設定 95

9.4.1 プッシュ通知の状態 95

9.4.2 ダークモード 95

9.4.3 アプリのバージョン 95

9.5 セカンダリユーザー 95

9.6 サポート 97

9.6.1 センサーの工場出荷時リセット 97

9.6.2 取扱説明書を見る（PDF） 97

9.6.3 ファームウェア・リリースのお知らせ 97

9.7 法的方針 97

9.7.1 ご利用規約を見る 97

9.7.2 プライバシーポリシーを見る 97

9.8 アカウントの操作 98

9.8.1 アカウントの切り替え 98

9.8.2 ログアウト 99

9.8.3 アカウントの削除 99

9.8.4 フィードバックを提供する 99
10. ブラウザーインターフェース 100
10.1 部屋 102
10.2 人 103
10.3 アラート 104
10.4 棒人間のビデオストリーミング 104
10.5 訪問記録 105
11. サードパーティ API 連携 107

AltumView Systems Inc.

改訂履歴

日付	バージョン
2019 年 10 月 23 日	ファームワエアバージョン：0.6.225 アプリバージョン：1.4.6
2019 年 11 月 12 日	ファームワエアバージョン：0.6.225 アプリバージョン：1.4.6 フォーマットとマイナーチェンジ
2019 年 11 月 14 日	ファームワエアバージョン：0.6.227 アプリバージョン：1.5.0
2019 年 11 月 16 日	ファームワエアバージョン：0.6.228 アプリバージョン：1.5.0
2020 年 2 月 8 日	章の順番の並べ替え
2020 年 2 月 25 日	ファームワエアバージョン：0.7.242 アプリバージョン：1.7.9
2020 年 4 月 5 日	ファームワエアバージョン：US-0.7.248，CN-0.7.259，CA-0.7.262. アプリバージョン：1.7.24 Changes：1.3，1.5，2.1，3.2，4.1，4.2.5，4.2.13，4.2.14，4.2.16，5.2，7.1
2020 年 8 月 6 日	ファームワエアバージョン：CA-0.8.268，CN-0.8.264，US-0.8.253 or later アプリバージョン：2.2.18 or later 主な変更点: • 新しい特長：転倒リスク評価（Chapter 7） • 新しい特長:誤報管理（Sec. 6.2） • エリアとゾーンを合併し“部屋”にした • 他の変更により誤報を減らした • 遅延と帯域幅の低減により生ビデオ性能を向上した • 再起動や工場出荷状態のリセットを Bluetooth で実現 • 双方向通話にスピーカーを動作させる • 双方向オーディオサーバー接続インジケータを追加する • LED と警告チャイムのトグルを追加する • 手を振る感度を上げる
2020 年 11 月 9 日	ファームウェアバージョン：CA-0.8.274，CN-0.8.268，US-0.8.260， アプリバージョン：2.4.16 主な変更点:新機能:関心領域(第 4 章) • 新機能：ユーザー グループ（第 5 章） • 新機能：Web インターフェイス（第 10 章） • 「徘徊リスク」フラグは削除され、徘徊リスクを持つ人々のための人グループを定義することによって達成することができる • ROI マップをバックグラウンドで表示する • フロア マップの色を変更づる

	• 棒人間が色付になる。 • 顔認識と追従機能改善。 • IR ライト制御機能改善。 • ブルーツルース接続改善 • 中国語の WIFI 名対応問題を修正
2021 年 2 月 15 日	ファームワエアバージョン： CA-0.9.280, CN-0.9.273, US-0.9.268 アプリバージョン: 2.5.6 主な変更点: • 個人情報と病歴のページの増設 • ダッシュボードに［訪問]ページの追加 • 夜間モード時の手振り検知機能の改善 • 転倒遅延の工場出荷設定が OFF に変更 • 画面表示の工場出荷設定が 「自然モード」に変更
2021 年 5 月 18 日	ファームワエアバージョン：CA-0.9.281, CN-0.9.274, US-0.9.269 アプリバージョン： 2.5.28 主な変更点: • アプリとセンサー名を「棒人間」にした • 部屋とセンサーのナビゲーションの改善のため、部屋ページ更新 • 口座移転関連部分の更新 • 人の追加関連部分の更新
2021 年 7 月 20 日	ファームワエアバージョン：CA-0.9.285 、US-0.9.271、CN-0.9.275 以降 APP バージョン：2. 7.20 主な変更点: • 棒人間アニメ録画と再生機能のページの追加 • 部屋ページでデバイスのオンライン/オンラインの表示 • ダシュボードページで人とデバイスステータス概説 • 転倒リスク評価など、他の機能を改善する
2021 年 11 月 20 日	ファームワエアバージョン: サイプレスセンサー: 変更なし 第二世代センティネアセンサー: US-0.1.177, CN-0.1.177 CA-0.1.182 アプリバージョン：2. 7.46 またはその以降 主な変更点: • 第二世代センティネアファームワエア ○ 通話ができる。 ○ 転倒リスク評価機能ができる。 ○ 反転ビュのバグを修正する

	○ iOS12 の場合の IPhone6/6s/7 の WIFI バグをクリア ○ 画面変色の問題をクリア • アプリ： ○ 転倒リスク評価のユーザーインターフェースの改良 ○ APP を最小化になり、スクリーンをＯＦＦになった時、ストリーミング停止の問題をクリア ○ セッションの期限切りの問題をクリア ○ プライバシモード設定画面を“部屋”から“校正”へ移動される。 ○ 「人」の画面を改善
21 年 12 月 20 日	ファームワエアバージョン: • サイプレスセンサー: US-0.9.274, CN-0.9.277, CA-0.9.287. • 第二世代センティネア: US-0.1.182, CN-0.1.184, CA-0.1.189. App: 2.7.54 主な変更: • サイプレスファームワエア：低照度モード • 第二世代センティネアファームワエア: o 低照度モード o たまにあった顔認証不良のバグ解決 o WiFi 接続バッグ解決 o 一部の棒人間録画バグ解決 • アプリ: o Bluetooth,ネットワーク、ロケーションなどによる承認要請問題解決 o デバイスページとキャリブレーションページの両方で、プライバシーと反転インストール設定を提供する o Bluetooth タイミング制御の改善 o アラームページでセンサーページを開くオプションを追加

22 年 3 月 21 日	ファームワエアバージョン: • 初世代サイプレスセンサー:US-0.9.274, CN-0.9.277, CA-0.9.287. • 第二世代センティネアファームワエア: US-0.1.184, CN-0.1.186, CA-0.1.191. • アプリ: 2.8.48 主な変更点: • 米国サーバーに Alexa Together に連結する。 • サブスクリプションを購読するページを増設 • 人のページに多肢選択式の健康状態を追加する • 手振りトグルと手振り感度トグルの組み合わせ • すでに別のアカウントにあるデバイスを追加しようとすると、デバイスの現在のアカウント情報が表示される • 電源を入れた時に白色光が点滅する問題を解決 • WiFi および Bluetooth 接続プロトコルが大幅に改善
22 年 5 月 11 日	ファームワエアバージョン: • 初世代サイプレスセンサー: 変更なし. • 第二世代センティネアセンサー: US-0.1.205 (米国), CA-0.1.205 (カナダ), CN-0.1.205 (中国). • アプリバージョン: 2.8.71 主な変更点: • アカウントから除去する時、ネットワークの構成と警報を正しく消去する。 • MQTT に加入すると、「接続」メッセージをサーバに送信しなくなる。 • リセット後に LED が黄色に点滅する不具合(まれ)を修正した。 • IR モードが調整され、暗視機能が改善された。 • BLE 広告を 10 秒遅らせる。 • LED の色は、Cypress と一致するように、手動の工場出荷時設定へのリセット中に赤ではなく紫に変わる。LED は環境によって照明が調整する。

22 年 6 月 27 日	ファームワエアのバージョン: • 初世代サイプレスセンサー:変更なし. • 第二世代センティネアセンサー: US-0.1.206（米国), CA-0.1.206（カナダ), CN-0.1.206（中国). アプリのバージョン: 2.8.89 主な変更点: • センサーがサーバーに多数のアラートを送信することがあるバグを修正した。 • 追加されたセンサが、与えられた名前および追加された指示ではなく、シリアル番号をブロードキャストするというエラーを修正した。 • ユーザーインターフェースの改善。
2022 年 9 月 18 日	ファームウェアのバージョン: • 初世代サイプレスのセンサー:変更なし • 第二世代センティネアセンサー：US-1.0.228, CA-1.0.228, CN-1.0.228. • アプリのバージョン: 2.9.06. 主な変更点: • 新性能:制限区域アラームに「誰でも検知する」機能を追加。制限区域に人が入ったことを検知すればアラームを送信するため、顔認識は不要だ。これは顔認識が信頼できない時に非常に役に立つ。 • 手を振るアラームの改善:群衆のタイプが「高齢者」の人だけがセンサーに向かい、顔がセンサーに認識された時に手を振ってアラームを鳴らすことができる。手を振るトリガーのロジックも微調整した。 • 音声通話の品質を上げる。 • iPhone でアイコンを入力する場合、頭が丸枠内にあり、かつ左右の偏角が 45 度以内の場合は、丸枠が緑色になり、写真が要求に合っていることを示す。そうでない場合は赤色となる。画像が 4 枚未満の場合は、黄色の警告が表示される。 • 無料プランのセンサー数を 5 台に引き上げる。 • ユーザーインターフェースを改善する。 • 校正情報の紛失問題を改善する。 • wi-fi: wpa2-psk +FT (Fast Transition)モードに対応。

2023 年 2 月 27 日	ファームウェアのバージョン： • 初世代のサイプセンサー:更新されていない。 • 第 2 世代センティネアセンサー:US- 1.1.239, CA-1.1.239, CN- 1.1.239 • アプリバージョン:2.9.48 主な変更点： • 新性能： o 関心領域内滞留検出オプションが追加され、転倒検出のバックアップとして使用される。 o 関心領域に不在検出オプションが追加される o 毎週(無料プラン)と毎日(有料プラン)はメールでアカウントのダイジェストを送る o セカンダリーユーザーアクセス制限:プライマリユーザーがセカンダリーユーザーアクセスの担当者と部屋を設定できる(有料プラン) o 新しい設定可能なハンドオーバー検出:デフォルトでは誰でもハンドオーバー警報をトリガすることができる。ユーザーがカスタマイズして人々を触発することができる o センサーの LED は完全に消せる o 通報処理の日時を示している。 • **転倒検知性能が格段に向上する。** • 音声通話の接続率と通話品質を向上させた。 • パスワードは、セキュリティ向上のために 10 文字以上が必要(既存のパスワードでも使用可能) • 改善された WiFi の強度表示 • bluetooth の処理性能が向上 • 人の写真が不足していると警告表示がオン/オフできる。
2023 年 5 月 29 日	マニュアルに第三世代の棒人間センサーに関する内容を追加する
2023 年 7 月 31 日	ファームウェアのバージョン： • 初世代のサイプセンサー:更新されていない。 • 第二/第三世代センティネアセンサー:1.1.245 • アプリバージョン:2.9.77 主な変更点： • 第三世代の棒人間センサーのアイコンを追加した。 • 警報音を 10db を増加した。 • 棒人間以外に、人物のシルエットの選択肢を追加した。 • API の統合には、許可を取得する必要がある。 • アプリケーションの設定画面に変更がある。 • iOS デバイスの上では、アプリケーションが開いている状態で警報が受信されると、警報音が再生され、振動が作動する。 • Bluetooth 接続の性能を向上させた。

	• 手を振って警報は、人がセンサーに向かっている時にのみ作動する。 • 制限エリアの感度を向上する：棒人間のいずれかの重要なポイントが制限エリア内にある場合にアラートが発生する。 • ファームウェアのバージョンが 1.1.245 かまたはその以上の場合、サーバーを切り替える際にファームウェアのバージョンを更新する必要なし。 • セクション 1.8.2 及び 1.8.3 に、センサーを使用する際のいくつかのテクニックを追加した。
2023 年 11 月 1 日	ファームウェアのバージョン： • 初世代のサイプセンサー:更新されていない。 • 第二/第三世代センティネアセンサー:1.1.254 • アプリバージョン:2.9.112 主な変更点： • 新機能 o リモートキャリブレーションが可能 o 第三世代棒人間ンサーのローカルマイクロ SD カードビデオ録画（内部ベータ版、個人アカウントのみ利用可能） o 関心がある領域は時間ウインドウの定義が可能 • 手を振って助けを求める検出精度は向上になった。 • 手を振って助けを求める：高感度では手を挙げるだけでよく、手を振る必要はない。 • キャリブレーションにより、床検出アルゴリズムを実行する前に、背景写真を満足するまで複数回更新可能 • キャリブレーション中に背景写真を更新すると、センサーが音声で警告を発信する。
2024 年 2 月 12 日	ファームウェア/アプリのバージョン ： • 初代サイプセンサー： 更新なし • 第二/第三世代棒人間センサー: 1.1.433 • アプリバージョン: 2.9.124 変更内容： • 新機能 o 隠しネットワークへの接続を Wi-Fi 名の入力で許可 • 特に低ビットレートおよび弱い Wi-Fi 信号において、Wi-Fi 接続性能が著しく向上 • 弱い Wi-Fi 信号を示すアイコンを追加 • キャリブレーション速度の向上 • センサーが下向きに取り付けられている場合に発生する過剰な手振りアラームを修正

	• デバイスログの改善と削減 • 日付と時間の設定ロジックの改善 • ユーザーインターフェースの改善 • 「人」ページで二次ユーザーに人を割り当てることを許可 • サブスクリプションに影響する可能性のあるバグを修正 • 一部の状況で Alexa に接続した後にプッシュ通知が受信されない問題を修正
2024 年 5 月 1 日	ファームウェア/アプリのバージョン ： • 初代サイプセンサー： 更新なし • 第二/第三世代棒人間センサー: 1.1.454 • アプリバージョン: 2.9.142 変更内容: • 新機能 o センサーページと記録ページにアクティブエリアヒートマップボタンを追加 o 3 つの感度を持つ転倒検出設定ページを追加。低感度はバージョン 1.1.433 の転倒検出機能。中（デフォルト）および高感度は新しいバージョン • 改善点: o 手振り検出を改良し、誤報を減少 o 企業プランのアカウントには「サブスクリプション管理」コマンドが表示されない

1. 快速入門ガイドと情報

1.1 概要

「AltumView 棒人間知能行動認識センサー」をご利用いただき、ありがとうございます！この製品は、介護や遠隔健康など、さまざまなシーンで使用できます。内蔵された AI チップには、さまざまな学習アルゴリズムが実行され、活動（高齢者や病人など）を監視し、さまざまな行動の統計データを収集することができます。緊急事態（転倒など）が発生した場合、センサーはすぐに家族や介護者に警告を送信します。プライバシーを保護するため、センサーは原始映像ではなく、棒人間アニメーションのみを外部に転送します。これにより、寝室やバスルームを含む家庭のあらゆる部屋で使用できます。棒人間アニメーションは、貴重な医療データとして、高齢者の健康状態の分析、事故の調査と分析の改善、介護施設のサービスの質の向上、パーキンソン病、アルツハイマー病、うつ病などの病気の早期発見を支援することができ、医師や患者のリハビリテーション治療にも役立ちます。

本説明書のほとんどは、第 1 世代の棒人間センサーサイプレス（2008 年リリースされました）、第 2 世代の棒人間ーセンティネアセンサー（2021 年にリリースされました）及び第 3 世代の棒人間センサー（2023 年リリースされました）に適用されます。異なる点については、それぞれ別途説明します。

Cypress

Sentinare 2

Sentinare 3

1.1.1 主な機能

棒人間センサーの主な機能は以下の通りです。今後、より多くの有用な新機能を提供していく予定です。

- プライバシ保護
- 転倒検知
- 転倒リスク評価機能
- 手を振って警報
- ROI（感心のある領域設定機能）
    - 入退室管理

  - 立入禁止エリア
  - 滞在検知
  - 不在検知
- 顔認証
- アクティビティ統計データ
- アクティビティヒートマップ
- 棒人間アニメ録画
- 通話機能
- 夜間赤外線モード
- セカンダリユーザー
- 日次/週次のアカウント概要をメールで送信
- スマートホン APP と WEB インターフェース
- サードパーティとの連携用 API
- アマゾンの Alexa Together との連携（現在、米国でのみ利用可能）

1.1.2 主な性能

良好な照明条件下での機器の主要なパフォーマンス指標は以下の通りです（悪い照明条件やナイトビジョンモードでは性能が低下する場合があります）：

転倒検知：
- 最適検知距離：< 6 メートル
- 最大検知距離：10 メートル

手を振って救助を求めることの検知:
- 最適検知距離：< 5 メートル
- 最大検知距離：8 メートル

顔認識:
- 最適検知距離：<3.5 メートル
- 最大検知距離： 5 メートル

通話機能:
- 最適通話距離：< 5 メートル
- 最大通話距離：10 メートル

データ使用量：
- 棒人間録画機能オフ： 約 10MB/日
  - 5Mbps の場合、720p の YouTube 動画のわずか 16 秒に相当
- 棒人間録画機能オン： 約 40MB/日
  - 仮定：毎日一人がセンサーの視野に約 10 時間現れる場合
  - 5Mbps の場合、720p の YouTube 動画のわずか 1 分に相当

1.1.3 安全性能

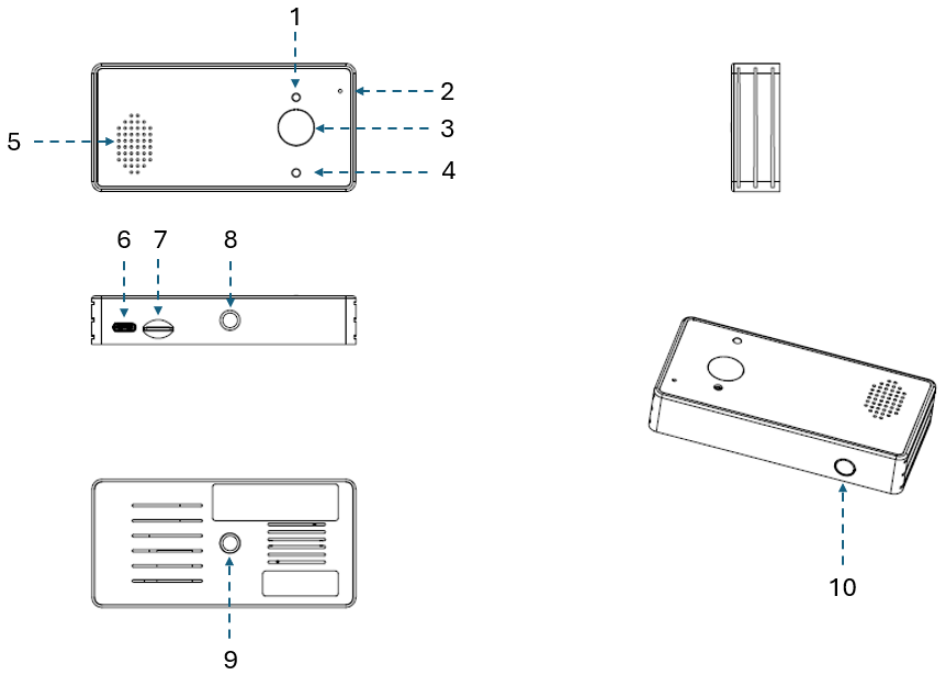
弊社のシステムは、TLS/SSL 暗号化プロトコル、AWS セキュリティプロトコル、OAuth 2.0 認証プロトコル、および軽量で拡張可能な MQTTS プロトコルを含むさまざまなセキュリティプロトコルを採用しています。また、システムはビデオではなく、棒人間のアニメーションのみを転送するため、従来の監視カメラシステムよりも安全です。さらに、データが元の国/地域から離れないように、異なる国々に AWS クラウドサーバーを設置しています。

1.1.4 主要な技術仕様

製品名	Sentinare 2/3
CPU	Rockchip RV1126
メモリー	2GB
eMMC メモリー	8GB
4G/LTE	支持しない
Wi-Fi	Sentinare 2：2.4G/5GHz Wi-Fi，802.11a/ac/b/g/n Sentinare 3:：2.4GHz Wi-Fi，802.11b/g/n（5GHz 現在サポートしていない） WPA2-PSK 或いは WPA2-Personal 安全協議
Bluetooth	支持される
マイク、双方向オーディオ	内蔵
画像解像度	1080p
視野角	Sentinare 2：138° Sentinare 3：158°
赤外線	支持される
パワー	5W
電源供給	Sentinare 2: • 入力 AC：100～240V、50/60Hz、0.4A • 出力 DC：5V、2A、1.5m 20 AWG マイクロ USB ケーブル Sentinare 3: • 入力 AC：100～240V、50/60Hz、0.3A • 出力 DC：5V、2A、2.5m マイクロ USB ケーブル

適用場所	室内のみ
Pan/Tilt/Zoom	支持しない
サイズ	Sentinare 2: 75 x 65 x 50 mm Sentinare 3: 104 x 50 x 19 mm
重さ	Sentinare 2: 110 g Sentinare 3: 73g
パッケージの正味重量	Sentinare 2: 280 g Sentinare 3: 233g
パッケージの総重量	Sentinare 2: 400 g Sentinare 3: 462g
パッケージサイズ	Sentinare 2: 170 x 118 x 80 mm Sentinare 3: 153 x 120 x 80 mm
認証	1.11 セクションを参照してください。

1.1.4 3D 図



図示説明：

1. 環境光センサー
2. マイク
3. レンズ
4. LED ライト
5. スピーカー

6. Type-C USB 電源ポート
7. SD カードスロット（未起動）
8. 底部の 1/4 インチ取り付け穴
9. 背面の 1/4 インチ取り付け穴
10. 工場出荷時設定リセットボタン

1.2 Apple Store からアプリをインストールする

iOS 版 Sentinare App（旧名：Cypress）は、AltumView のウェブサイ www.altumview.com or または www.altumview.ca からダウンロードするか、Apple App Store で「Sentinare Activity sensor」と検索するか、以下のリンクからダウンロードすることができます：
https://apps.apple.com/app/sentinare-activity-sensor/id1426892725

1.3 アンドロイド アプリのインストール

アプリのアンドロイドアプリは、次のリンクからダウンロードすることができます。

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.altumview.app

https://altumview.ca/android-download/

1.4 アカウントを追加

棒人間センサーから新しいアカウントを作成するには、まずお客様の国のサーバーを選択してください。各センサーは 1 台のサーバーのホワイトリストにあらかじめ登録されています。お客様の国/地域にサーバーがない場合は、米国サーバーを選択します。詳しくはセクション 2 を参照してください。

1.4.1 アプリの許可

Sentinare アプリケーションは正常に機能するために特定の権限が必要です。アプリケーションおよび特定の機能を初めて使用すると、以下の権限が要求され、これらの権限をアプリケーションが実行されている間に許可してください。これらの権限は、モバイルデバイスの「設定」ページで変更できます。

- プッシュ通知（棒人間センサーからの警告を受信する許可）
- ブルートゥース
- 位置情報（Bluetooth の使用のため）
- ローカルネットワーク（音声通話のため）
- マイク
- カメラ

注意事項：多くの携帯電話には省電力設定があり、棒人間アプリがバックグラウンドで実行されている場合、これらの設定がプッシュ警告通知を無効にする可能性があります。棒人間アプリがプッシュ通知を有効にしていることを確認するため、お客様の携帯電話のユーザーマニュアルを参照してください。時々、複数の省電力設定を変更する必要があります。iPhone の場合は、「設定/バッテリー」ページで低電量モードをオフにしてください。

1.5 センサーをアカウントに追加して WiFi を設定する

複数の設置場所を試して最適な場所を見つける必要があるので、センサーをアカウントに追加して WiFi を設定してから設置することをお勧めします。詳細については、第 2 章、セクション 3 および 4 を参照してください。

センサーの電源を入れ、LED が約 20 秒間白く点滅するのを待ってください。アプリの「部屋」ページに移動し、部屋を展開して［+ デバイスを追加］をタップします。検索リストから新しいセンサーを選択し、名前を付けます。センサーは利用可能な WiFi ネットワークを一覧表示し、WiFi を選択してパスワードを入力します。ファームウェアのアップグレードを求められた場合は、ファームウェアを更新してください。「キャリブレーションが必要」の画面で、「後で」を選択します。

1.6 棒人間センサーを取り付ける

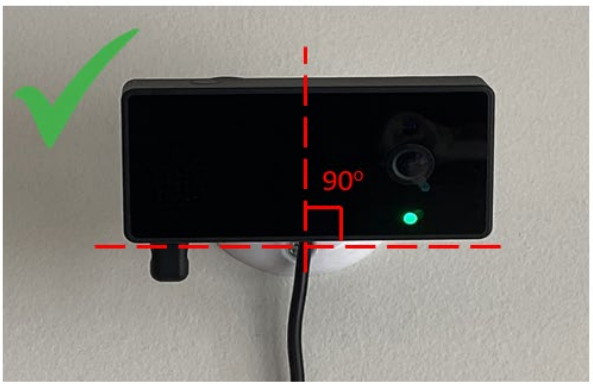
センサーの電源を切ってください。床から約 1.5～2.5 メートルの高さの設置位置を見つけてください。もしセンサーを一時的に取り付ける場合、テープなどを使用することができます。センサーをわずかに下向きに傾けて、ほとんどの部屋と床を監視できるようにし、遮蔽物がない状態で転倒検出を行ってください。センサーを左右に傾けないようにし、レンズと LED ライトの配線は垂直に配置される必要があります。さもないと、転倒アルゴリズムが誤報を生成する可能性があります。

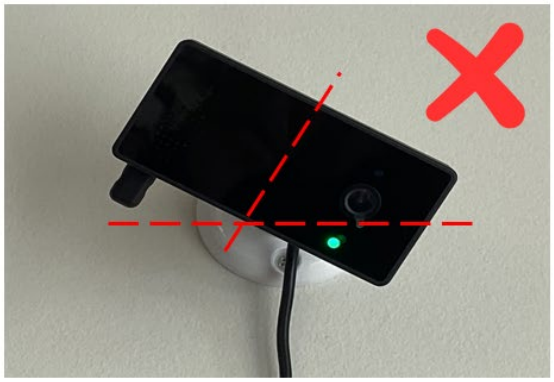
注意点：人脸认识機能を使用する場合、センサーの取り付け高さが 2m を超えないようにすることをお勧めします。そうしないと、センサーが顔を正しく認識できず、顔認識の性能に影響を与える可能性があります。

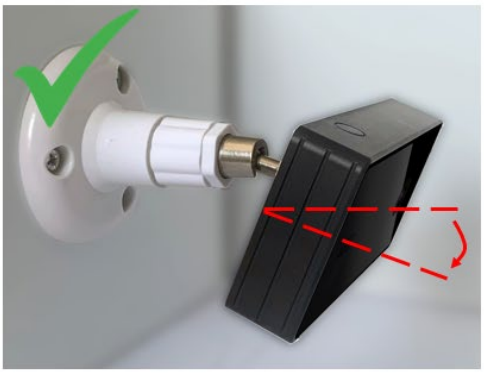
センサーのブラケットが水平面や壁上や天井などに取付られます。

センサーは逆さまに取り付けることもできます。バックインストールの場合は、アプリ内でバックインストールフラグを開く必要があります。詳しくは第 2 章のセクション 4 でご参照ください。

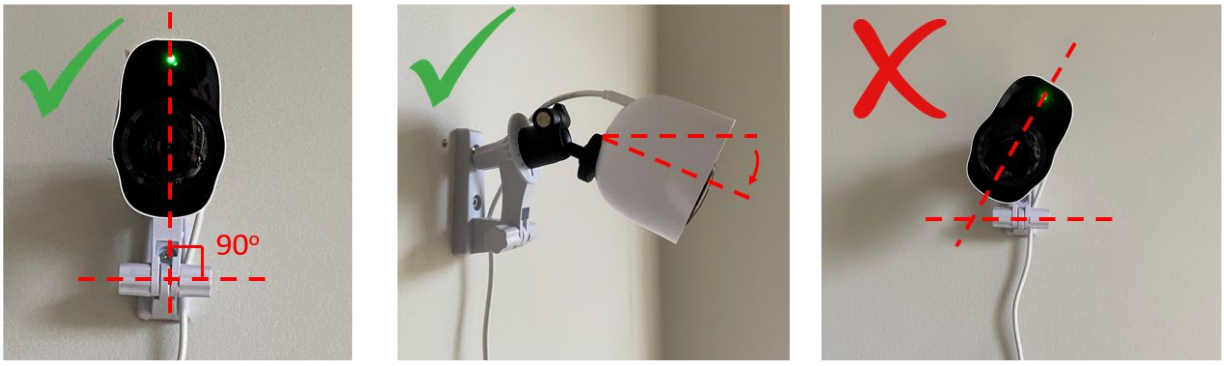
以下は第三世代の棒人間センサーの設置方法です。第三世代の棒人間センサーには 2.5 メートルの USB-C ケーブルが付属しています。必要に応じて、他の USB-C ケーブルを使用することもできます。なぜなら、USB-C ケーブルはすべて最低でも 3A の電流を扱えるためであり、第三世代の棒人間は最大で 2A しか必要としないからです。







第二世代の棒人間センサーをオプションのモータイズドヘッドと一緒に設置する方法には、以下の方法があります。第二世代の棒人間センサーは USB 電源アダプタと 1.5 メートルの 20 AWG マイクロ USB ケーブルが付属しています。付属の USB アダプタと USB ケーブルのみのご利用をお願いします。他の USB アダプタや USB ケーブルの使用はご遠慮ください。USB ケーブルはセンサーに正常な電源を供給できない場合があります。USB ケーブルの長さが足りない場合は、交流電源の延長コードを使って USB アダプタを交流電源に接続します。



大きな窓などの強い光源にセンサーを向けるのを避けてください。

1.6.1 その他の設置方法

棒人間センサーには、1/4 インチ-20 三脚ねじ規格の標準取り付け穴があります。そのため、多くの他の取り付けブラケットと組み合わせて使用できます。以下は、当社のセンサーに使用できる 360 度ボールヘッド付きの粘着式取り付けブラケットです。両面テープの代わりにマジックテープも使用できます。

https://www.amazon.com/dp/B00BPRLNQ2

https://www.amazon.com/dp/B08MDZQ2XYhttps://www.amazon.com/dp/B08NCC2RKG

さらに、以下の取り外し可能な 3M コマンド・ランヤードを使用することができ、取り外す際に表面に跡が残りません。しっかりと固定するには、ラージサイズ（3.65 インチ x 0.73 インチ、5 ポンド用）かミディアムサイズ（2.75 インチ x 0.73 インチ、3 ポンド用）の使用をお勧めします。https://www.amazon.com/dp/B0751VFF2P

1.7 センサーのキャリブレーション

センサーのキャリブレーションの詳細については、セクション 4.1.4 を参照してください。

まずセンサーの電源を入れます。次、棒人間アプリの［センサー］の画面で、［キャリブレーション］をタップします。このアプリは、新たな背景画像の取得を支援し、転倒検知に必要な床を自動的に検知し、約 30 秒かかります。取り付けを完了する前に、キャリブレーション結果に満足するまで、センサーの位置と角度を調整してください。それに、マークされたページのツールを使用して床面積を手動で編集することもできます。

なお、センサーの位置、角度、プライバシーモードを変更した場合は、背景と床部分を更新するように再度校正しなければ、センサーが転倒を正しく検知できません。

これらの基本的な手順の後、センサーはお客様の大切な人をケアする準備が整いました！ ユーザーの追加、感心のある領域の定義、さまざまな設定の変更などの追加機能については、ユーザー マニュアルの詳細を確認してください。

1.8 免責事項、制限事項、および使用のコツ

1.8.1 免責事項と人工知能アルゴリズムの制約

他の AI 製品と同様に、当社の製品のアルゴリズムは完璧ではありませんが、我々は常にそれらを改善するために懸命に取り組んでいます. 当社の製品を購入し、当社のサービスをご利用することにより、お客様は、当社のウェブサイトおよびアプリに記載されている当社の利用規約、免責事項、当社の製品およびサービスの制限、および責任の制限などを含むことに同意するとします。特に、デバイスが設計された通り、可能性のあるすべての異常イベントを検出することは保証されておらず、エラーなしですべての情報を収集することは保証されません。当社は、このセンサーが、お客様または他者に対する事故、死亡または人身傷害を防止したり、緊急サービスへの対応による物的損害、不法侵入、不当な遅延を防止することを保証することはできず、その結果として生じるいかなる傷害、損失または損害に対しても一切の責任を負いません。これらの条項に同意しない場合は、当社の製品を使用しないでください。

以下は、当社の人工知能アルゴリズムの既知の問題と制約事項です。このリストは完全ではなく、定期的に更新されます。

- 全ての転倒や手振りなどの緊急事態を正しく検知されることはございません。その原因は照明、距離、遮断などに大きく影響されていることです。例えば、転倒後の画像で体の姿勢が垂直で真っ直ぐ（立っているような）場合、このような姿勢はセンサーの検出にとってより難しいです。
- 人の活動統計データは、特に人がベッドに横になり、毛布に覆われている場合、常に正確ではないことがあります。
- 人の顔認識性能は、高さ、顔の角度、照明条件、顔の特徴が不明な場合など、多くの原因に影響を受ける可能性があります。
- 多くの人がセンサーの視野内で密集し、その動きが重なると、一時的に顔の追跡に誤りが生じる可能性があります。
- 仮の棒人間：時々、AI アルゴリズムは他のいくつかのオブジェクトを誤って人体として検出し、非常に小さな、または固定の位置にあるいくつかの仮の棒人間を生成することがあります。問題を引き起こすオブジェクトを調整することで、これらの仮の棒人間を取り除くことができます。**棒人間の位置の動き：** AI アルゴリズムの精度に限界があるため、隣接するフレーム間で棒人間の一部のキーポイントの位置に数ピクセるの差が生じ

ることがあります。したがって、人が移動していない場合でも、アプリ内で表示される棒人間にわずかな動きがあるかもしれません。

1.8.2 転倒検出の使用のコツと代替策

棒人間センサーの転倒検出性能は、いくつかの要因に影響されます。これらの要因には距離、センサーの角度、転倒後のポーズ、照明条件、および隠蔽が含まれます。

第 1.6 章に記載されているように、可能であれば床から約 1.5～2.5m の位置にセンサーを取り付け、センサーが部屋全体と床の大部分を見渡せるように少し下向きに傾けてください。こうすることで、遮蔽による転倒検出への影響を避けることができます。

画像内で垂直に立っているようなポーズで転倒する場合、センサーは検出が難しくなります。可能であれば、センサーを設置する時に、垂直な位置での転倒が視野内に含まれないように心掛けるか、2 つのセンサーを互いに 90 度ずらして設置し、広範囲の活動をカバーします。このようにして、2 つのセンサーが同時に垂直な転倒を検出することを回避できます。

棒人間センサーは 3 つの転倒検知感度を提供します。デフォルト値は中です。被介護者の転倒リスクが高い場合、または部屋の床面積（寝室やバスルームなど）が狭く転倒検知の難易度が高い場合は、高感度に切り替えることができます。高感度に切り替えると誤報の可能性も高くなることに注意してください。

手を振って検出（セクション 4.2.8）と滞在検出（セクション 4.2.7）機能は転倒検出の代替ソリューションとして使用できます。手を振って検出は、被介護者がアラートをトリガーするためにセンサーに向かって手を振る必要があります。可能であれば、被介護者にアラートをトリガーするための手振り方法を指導してください。また、ユーザーは振り手検出の感度を調整してください。

滞在検出（セクション 4.2.7）も転倒検出の代替解決策として使用でき、特に人が長時間留まるべきでない場所（浴室、ベッドサイドの狭いところ、狭い廊下など）で有用です。この機能はまた、長時間座っている場合の検出にも役立ちます。

最後に、不在検出（セクション 4.2.7）は別の代替ソリューションとして考えられます。この機能は、特定のエリアに定期的に出現するはずの人が、設定された時間内に検出されない場合にアラートを生成します。このため、棒人間センサーのカバー範囲外で何か問題が発生した場合でも、不在検出によりアラートを送信できます。

1.8.3 アラートの数を減らす方法

アラーム（本物のアラームである場合もあれば、誤アラームである場合もある）の数を減らす方法を以下に示します：

- センサーの遅延転倒アラームをオンにします（セクション 4.2.14）。この場合、センサーは転倒検出アラームを送信する前に 30 秒間待機します。
- 「アラームの繰り返しを避ける」をオンにする（セクション 9.4）。この場合、ある部屋のセンサーがアラームを送信すると、指定された時間内に同じ部屋のセンサーから送信された後続の類似アラームは、たとえ本物のアラームであってもアプリケーション に送信されません。
- 類似アラームを無視する（セクション 6.2）：同じ場所から特定のタイプの誤報が頻繁に発生する場合、アラーム解決時に「類似アラームを無視する」フラグをオンにできます。同じ場所からの同じタイプのアラームは無視されます。この機能の使用には注意してください。詳細については、セクション 6.2 の説明をご覧ください。

1.9 よくある質問と回答

1.9.1 既知の問題点

- **ナイトビジョン：**暗視モードでの製品の性能は、昼光モードよりも悪いです。

- **IPV6 で音声通話ができない：**ユーザーの IP アドレスが IPV6 形式の場合、音声通話ができません。この問題の解決に取り組んでいます。
-
- **音声通話ができない：** WiFi ルーターによっては、セキュリティ設定により、棒人間のアプリから棒人間のセンサーへの音声通話ができない場合があります。これがお客様のケースに属するかどうかを検証するには、セクション 4.2.4 につきまして音声通話部分の方法で検証し、ルーターの設定に必要な変更をします。

- **第二世代棒人間の音声通話品質の問題：** 棒人間第二世代センティネアの音声通話には、（センサー側ではなく）アプリ側でノイズとエコーが発生しています。センサー側の音量が少し小さいかもしれません。弊社は将来のバージョンでこれらの問題を改善していきます。第 3 世代の棒人間センサーの音声通話の品質はかなり向上しています。

- **キャリブレーションが遅い：**キャリブレーション手順には通常約 30 秒かかります。インターネット接続が遅い場合、キャリブレーションに 1 分半～2 分かかることがあります。これは今後のバージョンで改善される予定です。

- **LED の白色点滅：**第二世代のセンティネアセンサーは、WiFi の電波が弱いと白く点滅します。この問題を解決するには、Wi-Fi 信号が十分に強いことを確認してから、センサーを再起動します。センサーが Wi-Fi に再接続すると青信号が表示されます。

- **ファームウェアのアップグレードができない：**センサーのファームウェアのアップグレードは、通常5分程度で完了します。アプリのファームウェアのアップグレードコマンドをクリックした後、アプリのセンサーの状態がアップグレードから通常へ急激に変化し、ファームウェアのバージョンが前のバージョンのままである場合は、再度アップグレードを試してください。それでもアップグレードできない場合は、センサーの再起動、デバイスの取り外しと再追加、工場出荷時のリセット（4.2.15 項参照）の順で異なる方法をお試しください。

- **ファームウェアのアップグレードがうまくいかない：**ファームウェアのアップグレード時に、センサーがスタックして青いランプが点滅し続けることがあります（10 分間以上）。この場合、センサーを再起動することができます。ダウンロードが完了した場合、センサーは再起動後に新しいバージョンにアップグレードされます。そうでない場合は、ダウンロードは自動的に継続され、センサーは青く点滅したままです。アップグレードを完了するために、センサーを何度か再起動する必要がある場合があります。何度か再起動しても青く点滅する場合は、工場出荷時の状態に戻して再度アップグレードしてください（4.2.15 項参照）。

  ファームウェアのアップデートがうまくいかない場合：センサーの設置場所で WiFi の電波が弱く、ファームウェアのアップデートがうまくいかない場合は、センサーを一時的に WiFi ルーターの近くに移動し、アップデート完了後に元の場所に戻してください。

- **アラーム通知の棒人間ビデオに含まれるのは 1 人だけ：**現在、アラーム通知には 1 人のみの棒人間ビデオが含まれており、その場にいた他の人は含まれません。ただし、全ての在室者は「棒人間ビデオの表示」ページに含まれています。将来のバージョンでは、全員をアラーム通知に含める予定です。

- **Web ログインエラー：棒人間**センサーWeb 版（10 項）へのログイン時に以下のエラーが発生する場合は、Web ブラウザの Cookie やキャッシュをクリアするか、ブラウザのシークレットモードを使用するか、他のブラウザの種類を使用してください：

  {"status_code": 401, "message": "Token is invalid or expired.", "success": false, "error": {"name": "AccessDeniedError", "code": 28}}

1.9.2 その他の問題点

- **メール検証：**新しいアカウントを登録した後に検証コードのメールを受け取っていない場合は、メールアドレスが正しいか確認し、迷惑メールフォルダも確認してください。

- **ファームウェアとアプリのバージョン:**センサーのファームウェアとアプリのアップデートをお願いします。ファームウェア(またはアプリ)の新機能の中には、古いバージョンのアプリ(またはファームウェア)に対応していないものもあります。

- **アプリの権限:** センティネアアプリが正しく機能するには、特定の権限が必要です。詳細情報、特にプッシュ通知を受信するための省電力機能の無効化に関する注意事項については、マニュアルのセクション 1.4.1 を参照してください。

- **WiFi のプロトコル:** セキュリティ上の理由で、WPA2-PSK プロトコルを使用した安全的な WiFi ネットワークのみがサポートされます。オープン、WEP、および WPA はサポートされていません。詳細については、第 4 章の「WiFi のセットアップ」セクションを参照してください。

- **Wi-Fi の速度が遅い場合:** 信号が弱いか速度が遅い場合、棒人間アプリで「棒人間録画」機能を無効にすることで、棒人間センサーがアプリが開いているときにのみ棒人間のビデオを転送するようにできます。

- **WiFi 信号が弱い:** 棒人間センサーの設置場所の WiFi 信号が弱すぎて、センサーが適切にオンライン状態を維持できない場合は、https://www.amazon.com/dp/B07N1WW638 のような WiFi エクステンダーの購入をご検討ください。

- **ホワイトリスト:** センサーをアカウントに追加するときに、センサーがサーバーのホワイトリストにないというメッセージが表示された場合は、センサーによって登録されたサーバーがアカウントのあるサーバーと一致しないということです。まず正しいサーバーにアカウントを登録していることを確認してください。サーバーは現在、米国、カナダ、中国にあります。 購入先住所がこれらの国にある場合、購入したセンサーは、工場出荷時にその国のサーバーのホワイトリストに追加されます。お客様は住所が別の国にある場合は、アカウントの登録に使用するサーバー（通常は米国のサーバー）をお知らせします。

- **位置変化後のキャリブレーション:** WiFi を設置した後、転倒検知機能を使用するために床のキャリブレーションを行ってください。もし自働キャリブレーション結果が不正確でしたら、手で床区域をキャリブレーションしてください。センサー位置が移動するたびに再キャリブレーションが必要です。

- **デバイスが見つかりません:** いずれの場合も、各棒人間センサーは、bluetooth を介して 1 つのデバイスまたはアプリに接続することができます。いくつかのケースで、棒人間アプリが棒人間センサーへの接続を試みた際に bluetooth オーバーエラーが発生した場合は、センサーが bluetooth を介して他のデバイスやアプリに接続されていないことを確認します。他の機器がお客様の携帯電話である場合もあります。これに該当するかどうかを確認するには、スマートフォンの設定> bluetooth の画面に移動してください。この画面にセンサーが接続されている場合は、スマートフォンの bluetooth をオフにして接続を停止し、bluetooth をオンにして再び棒人間のアプリからセンサーに接続します。デバイスを出荷時の設定に戻して bluetooth のリンクを切断することもできます。

- **繰り返し通報しないこと：** システムのさまざまなアラート機能をテストするには、設定ページの「重複アラート防止」を「なし」に設定し、すべてのアラートがアプリに送信されるようにしてください。また、転倒が検出された直後に 30 秒待たずにアラートが送信されるように、センサーページの「転倒アラート遅延」をオフにしてください。

1.9.3 一般的なトラブルシューティングの流れ

場合によっては、アプリが異常な動作をしたり、応答を停止したりする場合は、以下のような方法で強制的にログアウトし、アプリを再起動してください。

https://support.apple.com/en-ca/guide/iphone/iph83bfec492/ios
https://support.google.com/android/answer/9079646?hl=en

センサーが予期しない動作をしたり、応答を停止したりした場合は、次の手順に従ってください。

- アプリからセンサーを再起動してください。
- 問題が解決しない場合は、センサーの電源を切り、再度電源を入れてください。
- それでも機能しない場合は、アカウントからセンサーを削除して、再度追加してください。
- それでも問題を解決できない場合は、工場出荷時のリセットを実行してください。 センサーとの Bluetooth 接続が利用可能な場合、アプリを介して工場出荷時のリセットを行うことができます。 それ以外の場合、工場出荷時のリセットは、サイプレスセンサーの背面にあるリセット穴または第二世代センティネアセンサーのリセットボタンを介して行うことができます。 詳細については、セクション 4.2.15 の「再起動」および「工場出荷時設定へのリセット」セクションを参照してください。

1.10 技術サポート

技術関連のご質問がありましたら、 contact@altumview.com までご連絡ください。

1.11 認証

第二世代棒人間センティネアセンサー：

FCC ID (米国)	2ATH6-AVG20WF5
IC (カナダ)	25095-AVG20WF5
JRL (日本)	201-220353
TBL (日本)	D 22 0092 201

第三世代棒人間センティネアセンサー：

FCC ID (米国)	2ATH6-AVG30WF6
IC (カナダ)	25095-AVG30WF6
JRL (日本)	018-230017
RCM (オーストラリア)	RCMP23894 001

1.12 米国 FCC 干渉声明

FCC 規則の第 15 部分に基づき、このデバイスは試験を経て、レベル B デジタルデバイスの制限に適合します。

これらの制限は、デバイスが在宅環境で動作する場合に、有害な干渉に対する合理的な保護を提供することを目的として設計されます。この装置は、無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射することができ、仕様書に基づいて設置し、使用しない場合、無線通信に有害な干渉を及ぼす可能性があります。

ただし、特定のインストールで干渉が発生しない保証はありません。そのような機器が無線またはテレビ受信に有害な干渉をもたらす場合、機器をオフにすることおよびオンにすることによって決定することができ、ユーザは、以下の措置によって干渉を訂正することを試みることができます。

- 受信アンテナを再配置する。
- デバイスと受信機の間の距離を伸ばす。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路上のソケットに機器を接続する。
- ディーラーや経験のあるラジオ/テレビ技術者に相談する。

このデバイスは FCC 規則の第 15 部分に基づいている。本装置の動作は以下の 2 つの条件を満たします。

(1) このデバイスは、有害な干渉を引き起こさないものでなければならず、(2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信した干渉を受け入れる必要があります。

FCC 警告：
コンプライアンス責任者の明示的な承認を得ていない変更、または修正は、このデバイスを操作するユーザの権限を無効にする可能性があります。

AltumView Systems Inc.

電波障害に関する注意事項

このセンサーは、制御されない環境規制の FCC 放射線露出規制に適合しています。

本製品は、他のアンテナまたは送信機と組み合わせて使用または動作することはできません。

この装置は、提供された説明に従って設置され、操作する必要があります。この送信機のためのアンテナの設置は、全員から少なくとも 20 cm の距離を維持しなければならず、アンテナまたは送信機は、他のいかなる装置とも並置または一緒に動作してはなりません。

1.13 カナダ ISED 干渉声明

本製品はカナダ工業省の無許可 RSS 要件を満たしており、以下の 2 つの条件を満たす必要があります。

(1)有害な干渉を起こさず、かつ

(2)本製品は、予期せぬ動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、受信した干渉を受け入れなければなりません。

重要な注意事項:

放射線被曝に関する声明:

本製品は、制御されない環境規制の IC 被曝規制に適合しています。このデバイスを設置および操作する際、デバイスとお客様の体との間の距離は少なくとも 20 センチメートルである必要があります。

カナダ工業省(IC)

CAN ices-3 (B)/ nmb-3 (B)

1.14 オーストラリア GACA 干渉声明

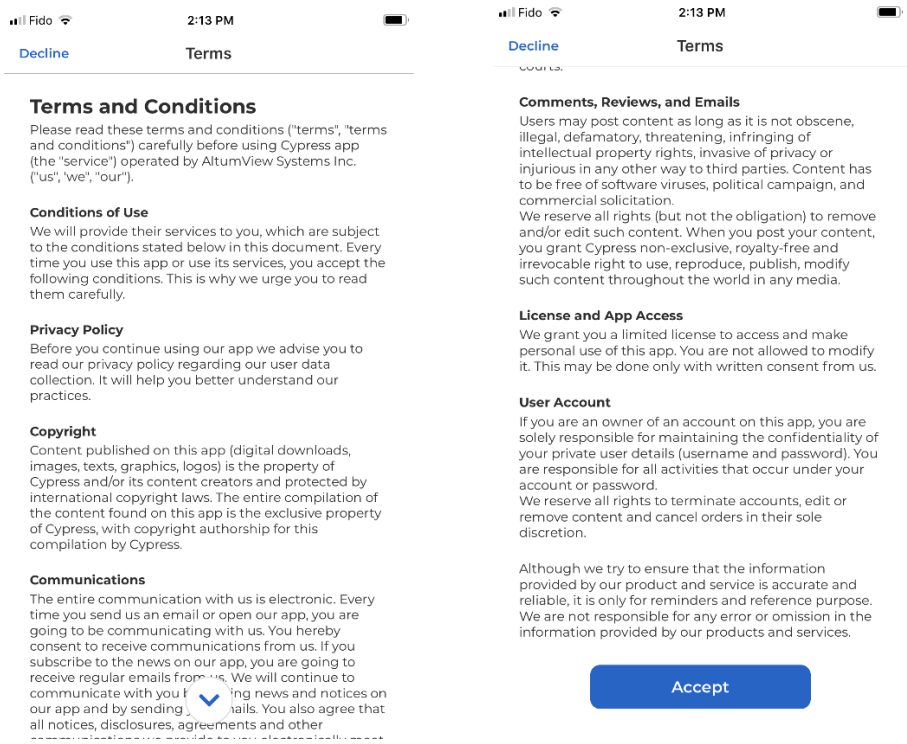
GACA がこのデイバスが適合すると承認した標準/規制は次の通りです:

	規範
ACMA 承認	AS/NZS CISPR 32: 2015+A1: 2020, AS/NZS 4268: 2017+A1: 2021, AS/NZX 2772.2: 2016+A1: 2018,
	ARPANSA RPS S-1 Radiation Protection Series S-1 (Rev.1) (Test report: SZCR230900316101, SZCR230900315103, SZCR230900316104)

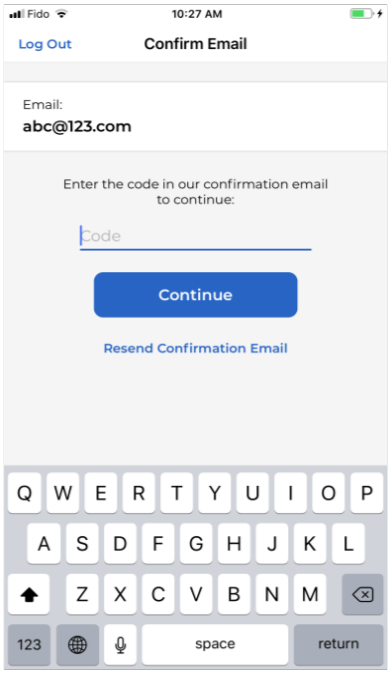
2. ユーザーアカウント管理

2.1 サインアップ

- 棒人間のアプリを開き、フラントページの「サインアップ」をタップしてください。
- 「サインアップ」ページで、鉛筆アイコンをタップしてサーバーの場所を選択します。日本の顧客様は次の図のように**米国**のサーバーを選んでください。
- 名前、メールアドレス、パスワードを入力し、「サインアップ」ボタンをタップします。今後のログインには、電子メールアドレスとパスワードが必要です。パスワドには 10 文字以上の英大文字、小文字、1 桁の数字、および特殊文字を少なくとも 1 文字含める必要があります。
- 本製品をご利用いただくには、弊社サービスの利用規約をご利用いただく必要がございます。ご登録画面で「利用規約」をクリックし、**ご利用規約をよくお読みの上、**「ご利用承諾」をクリックしてください。利用規約の全文はアプリ内の設定ページや自社サイトからも見ることができます。

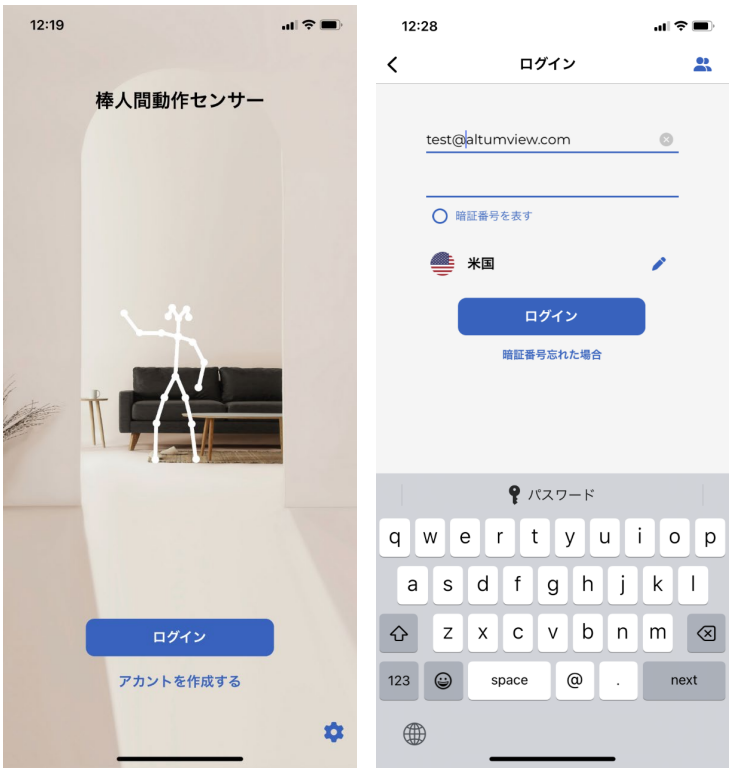


- 「利用規約」をご利用になると、ご利用のメールアドレスに登録コードが記載された確認メールが届きます。数分経っても確認メールが届かない場合は、メールのスペルが正しいか、またはスパムフォルダを確認してください。
- 登録画面にこの登録コードを入力し、「続ける」をクリックして自分のアカウントに入ってください。



2.2 ログイン

- アカウント登録:登録時に使用したメールアドレス、パスワード、サーバーでアカウントをログインしてください。



- パスワードを取り戻す:パスワードを忘れた場合は「パスワードを忘れる」をタップしてください。次のページで登録したメールアドレスを入力し、「パスワードをリセットするメールを送る」をタップしたら、リンクが含まれたメールが届きます(必要に応じてスパムフォルダを確認してください)。メールのリンクからサイトページを開き、上記と同じパスワードを新たに入力ができます。その後、アプリに戻って新しいパスワードでログインしてください。
- アカウントの切り替え:複数のアカウントのログイン情報を保存し、ログイン情報を新たに入力することなく切り替えることができます。登録済みのアカウントに切り替えるには、ログイン画面の右上にある複数ユーザーアイコンをタップし、必要なアカウントを選択してください。詳しくは、第 9 章の「アカウントの切り替え」をご覧ください。現在ログインしているアカウントのみがアラームを受信できますのでご注意ください。

- アプリのバージョンとダークモード：フロントページで、右下の設定歯車アイコンをタップすると、アプリのバージョンが表示され、ダークモードの使用を選択できます。

各アカウントは、家族の他のメンバーやヘルパーなどの二次ユーザーをそのアカウントに招待ができます。セカンダリーユーザーはメインアカウントのセンサーなど一部の情報を見ることができますが、アカウントの設定を変更することはできません。詳しくは第九章のセクション 7 をご参考ください。

重要な注意事項：

アラートを受信できるようにするには、棒人間アプリがお客様のアカウントにログインし、携帯電話のバックグラウンドで実行されていることを確認してください。

2.3 二次ユーザー

棒人間アプリケーションでは、同じ電子メールとパスワードを使用して複数の人が同じアカウントにログインし、アカウントのすべての設定やデータに同時にアクセスできます。これにはアラートの受信も含まれています。この機能により、複数の介護者が介護の仕事を分担できます。

長期介護機関やホームケアサービスプロバイダからのお客様に対して、特定のアプリケーションユーザー（たとえば介護者）に対して限定的なアクセス権を提供し、彼らがアカウント内のすべてのセンサーやユーザーではなく、特定のセンサーやユーザーにのみアクセスできるようにすることができます。これらの機能は有料プランにのみ制限されています。

二次ユーザーは特定の部屋、センサー、およびユーザーのデータにアクセスし、それらからのアラートを受信できますが、アカウントの設定を変更することはできません。詳細については、セクション 9.7 を参照してください。

重要な注意事項：

アラートを受信するためには、棒人間アプリがアカウントにログインし、携帯電話のバックグラウンドで実行されていることを確認してください。また、棒人間アプリのプッシュ通知を有効にする必要があります。

多くの携帯電話（特に Android）では、様々な省電力設定がされており、棒人間アプリがバックグラウンドで実行されている場合、プッシュ通知が無効になることがありますのでご注意ください。お使いの携帯電話のユーザーマニュアルを参照して、棒人間アプリがプッシュ通知を送信できることを確認してください。複数の省電力設定を変更する必要がある場合もあります。iPhone の場合、「設定/バッテリーページ」で低バッテリーモードをオフにします。

3. 部屋管理

画面の左下にある「部屋」アイコンをタップすると、センティネアセンサーのアカウントを管理することができます。各センサーは部屋に追加する必要があり、部屋には最大 10 個のセンサーを登録することができます。アカウントのセンサー数は工場出荷設定の最大 3 個です。センサーの数を増やす場合は、サブスクリプションプランを購入必要があります。

ルームの追加、削除、名称変更などの設定は、管理者のみ変更可能です。

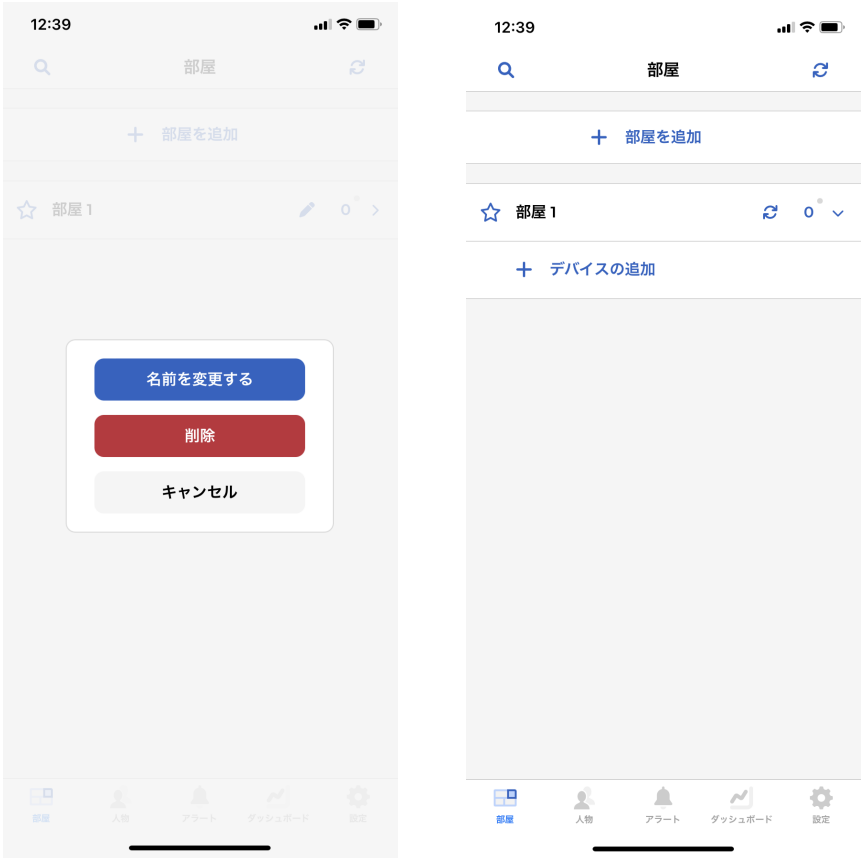
3.1 部屋リスト

画面の左下隅にある「部屋」をタップして、部屋のページに入ります。このページには、このアカウントで管理されているすべての部屋が一覧表示されます。新しいアカウントの場合、「ルーム 1」というオリジナルのルームがシステムによって作成されます。

ユーザーは、「部屋」ページから「+部屋を追加」コマンドをクリックすることで、新しいお部屋を作成することができます。「部屋を追加」では、新しい部屋の名前を入力することもできますし、「よく使う部屋」を選択して「よく使う部屋」として表示することもできます。よく使う部屋の前には五つ星がついています。普通の部屋の前は中空の五つ星です。「提出」をタップすると新しい部屋が作成されます。

部屋リストに部屋数が多い場合は、右上の虫眼鏡アイコンをタップして部屋名の一部を入力して検索してください。

部屋の名前の横にある鉛筆のアイコンをタップすると、部屋の名前を変更したり、削除したりすることができる窓が表示されます。



各部屋にあるデバイスの数は、鉛筆のアイコンの右側に表示されます。初期値は 0 です。部屋名またはデバイス番号の横にある矢印をタップすると部屋が展開され、その下には上記のように部屋のセンサーが表示されます。

部屋を拡張すると、鉛筆のアイコンがリフレッシュアイコンに変わり、その部屋のセンサーの最新のオンライン/オフライン状態を更新するのに使えます。

部屋の名前やセンサーの数をタップすることで、部屋のデバイスの詳細を隠すことができます。個々の部屋のページでは、次章で詳しく説明する「+デバイスの追加」をタップして新しいデバイスを部屋に追加することができます。

AltumView Systems Inc.

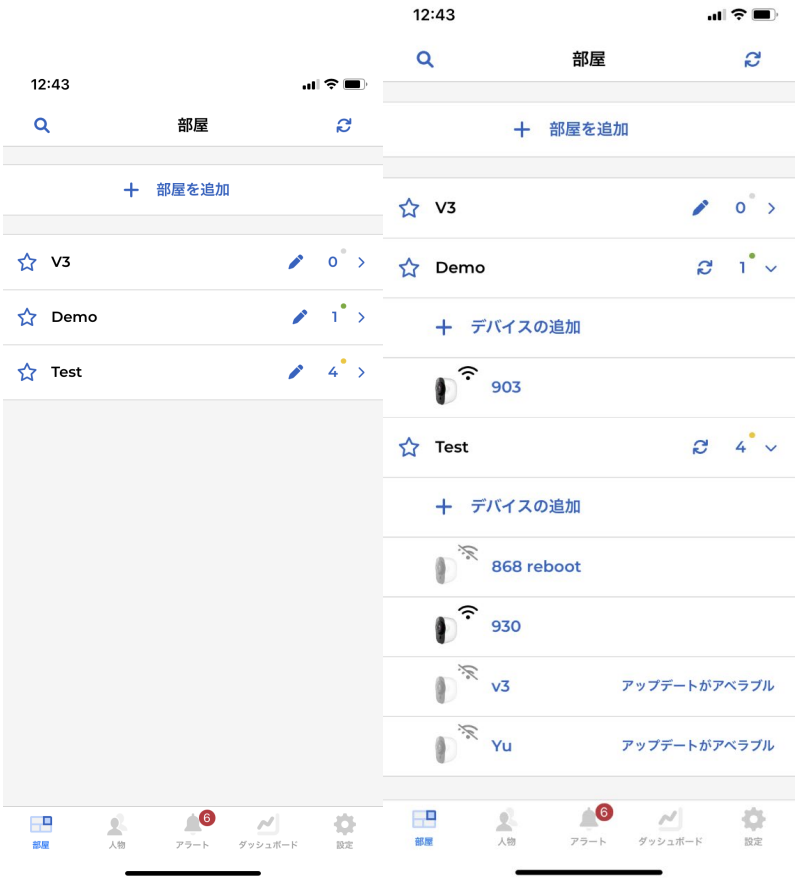
4. センサーの管理

各部屋には最大 10 個の有効なセンサーがあります。ルームページで、ユーザーはルーム名をクリックするか、下図のようにルーム名の横の右矢印をクリックして、選択したルームの全センサーを表示することができます。センサーの左にある WiFi アイコンが黒い場合、センサーはオンラインです。アイコンが灰色で感嘆符が付いている場合、センサーの Wi-Fi 信号が弱く、センサーとネットワークの接続が不安定である可能性があります。センサーだけでなくアイコンもグレーでアイコンに十字線が表示されている場合は、センサーがオフラインであることを示します。センサーの状態を更新するには、各部屋の更新アイコンをクリックしてください。

センサーのオンライン/オフラインステータスが正確であることを保証するために、部屋を拡張したら、部屋ページの右上隅または各部屋名の右側にある「リフレッシュ」ボタンを使い、センサーの状態を更新してください。

センサーが WiFi 接続から切断された場合、センサーは定期的に WiFi への再接続を試してください。オフライン状態が 15 分間続くと、クラウドサーバーはセンサーオフライン通知をモバイルアプリに送信します。同じアカウントにログインしている全員がこの通知を受け取ります。その後、サーバーは 1 日に 2 回、アプリにオフラインリマインダーを送信します。センサーが自動的に再接続しない場合は、手動で WiFi をリセットする必要があります。

センサーを管理できるのはプライマリ・ユーザーのみで、二次ユーザーはセンサーを見ることしかできません。



各部屋名の右方向のドットの色は、部屋内のセンサーのオンラインまたはオフラインの状態を表しています。これにより、ユーザーは各部屋の設備の動作状態を簡単に把握できます。これらのドットには 4 つの色があります:

グレー:部屋には何のデバイスもありません。

緑:部屋の全てのセンサーがオンラインになっています。

黄色:一部のセンサーはオンラインで一部はオフラインです。

赤:部屋の全てのセンサーがオフラインです。

各アカウントの全センサーのオンラインとオフラインの集計は「ダッシュボード」ページで見ることができます。

4.1 新しいセンサーの追加

このセクションでは、センサーを使用する前にアカウントにセンサーを追加する主な手順を説明します。サイプレスセンサーと棒人間センサーの両方は、棒人間アプリを通じて追加および

管理することができます。センサーは床から約 1.5～2.5m の高さに設置し、部屋の床の大部分を監視して転倒を検知できるよう、やや下向きに傾けてください。詳細はセクション 1.6 を参照してください。

4.1.1 新しいセンサーを追加する

センティネアセンサーは、一つの部屋を追加しなければなりません。センサーを追加するには、ユーザーがセンサーから 5 メートル以内に、スマートフォンの Bluetooth をオンにして、 アプリが Bluetooth 経由でセンサーに接続する必要があります。

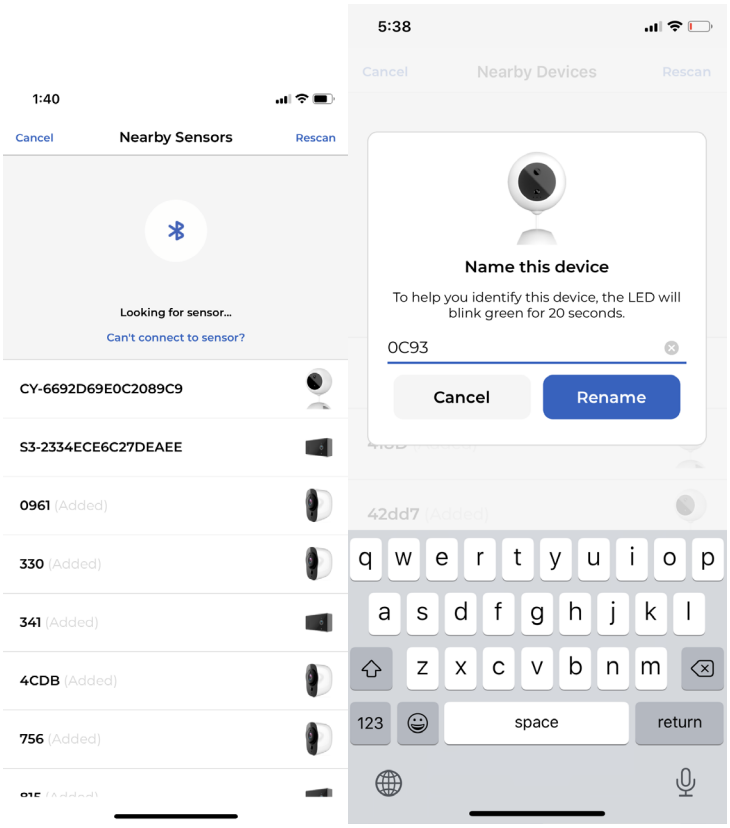
センサーがスマホアプリではなくスマホに接続されている場合がありますのでご注意ください。この場合、アプリケーションはセンサーに接続できず、ユーザーは bluetooth の範囲外にあるエラーメッセージを受け取る可能性があります。これを確認するには、スマートフォンの「設定」>「bluetooth」の画面を遷移してください。この画面にセンサーが接続されていたら、ユーザーは bluetooth をオフにして接続を止め、再び bluetooth をオンにして、再び棒人間アプリからセンサーへの接続を試みてください。場合によっては、センサーが近くにある別のスマートフォンとペアリングしていると、bluetooth オーバーエラーメッセージが発生する可能性があります。その場合、別のスマートフォンは設定> bluetooth ページからセンサーとの接続を切る必要があります。また、棒人間センサーが他の Bluetooth デバイス（Amazon Alexa など）とペアリングされている可能性もあるので、これらをオフにしてから棒人間センサーを再度追加してみてください。

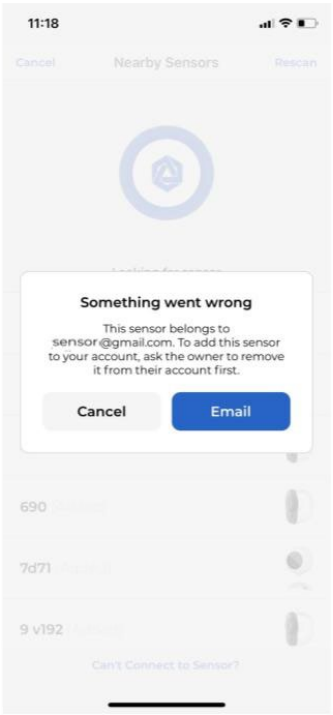
センサーを追加するには、左下の「部屋」アイコンをタップし、「部屋」画面からお部屋を展開してください。1 つの部屋で「+デバイスの追加」をクリックすると、アプリで検索した近くのデバイスが次のように表示される「近くのデバイス」ページが表示されます。ユーザーはデバイスのシリアル番号から追加するセンサーを選択します。「付属デバイス」の画面で選択したセンサーの LED が 20 秒間緑色に点滅します。次のページでは、将来の管理を簡単にできるため、選定されたセンサーに名前を付けてください。

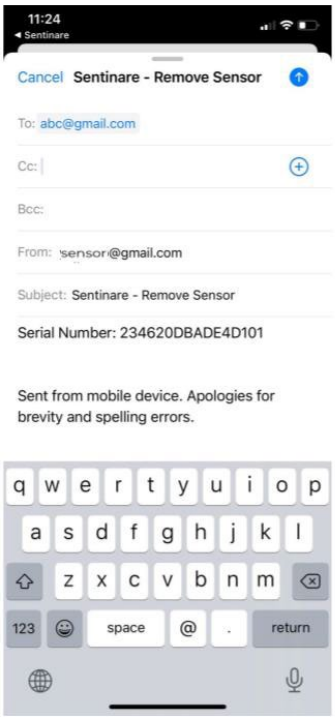
ユーザーは、まだどのユーザーも追加していないセンサーのみ追加できます。1 つのセンサーは 1 つの部屋にしか追加できません。

センサーがすでに追加されている場合、そのステータスは「追加済み」と表示され、元のアカウントから削除されない限り、別の部屋に追加することはできません。

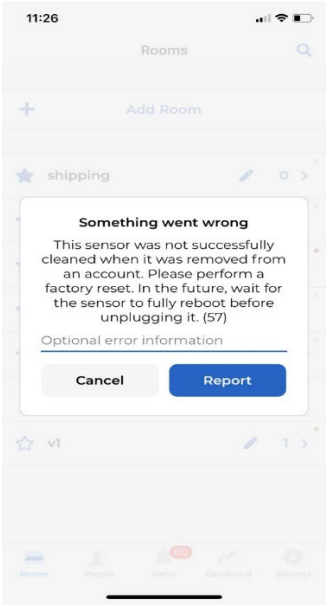
ユーザーが別のアカウントに属するセンサーを追加しようとした場合(状態は「追加済み」)、アプリはセンサーが属する現在のアカウントを表示し、ユーザーが現在のアカウントの持ち主にメールで連絡してそのアカウントからセンサーを取り外すことができるようにしています。現在のアカウントの持ち主と連絡が取れない場合は、contact@altumview.com まで連絡し、センサーのシリアル番号も教えてください。こちらでサーバーから以前の記録を削除したら、アカウントに追加することができます。


1:40
Cancel
Nearby Sensors
Rescan
Looking for sensor...
Can't connect to sensor?
CY-6692D69E0C2089C9
S3-2334ECE6C27DEAEE
0961 (Added)
330 (Added)
341 (Added)
4CDB (Added)
756 (Added)
5:38
Cancel
Nearby Devices
Rescan
Name this device
To help you identify this device, the LED will blink green for 20 seconds.
0C93
Cancel
Rename
42dd7 (Added)
q w e r t y u i o p
a s d f g h j k l
z x c v b n m
123
space
return


11:18
Cancel
Nearby Sensors
Rescan
Something went wrong
This sensor belongs to sensor@gmail.com. To add this sensor to your account, ask the owner to remove it from their account first.
Cancel
Email
690
7d71
9 v192
Can't Connect to Sensor?


11:24
Sentinare
Cancel
Sentinare - Remove Sensor
To: abc@gmail.com
Cc:
Bcc:
From: sensor@gmail.com
Subject: Sentinare - Remove Sensor
Serial Number: 234620DBADE4D101
Sent from mobile device. Apologies for brevity and spelling errors.
q w e r t y u i o p
a s d f g h j k l
z x c v b n m
123
space
@
.
return

アカウントからセンサーを取り外すときは、センサーがオンラインであることを確認してください。そうでなければ、オフライン時にセンサーが除去された場合(または除去後の再起動ステップが完了していない場合)、工場出荷時の設定を復元しなければなりません。詳細は、セクション 4.2.13 の「デバイスを削除」を参照してください。



4.1.2 WiFi の設定

センサーを部屋に追加すると、アプリがセンサーに WiFi を設定します。センサーはまず利用可能な WiFi ネットワークをスキャンして一覧表示します。スキャン中にセンサーが音を出します。

セキュリティ上の理由から、WiFi を設定するには、ユーザーがセンサーから 5 メートル以内にいなければなりません。スマートフォンの Bluetooth をオンにすることも必要がありますので、ご注意してください。

また、セキュリティ上の理由から、棒人間アプリは WPA2-PSK プロトコルをサポートする安全なネットワークのみをサポートし、一覧表示されます。これらのネットワークにアクセスするには、パスワードが必要です。Open、WEP、WPA などのセキュリティ保証の低いプロトコルはサポートされていません。また、個別のユーザー名とパスワードが必要な WPA2 Enterprise プロトコルもサポートされていません。

多くの場合、棒人間センサーはほとんどの新しいルーターのデフォルトの構成をサポートしています。Wi-Fi の名前がわかっている場合は、手動でネットワークに接続することができます。

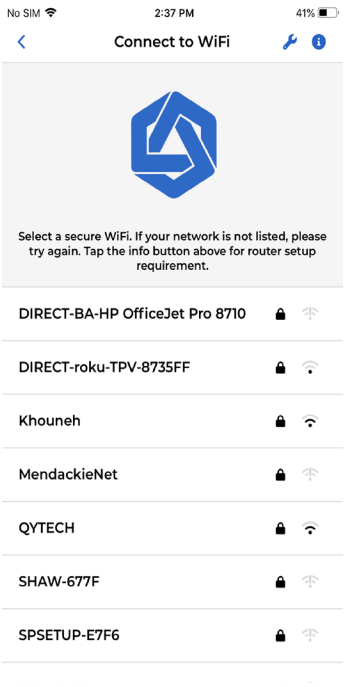
同様に、Wi-Fi が隠されている場合も、Wi-Fi の名前がわかっていれば手動でネットワークに接続することができます。また、Wi-Fi ルーターの設定を変更することもできます。WiFi 要件の詳細は次のページをご覧ください。ルーターの使用例を参照して、ルーターの管理者アカウントにログインして修正をしてください。

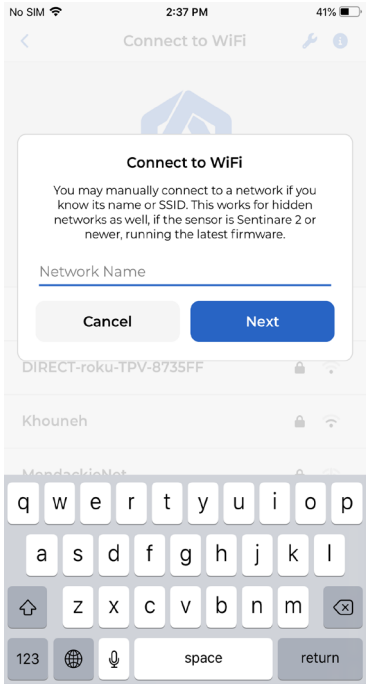
棒人間のアプリに記載された WiFi ネットワークの中から必要な WiFi ネットワークを選択してパスワードを入力すると、センサーの LED がまず赤、次に黄色、青に変化し、最終的に安定した青の信号が表示されます。その後、センサーはアカウントに追加され、選択された部屋のセンサーのリストに表示されます。

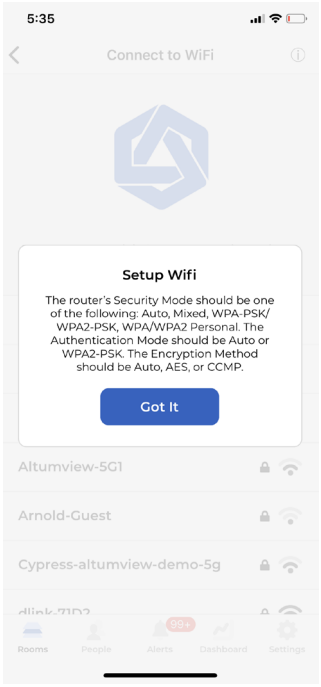
必要な WiFi ネットワークがリストに表示されていない場合は、特に WiFi 信号が弱い場合は、ネットワークを数回にスキャンしてください。または WiFi ネットワークが上記の要件を満足するかを確認してください。

WiFi が非表示になっている場合は、WiFi リストページの右上にあるツールアイコンをクリックして「WiFi に接続」ページを開き、Wi-Fi 名を入力してセンサーをネットワークに接続することができます。

センサーをアカウントに追加したら、セクション 4.2.5 のように WiFi を再設置できます。







詳細な WiFi 要求

第一世代と第二世代の棒人間センサーは 2.4GHz と 5GHz の 802.11 a/ac/b/g/n WiFi 規格に対応しています。

第三世代の棒人間センサーは、802.11 b/g/n 規格の 2.4GHz Wi-Fi のみをサポートしています。5GHz Wi-Fi をサポートしません。

ルーターの「セキュリティモード」は以下のいずれかになります(ベンダーによって名称は異なります)。

- 自動
- 混合式
- WPA-PSK/WPA2-PSK
- WPA/WPA2 Personal

ルーターの認証モードは次のいずれかになります。

- 自動
- 混合式
- WPA2-PSK

暗号化(Encryption)の方法は以下のいずれかになります。

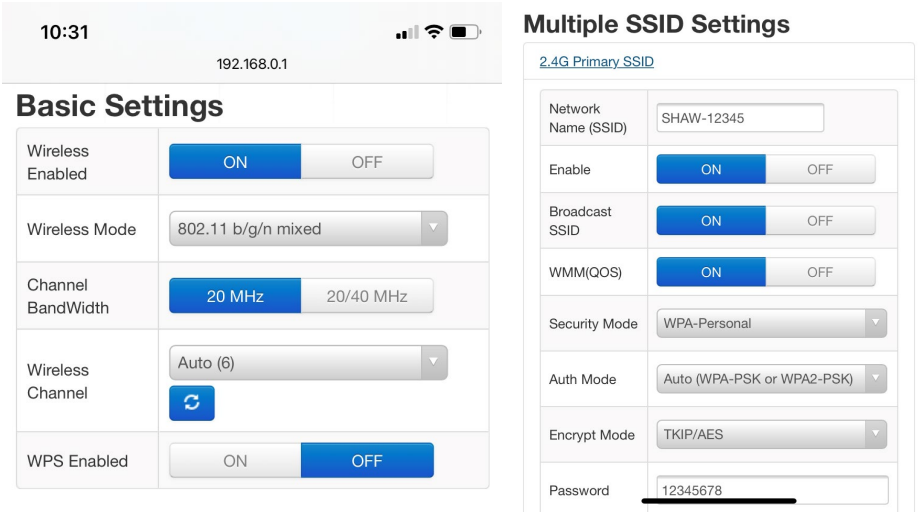
- 自動
- TKIP/AES
- CCMP

TKIP 暗号化は速度が遅いため勧めません。

上の図のように、アプリ内の「WiFi に接続する」画面からメッセージアイコンをクリックすると、上記のようなメッセージが表示されます。

ルーターによっては WiFi 保護設定 WPS (**Wi-Fi Protected Setup**)機能がデフォルトで有効になっているものもありますが、棒人間センサーの 2022 年 9 月までのファームウェアでは対応していません。ルーターの管理画面にログインして WPS の設定をオフにし、WiFi の設定を調整してください。

以下は、棒人間センサーが対応するルーターの WiFi 設定画面の例です。



WiFi 信号が弱い状況：

棒人間センサーの設置場所の WiFi 信号が弱く、センサーが適切にオンライン状態を維持できない場合は、WiFi エクステンダーの購入をご検討ください。

オープン WiFi ネットワーク（パスワード保護なし）：

使用する WiFi ネットワークがパスワードなしのオープン WiFi ネットワークの場合、デュアルバンド WiFi をサポートし、パスワードで設定できる以下の WiFi エクステンダーなど、安全な接続を確立するための WiFi エクステンダーの購入を検討することができます。
https://www.amazon.com/D-Link-Range-Extender-AC2000-DAP-1820-US/dp/B07NP4QFJ1
この WiFi エクステンダーをセットアップする際には、エクステンダーの WiFi ネットワーク用のパスワードを作成し、デュアルバンド WiFi 機能を有効にしてください。

5GHz WiFi ネットワークのみがサポート：

使用予定の WiFi ネットワークが 5GHz WiFi のみをサポートしている場合は、上記のデュアルバンド WiFi エクステンダーを購入することができます。WiFi エクステンダーをセットアップする際は、エクステンダーが 2.4GHz WiFi 信号を送信できるように、必ず 2.4GHz またはデュアルバンド WiFi オプションを使用してください。

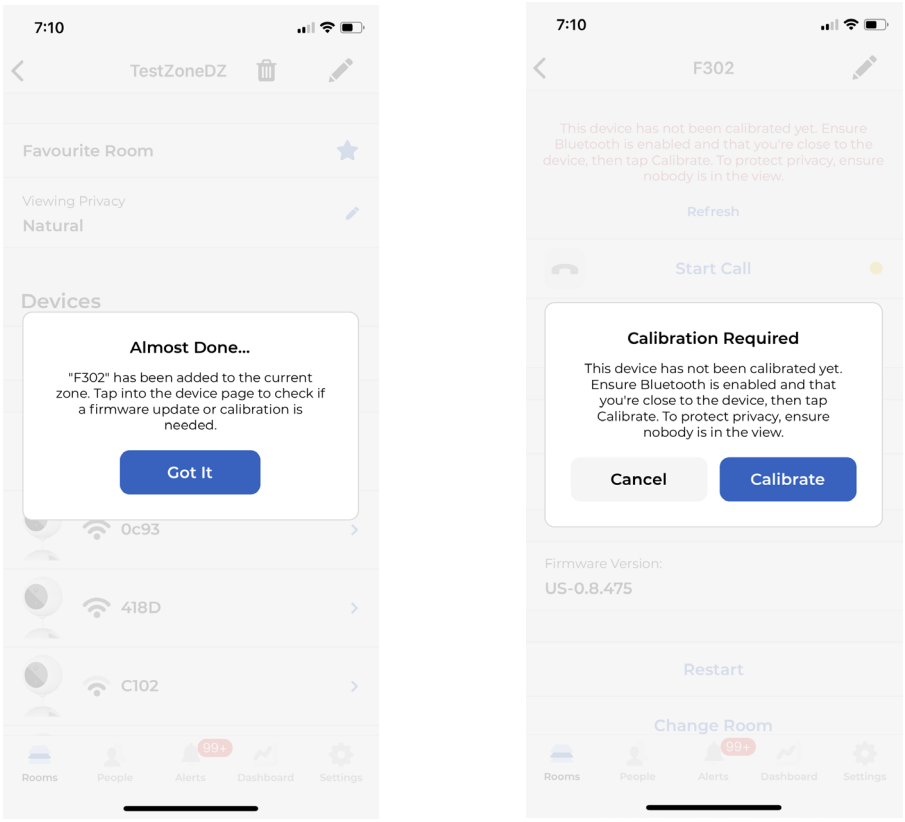
4.1.3 ファームウェアのアップグレード

センサーを初めてシステムに追加すると、アプリケーションはセンサーのファームウェアバージョンをチェックします。ファームウェアが最新のものでない場合は、まずセンサーのファームウェアをアップデートするようにアプリケーションが促します。最初に使用すると、ユーザーはアプリケーションのデバイスページで新しいファームウェアのバージョンを確認することができます。セクション 4.2 を参照してください。

更新の際、センサーは複数に再起動する必要がある可能性があります。なぜならば、最新のバージョンーにアップグレードするために重要な中間バージョンーにアップグレードする必要があります。センサーが青信号で常時点灯するとアップグレード完了を示します。

ファームウェアをアップグレードする場合、アプリ内のセンサーの状態が長い時間に「アップグレード中」となり、アプリが自身で更新することができないケースもありますが、その時、画面を押してページをポールダウンしてリフレッシュしてください。また、新しいファームウェアのダウンロード中に、センサーの LED が青色で点滅します。通常、ダウンロードには 5 分以内しかかかりません。ネットワークの問題が原因で、ダウンロードが停止し、LED が 15 分以上青色で点滅する場合があります。この場合、センサーの電源を抜いて再び差し込んでも安全です。ダウンロードが完了した場合、センサーは再起動後に新しいバージョンにアップグレードされます。それ以外の場合は、ダウンロードが自動的に続行され、センサーは青色で点滅します。センサーがアップグレードを完了するには、電源プラグを何回抜く必要がある場合があります。電源 プラグを数回抜いても青色に点滅し続ける場合は、アプリまた手動で工場出荷状態リセットを実行してください（セクション 4.2.17 を参照）。WiFi 信号が弱すぎると、センサーがオフラインになり、再起動後に白く点滅する場合があります。この場合、アプリから WiFi を再度設定してください、そしてダウンロードとアップグレードは自動的に続き、センサーはまだ青く点滅します。

ダウンロード終了後にセンサーが再働作している間(特に初代サイプレスセンサーが紫色に点灯を表示している場合)は、センサーの電源が抜かないでください。そうしないと、センサーのアップグレードに失敗したり、センサーが動かなくなったりして、工場に戻って修理しなければなりません。



4.1.4 キャリブレーション

初めてシステムにセンサーを追加し、ファームウェアを更新した後、アプリは、上の図に示すように、転倒検知機能が動作する前に、部屋の床などを検出するためにセンサーをキャリブレーションするようにユーザーに要求します。

初めてキャリブレーションの場合、ユーザーはセンサーの Bluetooth 範囲内（約 5m または 15 フィート）にいる必要があります。携帯電話の Bluetooth がオンになっており、他の携帯電話がセンサーの Bluetooth とペアになっていないことかを確認してください。

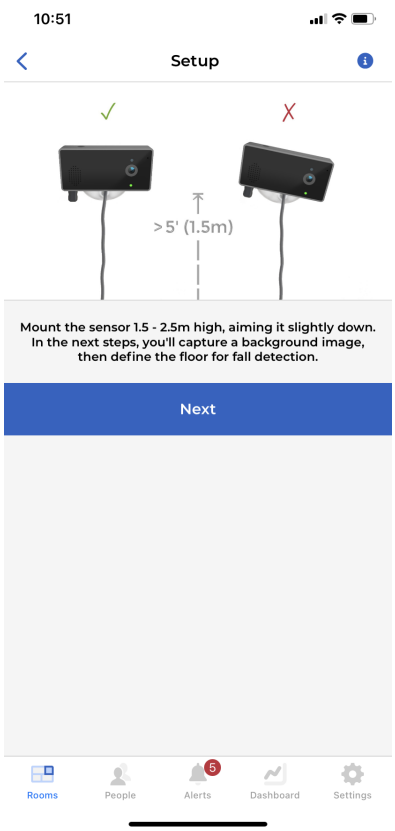
初めてのキャリブレーション後、「リモートキャリブレーション」を「拒否」から「許可」に切り替えることで、将来のリモートキャリブレーションを許可できます。これについての詳細は、セクション 4.2.9 を参照してください。

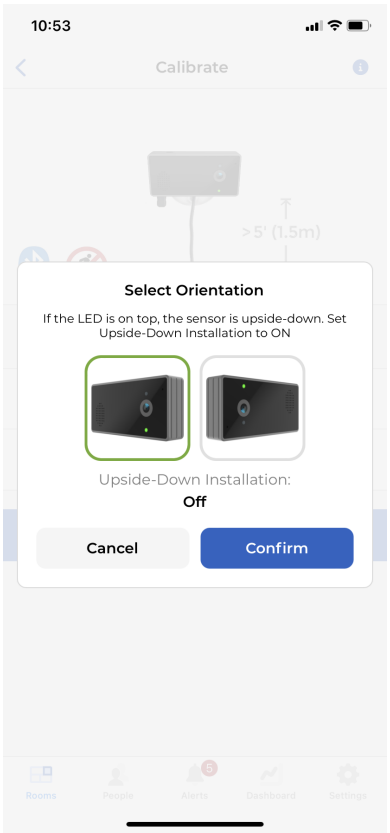
注意事項：

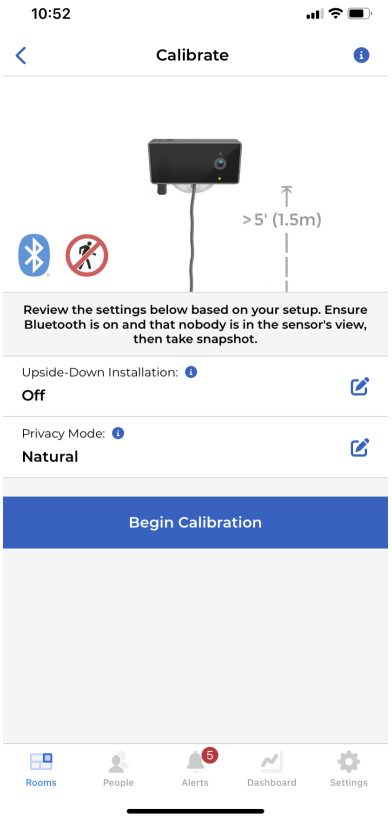
- **現在のアルゴリズムは、キャリブレーションされた床に転倒した場合のみアラートを送信します。ソファやベッドなどにキャリブレーションされていないエリアで転倒することは危険とはみなされず、アラームはトリガーされません。**
- **ユーザーのプライバシーを保護するため、キャリブレーションはセンサーの視野内に誰もいないことを確認してください。**

- **毎回、センサーの位置または角度を変更するたびに、手動で再度キャリブレーションしてください。**
- **跌倒検知の性能やバックアップソリューション、アラートの数を減らす方法については、セクション 1.8.2 およびセクション 1.8.3 を参照してください。**

キャリブレーションを実行するときは、「キャリブレーション」コマンドをクリックして「キャリブレーション」ページに入ります。もしセンサーが以前にキャリブレーションされていない場合、アプリは最初にインストールの高さと角度に関する説明を表示し、次にキャリブレーション設定ページに進み、ユーザーにキャリブレーションのオプションを選択するように要求します。例えば、センサーが逆さまになっているかどうか、背景画像がナチュラルモードかプライバシーモードか（後述の議論を参照）、ユーザーがセンサーが自動で床を検出するかどうかなどです。それらの選択を行った後、「キャリブレーションを開始」コマンドをクリックすると、センサーはキャリブレーションが開始されたことを通知するサウンドを発します。「自動で床を検出」オプションが 「オン」に設定されている場合、センサーは背景画像から床を自動的に検出します。

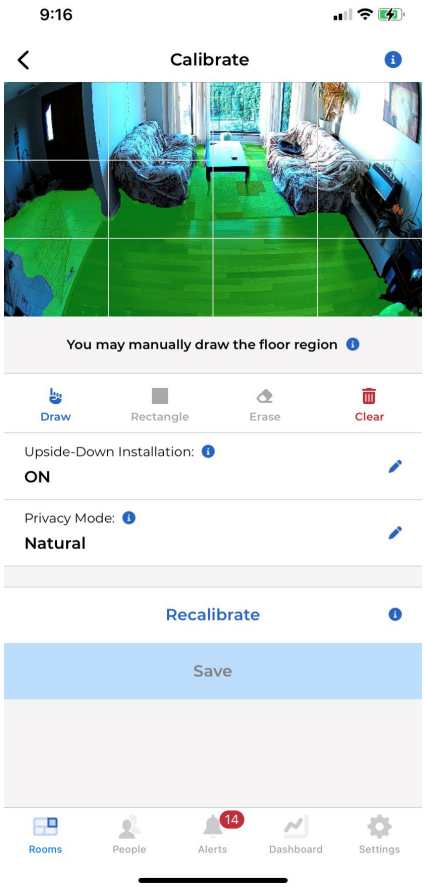




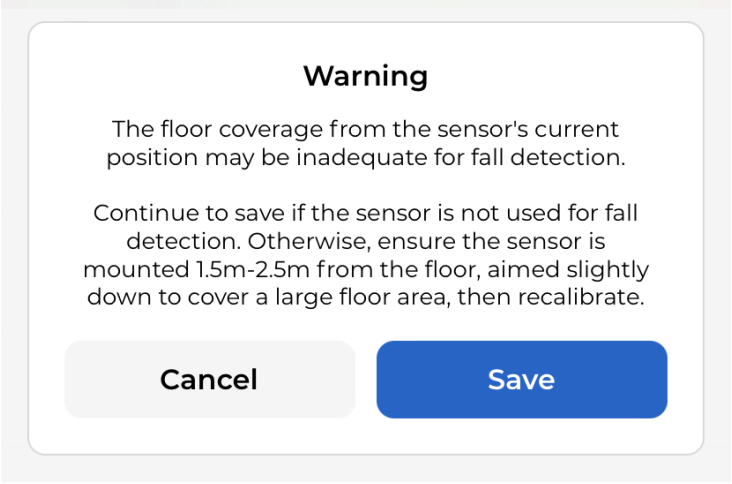


インストールを推薦する

良好な転倒検出性能を確保するには、以下の図に示すように、センサーを 1.5 ～ 2.5 m の高さに取り付け、下向きに傾斜させて、床の十分な広い領域をキャプチャできるようにしてください。



画像内の床の上端は、画像の下端から少なくとも 1/3 の高さになるようにし、床面積は画像全体の 1/4 以上の大きさにすることをお勧めします（キャリブレーション時にグリッド線を参照として使用できます）。床面積が小さすぎる場合、システムは以下の警告メッセージを表示します。これがあなたの部屋にとって最良の結果である場合、結果を保存し続けるか、センサーの取り付け高さと角度を調整し、再キャリブレーションをしてください。



床スイッチの自動検出

センサーを取り付ける際、最適な設置位置と角度を見つけるために、センサーの位置と角度を何度も調整する必要がある場合が多いです。このような場合、まず「自動床検出」スイッチをオフにします。センサーは新しい背景画像を撮影するだけで、より時間のかかる自動床検出ステップをスキップするため、ユーザーはより迅速に背景画像を確認し、取り付けを調整し、背景画像を再撮影することができます。ユーザーが背景画像に満足したら、「自動床検出」スイッチをオンにすることができます。自動床検出アルゴリズムは、最終的な背景画像に適用されます。また、棒人間アプリケーションの描画ツールを使用して、床部分を手動で塗りつぶすか、自動検出された床部分を編集することもできます。

サイプレスセンサーのキャリブレーションには約 15 秒かかります。第二世代及び第三世代の棒人間センサーでは、「床の自動検出」スイッチがオンの場合、キャリブレーションには約 30 秒かかります。この機能がオフの場合、背景画像の撮影には数秒しかかかりません。

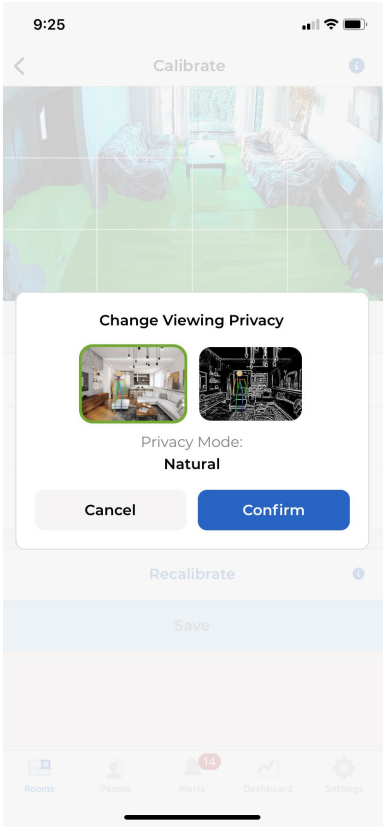
センサーが以前にキャリブレーションされていた場合、アプリは最初に以前の背景画像と床エリアを表示します。ユーザーは直接床の領域を手動で変更するか、「再キャリブレーション」をクリックして、センサーが新しい背景画像を取得し、それに対してキャリブレーションアルゴリズムを実行できます。

背景のプライバシー設定

キャリブレーションの設置画面には「プライバシーモード」コマンドがあり、このコマンドの右側にある鉛筆アイコンをクリックすると背景のプライバシー設定を変更ができます。

各センサーのプライバシーは「ナチュラル」と「プライベート」の 2 段階に設定可能。「ナチュラル」(デフォルト設定)に設定すると、元の背景がセンサービデオストリームおよびアラートメッセージに表示されます。「プライベート」に設定すると、次の図のように、背景の白黒エッジ情報のみがセンサービデオストリームおよびアラートメッセージに表示されます。

センサーのプライバシー設定が変更された場合、ユーザは、新しいプライバシー設定を有効にするために、センサーが背景を更新できるように再度キャリブレーションをしてください。



手動キャリブレーションツール

場合によっては、自動キャリブレーションアルゴリズムがベッドやソファを床と間違えたり、特定の床面積をキャリブレーションを忘れたりして、誤った転倒検出アラームが発生したり、実際の転倒を見落としたりすることがあります。その場合、上の図に示すように、ユーザーはアプリが提供するツールを使用して手動で調整できます。

ツールは次の通り：

- 手描き：指で床の形状の輪郭を描き、塗りつぶします。
- 長方形：長方形の床面を指で指して塗りつぶします。
- 消去：指で床の領域を消去します（手動で修正する場合）。
- 元に戻す：直前の操作を元に戻します。
- 狭い：狭い線を選択をします。
- ワイド：幅の広い線を選択をします。
- クリア：現在の床面積を完全にクリアします（再調整のため）。

手動キャリブレーション編集は、バックグラウンドの更新を必要としないため、常にリモートで行うことができます。

4.1.5 その他の重要な設定

これで、センサーをアカウントに追加するために必要な手順が完了し、センサーの基本的な機能（転倒検知や手での救助信号検知など）をご利用いただけます。ただし、立入禁止地域設定や日常活動の統計など、顔認識関連の他の機能を使用するには、第 5 章に示すように、ユーザー情報をシステムに追加する必要があります。

アカウントにユーザーの情報（顔認識を含む）が既にある場合、顔特徴は、校正後に新しく追加されたセンサーに登録され、その間にセンサーは青色の光で点灯します。登録がドが終了しましたら、LED が緑色になりますと、センサーはこれらの人々を認識することができ、アプリはストリーミングページにこれらの方々の名前を表示されます。

センサーの動作に影響を与える重要な設定がいくつかあります。詳細は、対応するセクションを参照してください。

- 転倒検出の設定（第 4 章）
- 助けを求める検出の設置(第 4 章)
- プッシュ通知ステータス（第 9 章）
- 重複アラート防止（第 9 章）

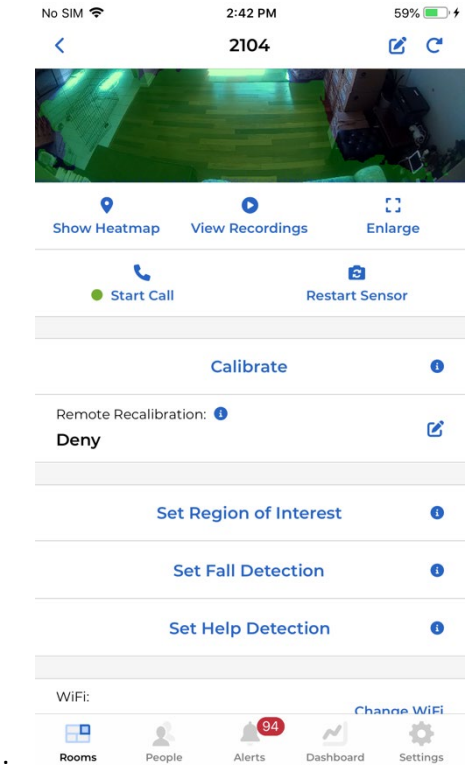
4.2 リアルタイムでセンサーを確認し、セットアップ

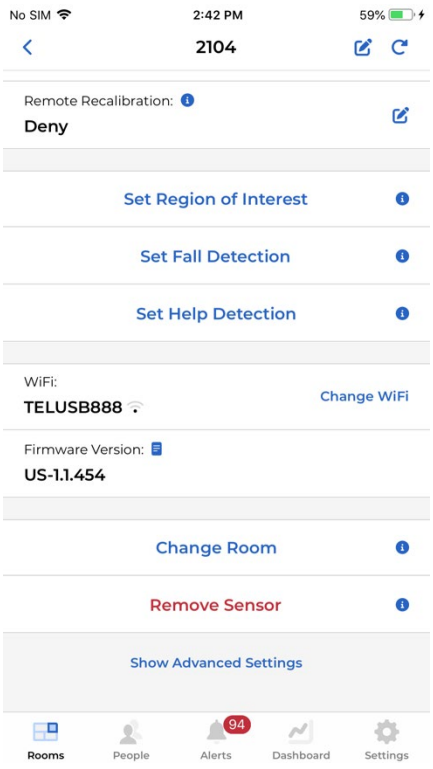
個々の部屋ページのセンサー一覧から、表示または設定が必要なセンサーをクリックすると、このセンサーの設定ページにアクセスできます。このページでは、センサーのビデオストリームをリアルタイムで表示し（棒人間として表示されます）、次の設定ができます：

- センサー名の変更
- Wi-Fi ネットワークの管理
- フロアキャリブレーションの実行
- 関心領域と手を振るアラームの管理
- 棒人間ビデオの表示
- センサーファームウェアのアップグレード
- センサーの再起動
- センサーを別の部屋に移動
- アカウントからセンサーを取り外す

また、転倒遅延アラームや助けを求める検出の感度など、さまざまな機能の管理が可能です。

「詳細設定を表示」をクリックすると、録画日数、センサーのシリアル番号、モデル番号、ネットワークが最後に接続された日、最後にキャリブレーションの時間、IP アドレス、MAC アドレスなど、より多くの設定を変更やチェックすることもできます。その他にも、4.2.15 項に記載されている様々な機能を制御することが可能です。





4.2.1 センサー名の変更

センサー設定ページの右上にあるペンのアイコンをクリックすると、「名前の変更」ポップアップウィンドウでセンサーの名前を変更することができます。

4.2.2 ディスプレイの更新

センサーの表示更新ボタンはページ右上にあり、「更新」アイコンをクリックすると、センサーの背景、床、棒人間などの情報が更新されます。 4.2.3 ヒートマップの表示
この機能を有効にすると、下図のように、棒人間のライブストリーミングページページにアクティブエリアのヒートマップが表示され、部屋のさまざまな場所にどれくらいの時間滞在しているかが表示されます。これは、いくつかの異常を特定するのに役立ちます。

4.2.4 棒人間の動画を見る

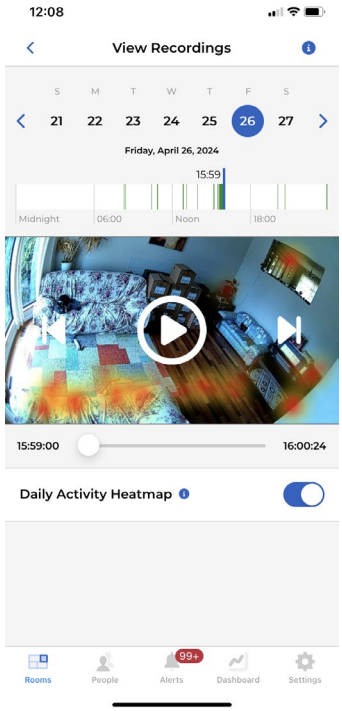
プライバシー保護のため、棒人間センサーは棒人間アニメーションのみを送信し、オリジナルのビデオは送信しません。また、センサーはすべての棒人間動画をサーバーに保存し、将来的に再生・分析することも可能です。この機能は、人の健康状態の分析、事故分析の実施、機関が提供するサービスの質の向上に利用できます。

デフォルトでは、各アカウントは 3 日分の棒人間映像に無料でアクセスすることができます。より多くの履歴データにアクセスするためには、サブスクリプションサービスをご購入ください。

センサーページの「棒人間動画を見る」をクリックすると、下図のページに遷移します。ユーザーはまずカレンダーで見たい日付を選択すると、アプリはカレンダー下部のプロセスバーに棒人間の動画が見られる時間帯を表示します。その後、アプリは対応する棒人間動画をサーバーからダウンロードし、以下で再生します。

各棒人間ビデオの長さは最大 2 分です。ユーザーは再生ウィンドウの下にあるカーソルを動かすと、現在のビデオを素早く見ることができます。また、プログレスバーの左右にある矢印をクリックすると、前のビデオや次のビデオをダウンロードすることもできます。

アクティビティ・ヒートマップ・スイッチをオンにすると、以下の図に示すように、当日のヒートマップが表示されます。



4.2.5 拡大

このボタンをクリックすると棒人間ウィンドウが全画面に拡大されます。

4.2.6 音声通話

ユーザーは、デバイスページまたはアラームページ（後述）の「通話開始」ボタンから、センサーを呼び出すことができます。センサーの片側にいる人は、呼び出しを受けるために何もする必要はありません。この機能は、緊急の場合に特に役立ちます。

通話が開始されると、ユーザーはモバイルデバイスのアプリを介してセンサーと双方向の音声通話を開始することができます。音声通話中は、棒人間センサーの LED がシアン色に点滅し、音声通話中であることを示します。今後、棒人間センサーの第二世代および第三世代でも同様の LED 機能を搭載する予定です。
「通話開始」コマンドの右側に点が緑色の場合、音声通話が可能です。その点が黄色または赤色の場合、音声通話サーバーがビジー状態を示しています。この点が常に黄色または赤色になる場合は、以下のトラブルシューティング手順を確認してください。

一部の WiFi ルーターのセキュリティ設定により、棒人間アプリから棒人間センサーへの音声通話ができないことがあります。このようなケースを確認するには、携帯電話の Wi-Fi をオフにして携帯電話サービスに切り替え、棒人間アプリから棒人間センサーへの音声通話をしてください。携帯電話サービスを使用して音声通話ができる場合は、WiFi ルーターの管理ページにログインして、以下のような必要な調整をしてください。

- ポート 5060、5061、4000-32767 など、音声通話に使用する SIP ポートをオープンしてください。
- セキュリティ設定で、SIP ALG をオフにしてください。異なるルーターで ALG をオフにする方法については、次のページを参照してください：
  https://www.nextiva.com/blog/disable-sip-alg.html

より高度な企業向けファイアウォールでは、ポートフォワーディングなど、さらなる調整が必要な場合があります。WiFi ルーターのユーザーマニュアルを参照するか、または IT 管理者にご相談ください。

WiFi の設定を変更しても問題が解決しない場合は、iOS デバイスを使用してみることも検討できます。iOS は Android よりも優れた音声通話サポートを提供しています。

上記の方法で音声通話の問題が解決しない場合は、お手数ですがお使いの公共 IPv4 アドレス弊社のアドレス：contact@altumview.com までメールでお知らせください。公共 IPv4 アドレスは、以下のリンクを使用して検索できます：https://www.whatismyip.com/

弊社は、お使いの IP アドレスが VOIP サーバーにブロックされていないかどうかを確認します。これはさまざまな理由で発生する可能性があります。IP アドレスがブロックされている場合、問題の解決に役立つようにその IP アドレスを有効にできるようにします。

4.2.7 センサーの再起動

センサー設定ページで「再起動」をクリックすると、行動認識センサーが再起動します。センサーが WiFi ネットワークやサーバーに接続できない場合でも、ユーザーの携帯電話の Bluetooth 範囲内にある場合は、「再起動」コマンドが有効です。

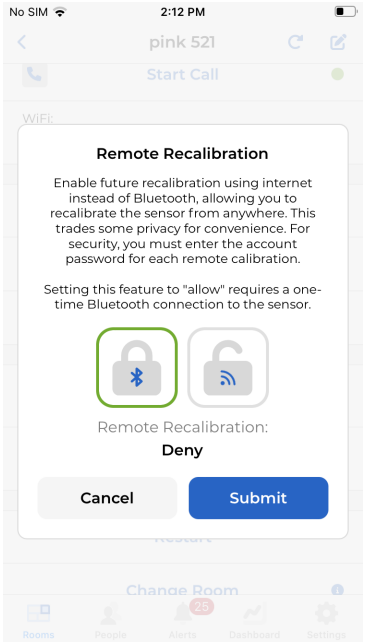
4.2.8 キャリブレーション

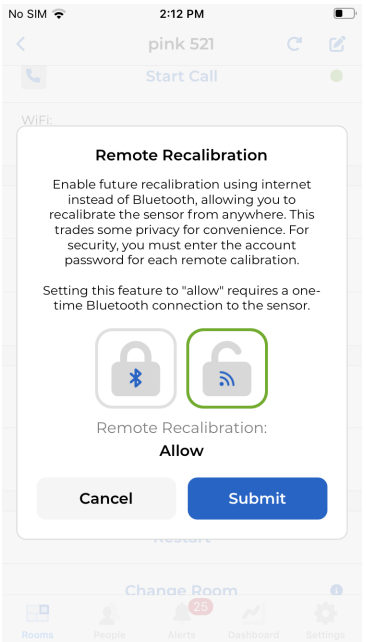
ユーザーは、センサーページで「キャリブレーション」コマンドをクリックすることで、センサーをキャリブレートできます。センサーをアカウントに初めて追加し、WiFi の設定に成功した後、アプリは自動的にユーザーを「キャリブレーション」ページに案内します。使用方法は 4.1.4 で説明されています。

4.2.9 リモートの再キャリブレーション

リモートの再キャリブレーション機能は、ユーザーがどこからでもセンサーを再キャリブレートできるようにします。この機能は特定の状況で非常に便利です。

リモートキャリブレーションは、緊急時に被監視者の状態を評価するために、新しいシーン画像を撮影するためにも使用できます。





デフォルトでは、リモートキャリブレーションの状態は「拒否」に設定されています。この機能を「許可」に設定するには、一度だけセンサーと Bluetooth 接続する必要があります。ユーザーは、センサーの Bluetooth 範囲内（約 5m または 15 フィート）にいる必要があります。

安全上の理由から、リモートキャリブレーションごとにアカウントパスワードを入力する必要があります。リモートキャリブレーション中、センサーは新しい背景画像を撮影したことを示す警告音を発します。

4.2.10 関心のある領域(ROI)

関心のある領域は、センサーの設定ページで定義ができます。 現在、5 種類の関心領域がサポートされています：

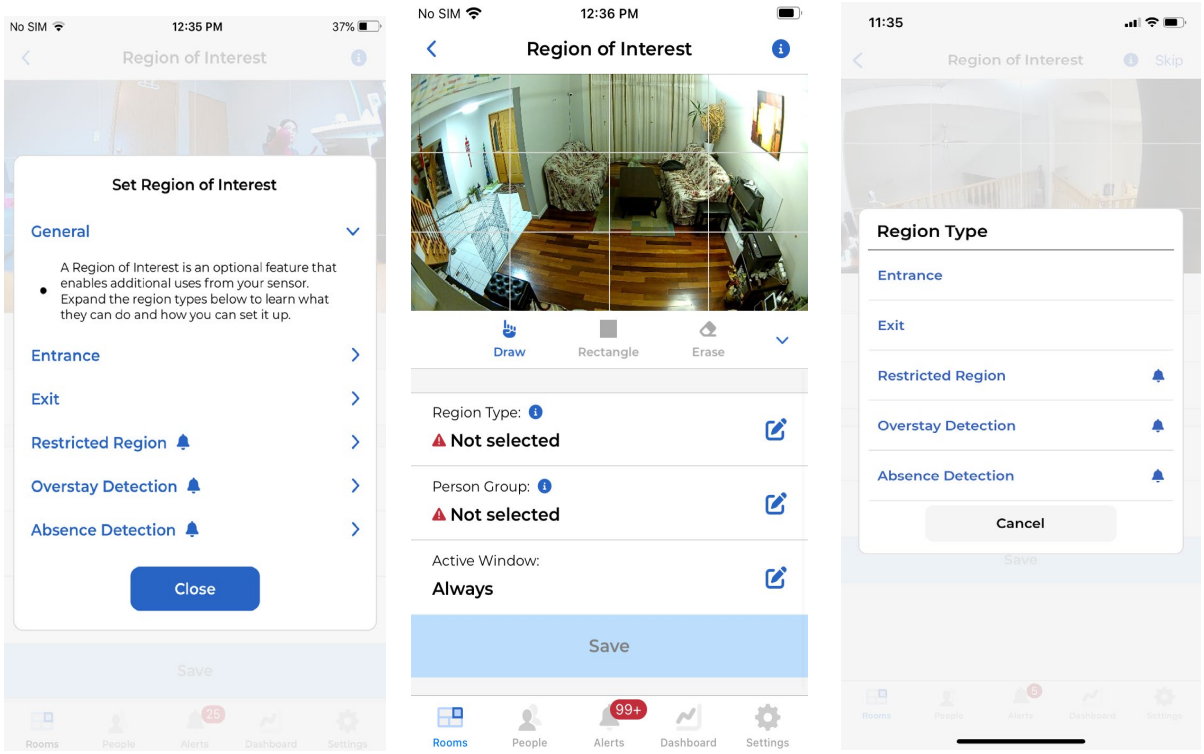
- 入り口
- 出口
- 立ち入り禁止エリア
- 滞留検出
- 不在検出

ROI を使用するには、ユーザーはタイプと個人グループを設定する必要があります(第 5 章で説明)。

なお、一部の関心領域の設置は顔認識によるものであるため、センサーと関心領域の距離はあまり離れないようにしてください。センサーが人の顔を確認できるように、距離は 4.5m 以下、設置高さは 2m 以下をすすめます。また、関心領域は、人が関心領域に入ったときに人体全体が入る大きさが必要です。 関心領域が画像の 1/4 以下の場合、アプリは関心領域を保存する際に警告メッセージを表示します。また、関心領域は、つながっていない複数の領域を含むことができます。

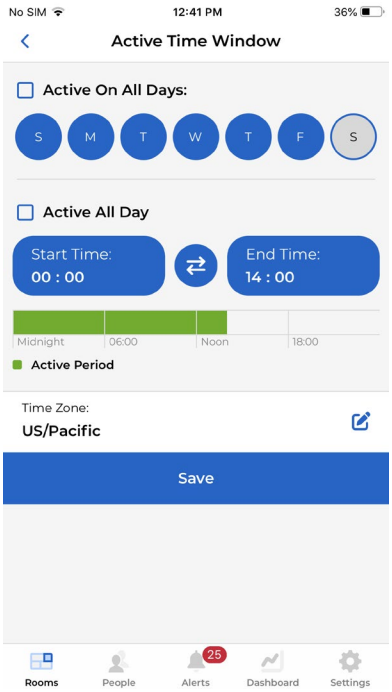
1 つのセンサーにつき、関心領域は 1 つだけ定義できます。ユーザーによって新しい関心領域が定義された場合、古い関心領域は置き換えられます。

関心領域を定義するには、「関心領域」コマンドをクリックして「関心領域」ページにアクセスし、関心領域の種類と適用対象者を設定し、画面上の制限領域を指で描いて塗り、（キャリブレーションページにあるものと同様の 4 つの手動編集ツールを使用して）下図のように保存することができます。 4 つの手動編集ツールはキャリブレーションページと同様です）そして、以下のように保存してください。関心領域は、人の体全体をカバーするのに十分な大きさが必要です。また、ユーザーは、制限領域を再定義するために、クリアコマンドをクリックしてクリアすることができます。アプリでは、関心領域は青色で表示されます。



関心領域を削除する必要がある場合は、関心領域ページに移動して、下の削除コマンドをクリックするだけです。

ユーザーは、関心のある領域のアクティブなウィンドウを以下のように設定することもできます。これにより、関心のある領域がより使いやすくなります。



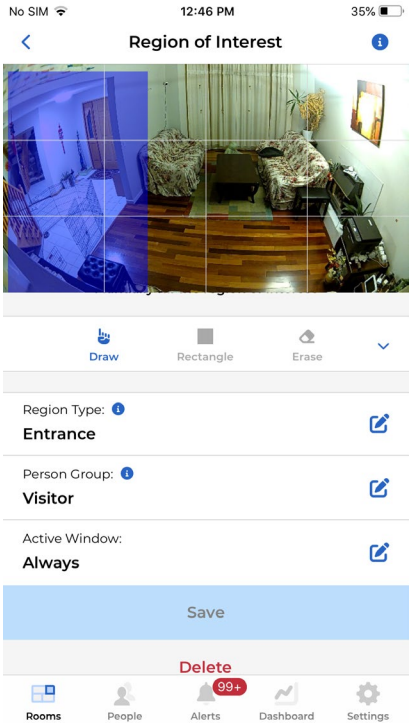
1）入口と出口

関心領域の出入り口には、非接触型の来客管理システムや従業員の勤怠管理システムを導入することができます。

領域タイプが入口である場合、指定されたグループの人が入口エリアのセンサーによって識別されると、システムはビジターシステムに入室記録を生成します（アラームは送信されません）。

領域タイプが出口である場合、システムは、指定されたグループの人が出口エリアのセンサーによって識別されたときに、ビジターシステムに出口の記録を生成します（アラームは送信されません）。

一度入退室記録を作成すると、60 秒間は同一人物に対して繰り返されることはありません。



関心領域の入退室記録は、ダッシュボードページで確認・管理できます。詳しくは、第 8 章を参照してください。

また、ユーザーは以下のブラウザインタフェースから、関心領域の入退室記録を閲覧・管理することができます。 ブラウザインタフェースは、アプリケーションと同じユーザーアカウントでログインします。詳しくは、第 10 章を参照してください。

カナダサーバーのユーザーアカウント：
https://app.altumview.ca

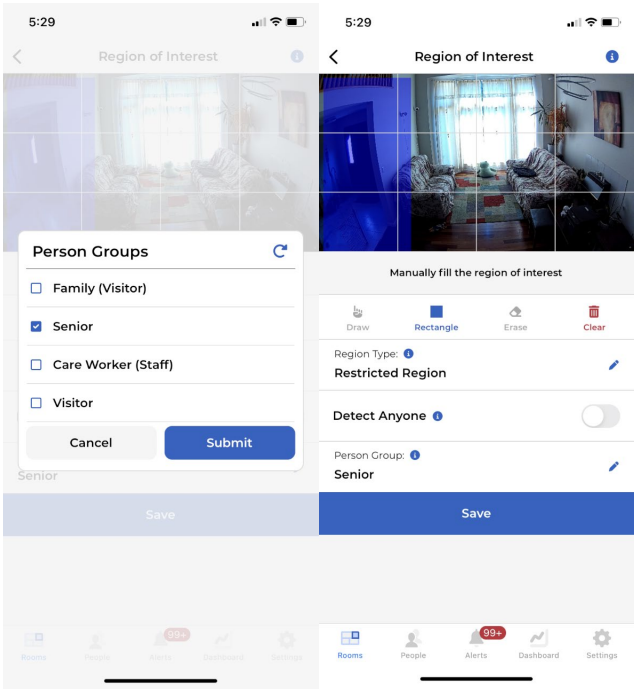
米国サーバーのユーザーアカウント：
https://app.altumview.com

中国サーバーのユーザーアカウント：
https://app.altumview.com.cn

「https://」を必ず入力してください。Google または Microsoft のブラウザを推奨します。

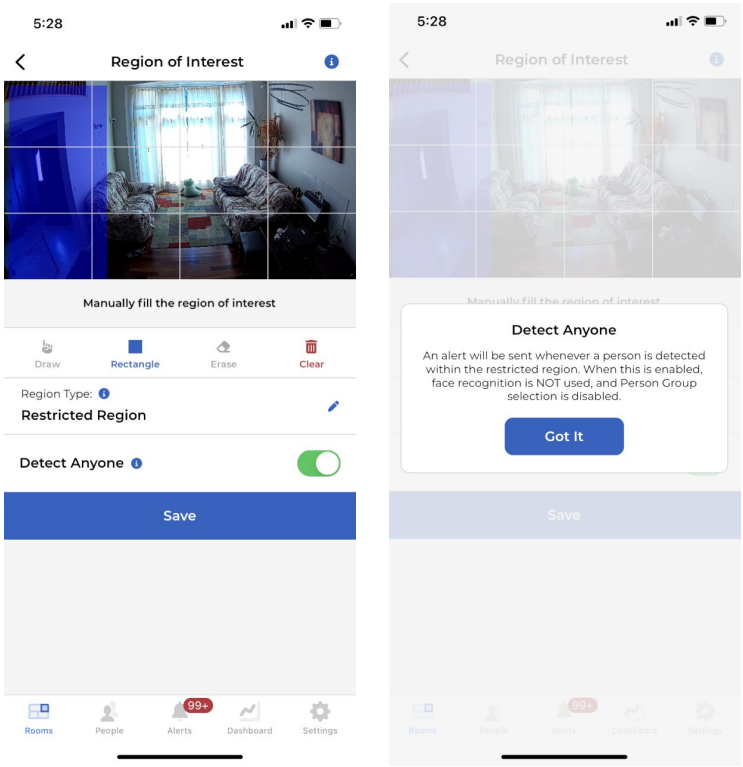
2）立入禁止エリア

関心領域のタイプが立ち入り禁止エリアである場合、指定されたグループに属する人物が立ち入りエリアで確認されると、センサーはシステムにアラームを送信します。人が立ち入り禁止エリアを離れても、識別される前にセンサーの視線に入った場合、システムはアラームを送信することができます。



3）誰でも検出：

立ち入り禁止エリアの一つ特別な機能は、下の画像に示すように、「Detect Anyone（誰でも検出）」です。このオプションを選択すると、立ち入り禁止エリア内で棒人間が検出された場合、センサーがアラートを送信します。この機能は顔認識ではなく人検出を利用するため、なんのグループを選択する必要がありません。その為、顔認証が不要な場合（一人暮らしの高齢者の見守りなど）や、顔認証の信頼性が低い場合（夜間の使用など）に有効です。



<u>立ち入り禁止エリアには警報が発生した場合、60 秒間は警報を繰り返しません。</u>

認知症の患者が安全なエリアから出るを防止する対策としては、立ち入り禁止エリア検出を設定できます。すべての認知症患者を「認知症患者」にグループ割りあって、関心領域ページで住宅介護施設の出入り口などに立ち入り禁止エリアを定義したら、患者がこのエリアに入ったときにセンサーがアラームを鳴らします。それで医療関係者が徘徊防止のための対応を間に合わせることができます。

また、制限区域の機能は、転倒防止にも活用できます。例えば、転倒の危険性が高く、ベッドで過ごすことが多い患者さんの場合、ベッドの横に制限エリアを設定し、ベッドから離れるとアラームが鳴り、介護スタッフが駆けつけ、転倒を防止することができます。

4）滞留検知：

関心領域エリアが滞留検出エリアとして定義されている場合、指定されたグループの中にいる人が特定され、設定時間以上エリアに滞在すると、センサーはアラームを送信します。

「誰でも検出」が選択されている場合、誰でも設定時間より長くエリアに滞在すると、センサーはアラームを送信します。この場合、顔認証は必要ありません。

滞留検知は、座りっぱなしなどの不活発な状態への注意喚起や、浴室など転倒検知が難しい場所での転倒検知のバックアップとして使用ができます。
滞留で警報が発生した後、60 秒間は繰り返しアラームを送信しません。

5）不在検知：

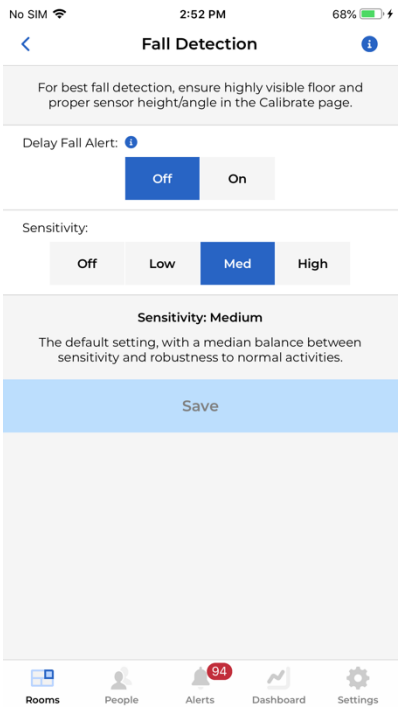
関心領域が不在検知エリアとして定義されている場合、そのエリアで定義された時間、誰も検知されないとセンサーはアラームを送信します。

不在検知は、一人暮らしの異常をタイムリーに検知するのに非常に有効です。毎日、その人が定期的にいるべきエリアに設定ができます。

不在アラームが発生した後、60 秒間は繰り返しアラームを発生させません。

4.2.11 転倒検出の設定

棒人間センサーでは、ユーザーが転倒検出の設定を変更できます。検出設定には、遅延アラートと転倒検出感度が含まれています。



1）遅延転倒アラーム

「遅延転倒アラーム」機能は、スイッチで制御されます。遅延転倒アラームがオンになっている場合、センサーは転倒を検知すると、カメラが30秒間赤く点滅し続け、30秒後に警報を送信し、紫色のライトが点灯します。その間、人が再び立ち上がった場合はアラームが送信されず、赤色のライトが消えます。

遅延転倒設定がオフになっている場合（デフォルト設定）、センサーは転倒を検知するとすぐに警報を送信します。これは、転倒警報機能をデモまたはテストする際に便利ですが、通常の使用時に遅延警報をオフにすることはお勧めしません。

遅延転倒警報設定を変更すると、デバイスが再起動します。

2）感度

ユーザーは、転倒検出の感度を調整することができます。感度がオフに設定されている場合、転倒検出機能は無効になります。

感度レベルには、低、中（デフォルト）、高の 3 種類があります。

低感度モードでは（ファームウェア 1.1.433 バージョンのアルゴリズムと同等）、センサーの反応が低くなり、通常のアクティビティに対する誤検知が少なくなります。人が上半身を床に寝かせた場合にのみ、転倒検出警報がトリガーされます。人が転倒しても床に座っている場合、通常、センサーは転倒検出警報を送信しません。

中感度モードでは、棒人間センサーは通常のアクティビティ検出と転倒検出の感度の中間バランスを提供します。

高感度モードでは、センサーは転倒に対して高感度ですが、同時に誤検知の可能性も高くなります。転倒リスクの高い個人や寝室、浴室など、床面積が小さい部屋には、このモードを選択してください。多くの場合、人が転倒して床に座っていても、転倒検出警報がトリガーされることがあります。

4.2.12 助けを求める検出設定

棒人間センサーは、センサーに向かって手を振ってアラームを鳴らすことで、人々が積極的に助けを求めることができます。ただし、誤報を減らすため、アラームが鳴る前に人の顔を検出するために、人はセンサーに向かって手を振る必要があります。

手を振って検知のページでは、アラームをトリガーできる人を選択し、感度を調整することができます。デフォルトでは、「Detect Anyone」がオンになっており、「People」ページに顔写真が追加されていなくても、誰でも警報を発することができます。「Detect Anyone」がオフの場合、ユーザーはアラームをトリガーできる人を選べます。これにより、センサーが指定されたグループ内の人物を認識した場合のみ、アラームを送信ができます。ただし、この機能を使うには、人物の顔写真を「People」ページに追加することが必要です。

また、ユーザーは手を振る検知の感度を調整することができます。感度がオフの場合、手を振る検出は無効になります。

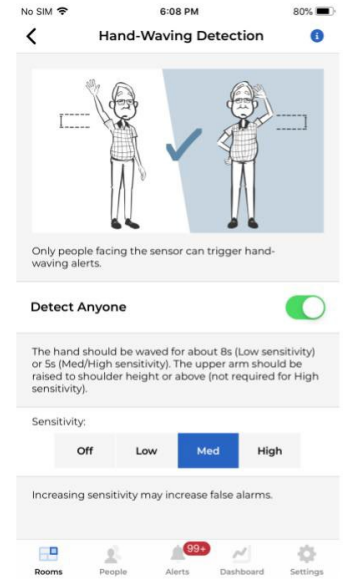
手を振る感度は、低、中、高の 3 種類から選べます。デフォルトの感度は「中」です。低感度の時、手を振るアラームをトリガーするには、約 6 秒間連続して手を振る必要があり、**上腕は少なくとも肩の高さまで上げる必要があります。**センサーが手を振ったことを検知すると、まずセンサーLED が約 5 秒間赤く点滅します。この時間のほとんどを人が手を振っている場合、LED は紫色に点滅し、手を振るアラームが送信します。

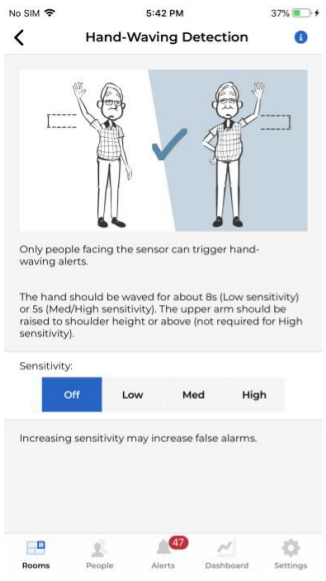
手を振るアラームの感度を「中」に変更すると、手を振る人が約 4 秒間手を振ることでアラームが送信するため、手を振るアラームがトリガされやすくなります。上腕も少なくとも肩の高さまで上げる必要があります。

感度が「高」の場合、アラームを振る人は手を頭の高さまで約 4 秒間上げるだけでアラームがトリガーされます。

感度を上げると誤報の可能性も高くなりますが、これはセクション 6 の「誤報管理」ページで管理できますので、ご注意ください。

手を振ってアラームが発生してから 15 秒間は、繰り返しアラームは送信しません。





4.2.13 Wi-Fi の管理

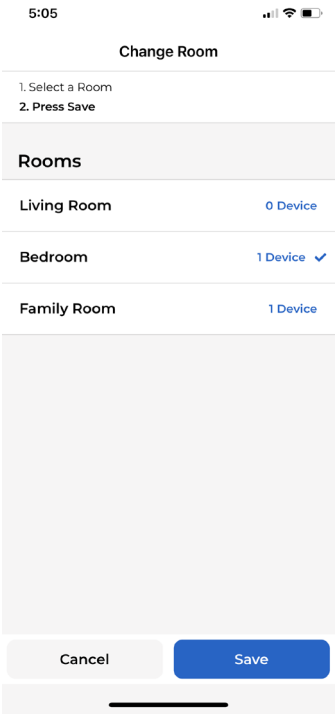
センサーがオフラインまたはオンラインの状態であるかに関係なく、ユーザーは Wi-Fi を再設定することができます。ユーザーは、センサーページで「Wi-Fi の設定」コマンドをクリックすることで、Wi-Fi を設定できます。アカウントにセンサーを初めて追加した後、このアプリは自動的にユーザーを Wi-Fi 設定ページに案内します。使用方法は 4.1.2 章で説明されています。

4.2.14 ファームウェアのアップグレード

センサーのファームウェアが最新のファームウェアバージョンと異なる場合、設定画面の下部に「Update to .....」というコマンドが表示されます。このコマンドをクリックすると、ファームウェアがアップグレードされます。まず、センサーが新しいファームウェアをダウンロードします。 ダウンロード中はセンサーの LED が青く点滅します。ダウンロードが完了すると、センサーは再起動します。 センサーの再起動は数回行われることがあります。詳しくは、4.1.3 項をご参照ください。

4.2.15 センサーの部屋の変更

センサーを別の部屋に移動する必要がある場合、ユーザーはモバイルアプリでセンサーを適切な部屋に移動ができます。設定ページの下部にある「別の部屋に移動」をクリックすると、「別の部屋に移動」ページに移動します。部屋リストで新しい部屋を選択し、下の「保存」をクリックすると、センサーが新しい部屋に移動します（下の画像を参照）。



4.2.16 センサーの削除

セキュリティ上の理由から、各センサーは 1 つのアカウントにのみ追加ができます。**センサーを別のアカウントに追加する必要がある場合は、まず前のアカウントからセンサーを削除する必要があります。**これは、センサーページの「センサーを削除する」コマンドをクリックすることで実行可能です。センサーを削除する時に、なるべくセンサーが WiFi とインターネットに接続されている間にしてください。この場合、削除手続きを完了するために、「デバイスの削

除」コマンドをクリックした後、センサーを再起動させる必要があります。センサーが再起動するまで約**2 分待ってから**電源を切ってください。センサーは、最初に約 30 秒間白く点滅し、再起動中は安定した白色光を示し、再起動後に再び白く点滅します。

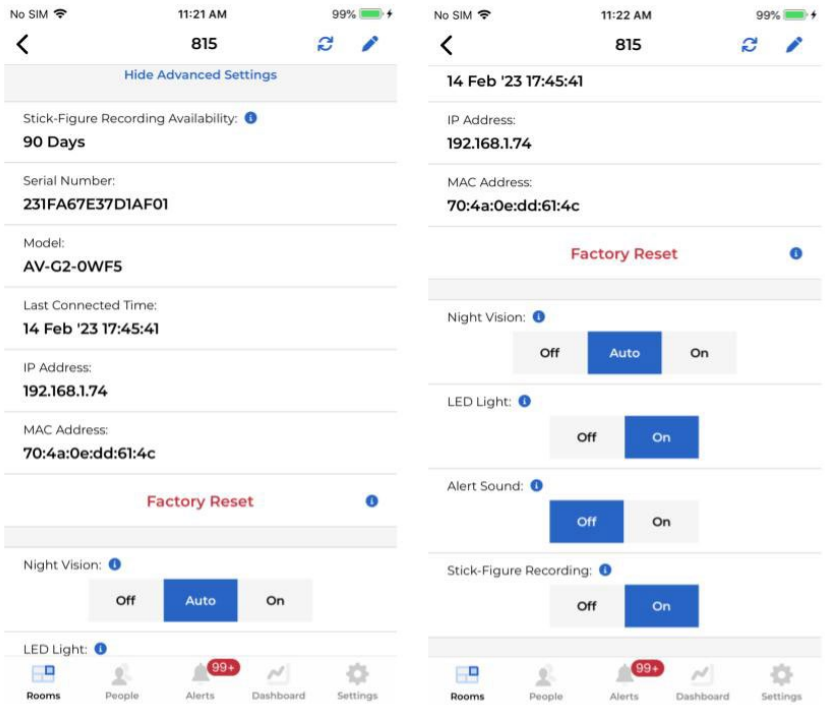
何らかの理由でセンサーをオフライン状態でアプリから削除しなければならない場合（例えば、センサーが WiFi やインターネットに接続できず、アプリと通信できない場合など）、以下のようになります：

1. オフラインで削除した後、削除前に接続していた WiFi ネットワークにアクセスできる状態でセンサーの電源を入れ直すと、センサーは WiFi ネットワーク経由でサーバーに自動的に接続し、サーバーは前のアカウントからの削除処理を完了するためにセンサーに再起動を指示します。 再起動後、センサーを新しいアカウントに追加することができます（LED は白色の点滅に変わります）。

2. センサーが以前のアカウントとは異なる WiFi ネットワークを使用する新しいアカウントに追加された場合、電話アプリが近くのセンサーをスキャンすると、センサーのステータスは「追加済み」と表示されます。この場合、センサーを新しいアカウントに追加する前に、4.2.17 項工場出荷時の設定を復元するを参照して、手動で工場出荷時のリセットを実行する必要があります。

4.2.17 詳細設定

センサーページの下部にある「詳細設定を表示]コマンドをタップすると、シリアル番号、最終接続時刻、IP アドレス、MAC アドレス、切り替えスイッチなどの詳細情報が表示されます。その後、コマンドは「詳細設定を隠す」に変更されます。これをタップすると詳細設定が非表示になります。



4.2.18 ナイトビジョンの設定

詳細設定では、ページ内のトグルスイッチを使用して、ナイトビジョンのオン、オフ、またはナイトビジョン機能を自動に設定するかを選択できます。自動モードでは、アルゴリズムが IR ライトのオンとオフを自動的に決定します。

4.2.19 LED ライトの制御

センサーの LED の色によって、さまざまな意味を表します：

- 白：起動中
- 白色点滅：ネットワークアクセス待機中
- 緑色の点滅：端末とモバイルアプリが Bluetooth で接続されているか、音声通話中
- 緑色の点灯：センサーが正常に動作
- 赤色点灯：Wi-Fi 接続中
- 青：携帯電話との Bluetooth 通信、またはサーバーからのファイルダウンロード中
- 黄色点滅：サーバーに接続中
- 黄色点灯：サーバーに接続できない
- 紫：アラーム送信中、または工場出荷時の設定に戻している。
- シアン色の点滅：アプリで双方向音声がオンになっている状態
- 赤色点滅：1) 「遅延落下アラーム」がオンで落下を検知した場合、赤色点滅の 30 秒後にセンサーが落下アラームを送信します。2) ウェービングを検出した場合、センサー

は数秒間の点滅の後、ウェービングアラームを送信します。 3) WiFi 接続時、WiFi パスワードが間違っている。

棒人間センサーの LED は、アプリの LED スイッチで ON/OFF を切り替えることができます。

棒人間センサーの場合、アプリの LED スイッチをオフにすると、センサーは通常の動作状態における定常的な緑色の光のみをオフにします。これは LED を使用して他の特殊な状態を示すことには影響しません。

4.2.20 アラーム送信時のセンサー警告音

アラーム送信時のセンサー音警告が「オン」の場合、アラーム送信時にセンサー音が鳴り、それ以外の場合、アラーム送信時にセンサー音は鳴りません。

4.2.21 ローカルビデオ録画

「第三世代棒人間センサー」および 「サイプレス棒人間センサー」 には、ローカルビデオレコーディングに使用するための SD カードスロットがあります。 SD カードに保存されたビデオは、将来の同様のイベントを防ぐための事故の分析や、法的な目的の証拠として使用できます。この機能は現在「第三世代棒人間センサー」のベータ版であり、一部の選択されたアカウントのみに適用されています。

SD カードを挿入する際には、SD カードの金属ピン側がセンサーの背面を向いている必要があります。

推奨される MicroSD カードの要件は以下の通りです:

- SanDisk Ultra/Ultra Plus、または Samsung、Lexar、Kingston の同様の製品
- 32GB から 256GB
- SDHC または SDXC
- UHS-1、C10、U1 または V10
- FAT32 ファイルフォーマットのみ

Windows では、32GB 以上の SD カードを FAT32 形式にフォーマットすることはできません。EaseUS のような無料ツールを使用して、これを行うことができます。
https://www.easeus.com/partition-master/format-sd-card-windows-10.html Apple コンピュータは、直接 FAT32 形式に 32GB 以上の SD カードをフォーマットすることができます。

第三世代棒人間センサーの場合、「Local Video Recording」フラグが「On」になっている時に、ビデオクリップは連続的に MicroSD カードに保存されます。各ファイルには約 15 分の映像が含まれます。カードがいっぱいになると、最も古いファイルが上書きされます。現在、SD カードのビデオ録画は、シーンに人がいないときでもビデオを記録します。将来、人が検知された時のみビデオを録画するオプションを追加する予定です。

第三世代棒人間センサーの場合、SD カードが正しく動作するように、「ローカルビデオ録画」フラグをオンにする前に MicroSD カードを挿入してください；SD カードを取り外すときは、まず棒人間アプリでこのフラグを「オフ」に切り替えてください。この機能を使用したくない場合は、SD カードスロットにカードを挿入しないでください。SD カードが正常に動作しない場合、アプリはエラーメッセージを表示し、ユーザーに SD カードの再挿入、またはセンサーの再起動を行います。

サイプレスセンサーの場合、「ローカルビデオ録画」スイッチがオンの場合、 センサーが人を検出したときのみ、ビデオはセンサーの SD カードに保存されます。「ローカルビデオ録画」スイッチがオフ（デフォルト）の場合、アラームが検出されるとビデオが SD カードに保存されます。SD カードスロットに SD カードが挿入されていない場合、ビデオは記録されません。

プライバシーおよびセキュリティ上の理由から、SD カードのビデオはセンサーから外部に送信されません。ビデオを見るには、SD カードをセンサーから取り外して、ファイルをコンピュータにコピーする必要があります。

SD カード上のビデオは H.264 規格でエンコードされており、VLC Player (https://www.videolan.org) などの様々なビデオプレーヤーで再生することができます。ビデオは、グリニッジ標準時（GMT）の後継である UTC 時間を使用してタイムスタンプされます。

4.2.22 棒人間録画

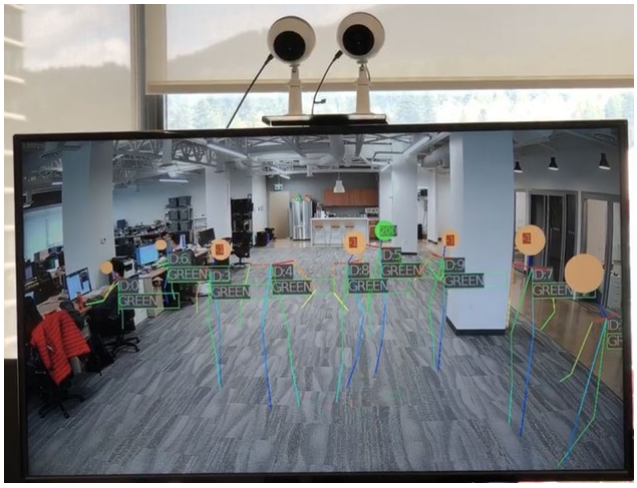
「詳細設定」には、棒人間録画の ON/OFF を切り替えるトグルスイッチがあります。この機能をオンにすると、センサーの視界に人物が現れるたびに、その人物の棒人間動画がサーバーに保存されます。これらの棒人間動画は、デバイスページの「棒人間録画」コマンドでアクセスすることができます。詳しくは 4.2.7 項を参照してください。

4.2.23 HDMI 出力（サイプレスのみ）

特注センサーの中には、側面に HDMI 出力があり、背景画像や棒人間のビデオストリームを大画面テレビに表示できるものもあります。これは、デモの際に非常に便利です。

HDMI 出力のあるこれらのセンサーの場合、「詳細設定」には「HDMI 出力」スイッチがあり、行動認識センサーの HDMI 出力ポートをオンまたはオフにするために使用することができます。初期値は「オフ」です。「HDMI 出力」を変更すると、変更を有効にするためにデバイスが再起動されます。

HDMI 出力に必要な表示装置は、解像度 1080P、60fps です。



4.2.24 工場出荷状態のリセット

万が一、センサーが正常に機能しない場合は、工場出荷時の設定に戻す必要がある場合があります。この作業は、アプリ内、第 1 世代サプレイスセンサーの背面にあるリセットホール、または第 2 世代センサーの上部にあるリセットボタンから行うことができます。

1) アプリで工場出荷時の設定に戻す

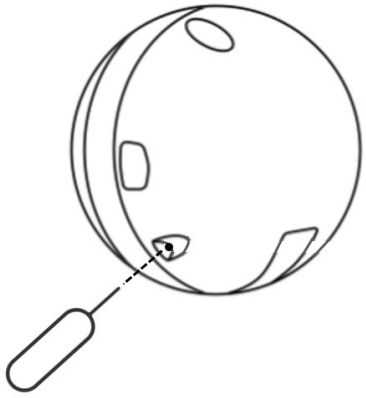
センサーが Bluetooth でアプリに接続できる場合、センサーページの詳細設定にある「工場出荷時のリセット」コマンドを選択することで、アプリ経由で工場出荷時の設定を復元することができます。ンサーが簡単にアクセスできない高所に設置されている場合、工場出荷時のリセットは App 経由で非常に便利です。

サイプレスセンサーの場合、リセットプロセスは約 2 分かかり、その間に、センサーの LED は緑色に点滅し、白く点滅し、白く点灯し(再起動)、そして最後に白く点滅し、アカウントに追加する準備ができていることを示します。ファームウェアのバージョンによっては、複数の再起動が必要になる場合があります。2 分後にセンサーが完全にリセットされ、LED が白色に点滅するまで電源を抜かないでください。工場出荷時のリセット後、センサーのファームウェアは初期バージョンに戻り、すべてのユーザーデータはセンサーから消去され、センサーはその時のアカウントから削除されます。その後、任意のアカウントに追加することができ、その後ファームウェアをアップグレードする必要があります。

第二世代及び第三世代センティネアセンサーの場合、リセットプロセスは約 1 分しかかからず、その間に、センサーの LED は緑色に点滅し、白色に点滅し、赤色に点滅し、最後、白色点灯し(再起動)、そして最後に白く点滅し、アカウントに追加する準備ができていることを知らせます。1 分後にセンサーが完全にリセットされ、LED が白色光に点滅するまで電源を抜かないでください。サイプレスセンサーとは異なり、工場出荷時のリセットは第二世代センティネアのファームウェアバージョンを変更しないため、新しいファームウェアバージョンが利用可能でない限りアップグレードする必要はありませんが、センサーはアカウントから削除されます。その後、任意のアカウントに追加できます。

2)手動で工場出荷時の設定に戻す
アプリが Bluetooth を介してセンサーに接続できない場合は、物理的な工場出荷時のリセットが必要です。

サイプレスセンサーの場合、センサーの背面には、以下に示すように、SD カードスロットの隣にリセットホールがあります。物理的な工場出荷時のリセットを実行するには、穴にピンを挿入し(左下から右上の方向、または 45 度)、センサーの内側のリセットボタンを軽く押し、LED ライトが紫色になるまで約 8 秒間押し続けます。その後、センサーが再起動し、LED は約 1 分間白色になり、その後、それがアプリからコマンドを受信する準備ができていることを示すため、白く点滅します。ファームウェアバージョンによっては、工場出荷時のリセット時に複数の再起動が必要になる場合があります。



第二世代及び第三世代センティネアセンサーの場合、物理的な工場出荷時のリセットを実行するには、センサーの上部にあるリセットボタンを押す必要があります。手順は次のとおりです。

- センサーの電源を抜く
- センサーの電源を差し込む
- LED ライトが白色になったら、3 秒間リセットボタンを押し、2 秒間そのまま LED が紫色になったらボタンを放します(注意:0.1.205 以前のファームウェアバージョンでは、LED が紫色ではなく赤色になったらボタンを離す)。

これらの手順が完了すると、センサーが再起動し、LED がまず白色点灯に、次に白色点滅に変わり、センサーがアプリからのコマンドを受信できる状態になったことを示します。

3) 以前のファームウェアバージョンに切り替える（第二世代センティネアセンサーのみ）

第二世代センティネアセンサーには,もう 1 つの工場出荷時リセット機能があり,ファームウェアを以前のバージョンに切り替えることができます。これは、現在のファームウェアバージョ

ンが破損しており、工場出荷時の設定に戻っても正常に動作しないと判断された場合にのみ行われます。ただし、本作業を行う前に弊社に確認してください。場合によっては、以前のファームウェアのバージョンと一致するバージョンにアプリをダウングレードさせる必要がある場合もあるので注意してください。

切り替え手順は以下の通り：上記の工場出荷設定への復帰では、再電源後に LED ランプが白色に変化したら、3 秒間リセットボタンを押し、ボタンを押し続けます。LED ライトは 2 秒後に紫色になります。ボタンを押し続けると約 20 秒で LED が紫色に点滅します。このときボタンを離します。センサーは以前のファームウェアバージョンに切り替わります。

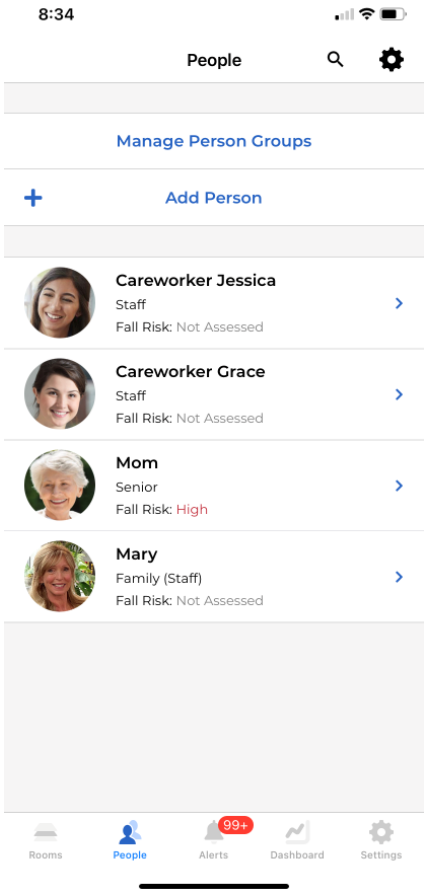
4) 工場出荷時設定に戻した後の状態

両方のセンサーについて、物理的なリセットの後、センサーは以前と同じアカウントに残りますが、ステータスはオフラインに変更されます。センサーが同じアカウントに留まる必要がある場合、ユーザーはアプリを介してセンサーの WiFi をリセットし、その後キャリブレーションを行うだけです。センサーを別のアカウントに追加する必要がある場合、前のアカウントの所有者は、物理的なリセットの前または後に、アプリを介して前のアカウントからデバイスを削除する必要があります。そうしないと、新しいアカウントの所有者が新しいアカウントにセンサーを追加しようとしたときに、「このデバイスは別のアカウントに属しています」というエラーメッセージが表示されます。新しいユーザーは、4.1.1 項に記載されているように、前のアカウントの所有者に連絡して、販売店からデバイスを削除することができます。連絡できない場合は、弊社まで contact @ altumview.com に電子メールを送信し、センサーのシリアルナンバーをお知らせください。サーバーから以前の記録を削除します。その後、お客様のアカウントに追加ができます。

5. 人の管理

ページ下部の「人」をクリックすると、「人」ページに移動します。このページでは、人の管理、人の追加、人の情報の変更、転倒リスク評価の実行が可能です。

現在のアカウントにいるすべての人の統計は、「ダッシュボード」ページで確認できます。



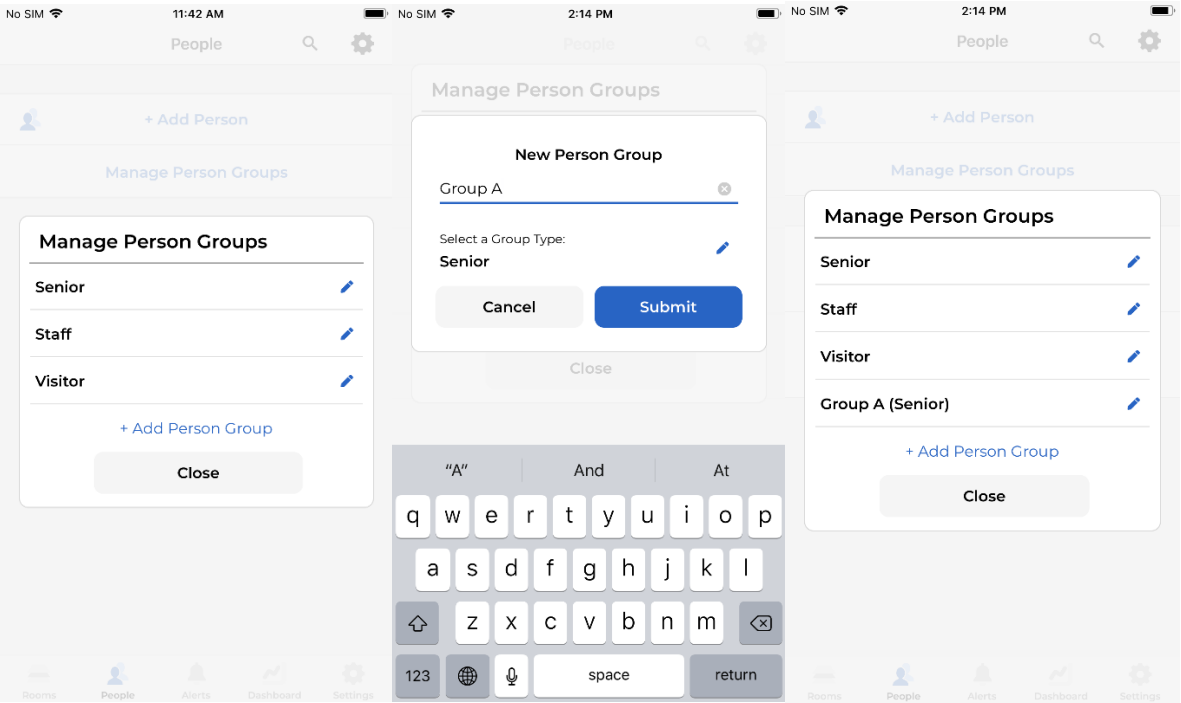
5.1 グループ管理

ユーザー管理を容易にするために、ユーザーは異なる人グループを定義することができます。各ユーザーは、人のグループに割り当てられる必要があります。

ユーザーは「グループの管理」をクリックすると、利用可能なグループを見ることができます。デフォルトでは、シニア、スタッフ、ビジターの 3 つのグループがあらかじめ定義されています。

「グループ管理」ページで、「+人の追加」をクリックすると、新しい人を追加することができます。「新しい人」ページでは、新しいグループの名前とグループの種類を指定することができます。現在、シニア、スタッフ、ビジターの 3 種類の人々のみがサポートされています。上記の 3 つの定義済みの人々は、この 3 つのタイプのいずれかに属しています。

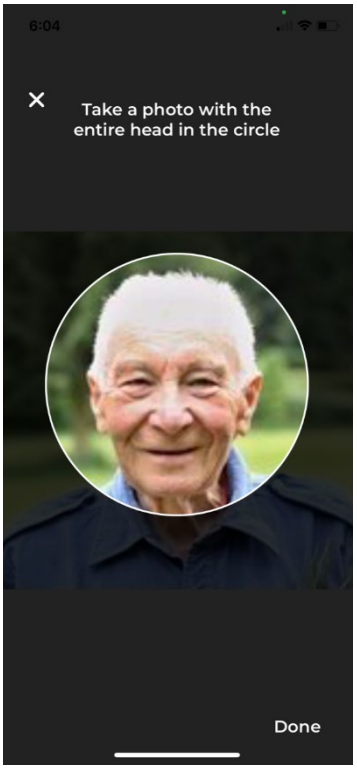
管理者だけが「グループ」を管理することができます。

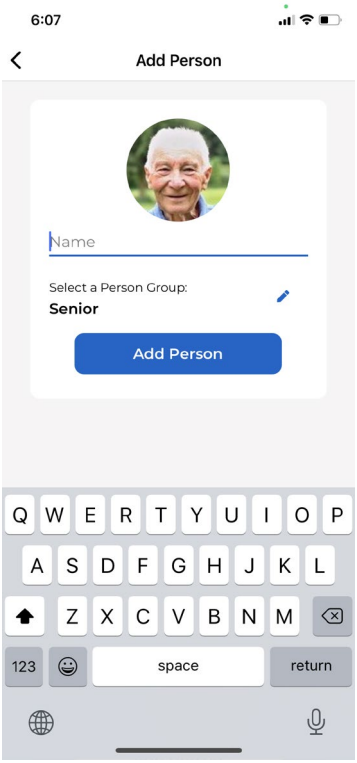


5.2 人の添加

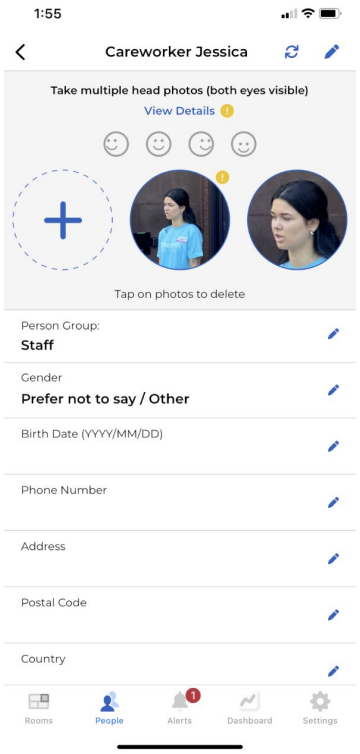
人の追加は管理者のみ可能です。ページ上部の「+ Add Person」をクリックすると、下の画像の右側のページが表示され、そこから新しい人のヘッドショットを追加することができます。スマホのフォトライブラリから写真を取り込むか、カメラで生写真を撮影してください。その際、人の頭全体がファインダーに入るようにお願いします。

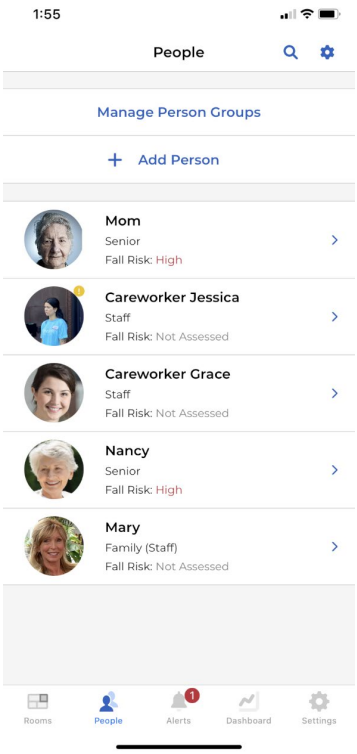
人のヘッドショットを撮影すると、「人の追加」ページが表示され、下図のように、人の名前と所属するグループを入力することができます。





写真に写っている顔がシステムで正しく認識できない場合（小さすぎるなど）には、以下のように写真の右上に黄色の警告が表示されます。





次ページの「個人情報」ページでは、顔認識性能を向上させるために、新たに追加した人の顔をさまざまな角度から撮影した写真を追加することができます。1 人あたり 4 枚の写真を提供することを推奨します：

- 正面から撮影した写真
- 左右 45 度サイドビュー（両目とも見える）
- 15 度上面写真

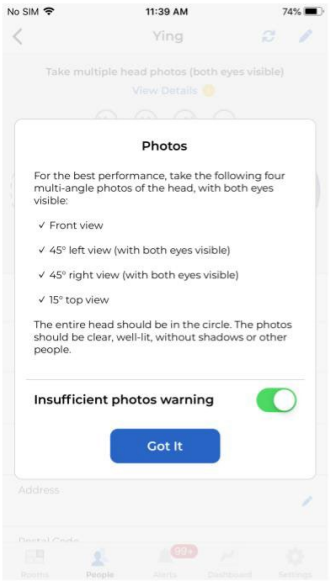
頭部全体が円形のフレームに入り、両目から見えるようにします。写真は鮮明で、光がよく当たり、影や他の人が写っていないと確認してください。

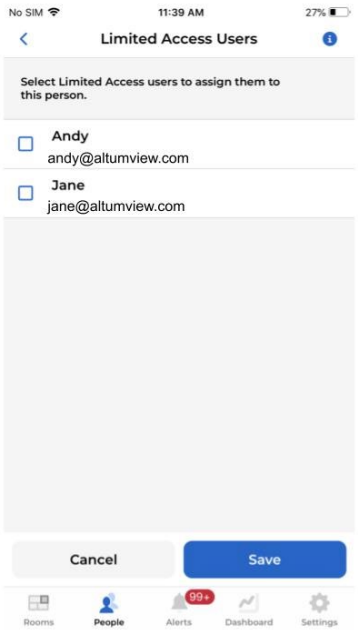
写真枚数が 4 枚未満の場合、その人のアバターの横に黄色の警告マークが表示されます。

iPhone でヘッドショットを撮影する場合、頭部全体が円形の枠内に入り、かつ偏角が 45 度以内の場合、枠線が緑色になります。 それ以外は赤色になります。

ユーザーは、個人ページの「詳細を見る」ボタンをクリックすることで、写真の必要枚数を確認することができます。「写真不足警告」スイッチは、写真不足警告を表示するかどうかを決定することができます。「写真不足警告」のスイッチをオフにすると、その人の写真の右上にある黄色い点は表示されません。

「＋」をクリックすると、写真が追加されます。写真をタップすると削除できます。写真は 1 人 1 枚以上必要です。または写真の削除が管理者のみ可能です。



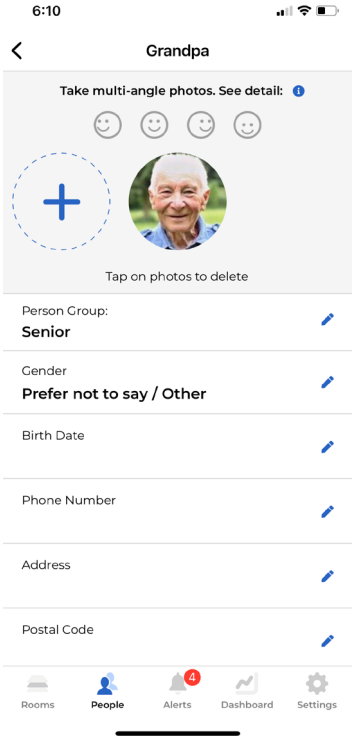


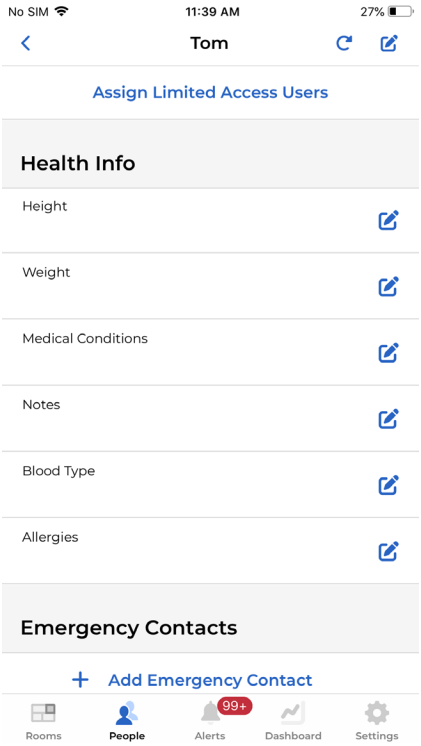
このページでは、性別、生年月日、住所、電話番号などの基本的な個人情報を入力することで、その人のカテゴリーを変更することができます。また、「高齢者」カテゴリーに属する場合は、

高齢者の基本的な医療情報や緊急連絡先を入力することができます。「健康情報」画面の「病状」では、30 種類以上の代表的な慢性疾患から選択することができます。

なお、緊急連絡先は介護施設などの利用者が使用します。棒人間システムは緊急連絡先番号を使用してアラート通知を送信しません。棒人間アプリにのみ通知を送信します。

ユーザーは、「アクセス制限ユーザーを割り当てる」をクリックすることで、この人物をサブユーザーに割り当てることもできます。 「アクセス制限ユーザー」ページでは、サブユーザーにチェックを入れるだけで、この人物がそのサブユーザーに割り当てられます。

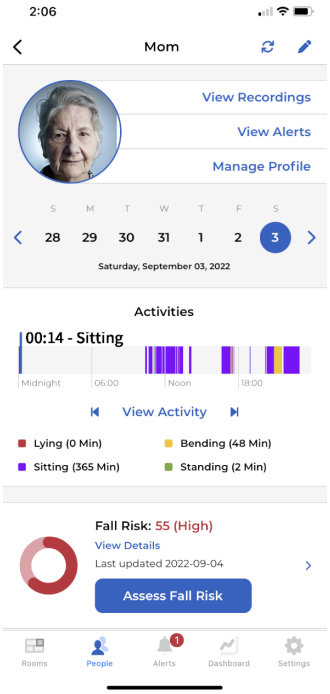




人の顔が検出されない場合、画像の右上隅に黄色の点とその人物の名前が表示されます。

5.3 個人情報

「人」リストから編集したい人をタップすると、下図のような個人情報ページに移動します。



ユーザーは、「人ページ」の上部にあるペンボタンをクリックすることで、人の情報を削除したり、名前を変更したりすることができます。人の名前はすべてのユーザーが変更できますが、人の削除は管理者のみ可能です。アプリは人の名前をキャッシュとして保持するため、人を削除しても、アプリを再起動するか、ユーザーが再ログインするまで、アプリはその人を認識し表示します。

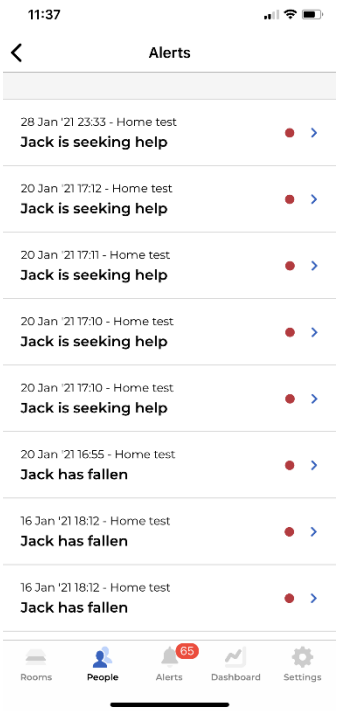
「棒人間ビデオを見る」コマンドをクリックすると、その人のビデオ録画が表示されます。

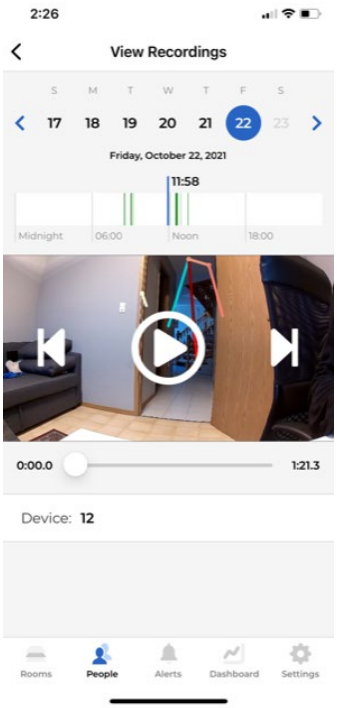
「アラームの表示」コマンドをクリックすると、左下の画像に示すように、その人のアラーム記録がすべてリストアップされます。各アラーム記録をクリックすると、次章で説明するように、そのアラームの詳細が表示されます。

Bluetooth仕様上、センサー名=Bluetoothデバイス名として表示されます。

他デバイスでBluetooth検索をかけるとセンサー名が表示されます。

つまりセンサー名を個人名にしてしまうと、他デバイスでBluetooth検索をした際に名前が表示されますので、センサー名には名前を入れないようご注意ください。





「個人情報の管理」コマンドをクリックすると、前述の人物情報ページが表示されます。このページでは、顔写真の追加や削除、その人の属性、電話番号、住所、30 種類以上の病気などの健康情報などを追加ができます。

マネージャー情報コマンドの下には、カレンダーで 1 日を選択すると、その日の統計情報が表示され、横になっている、屈んでいる、座っている、立っているなどの活動別の滞在時間を確認することができます。

「人のページ」の下部には、7 章で説明する「転倒リスク評価」をクリックすることで、ユーザーはその人物の転倒リスクを評価することもできます。その人が以前に転倒リスクの評価を受けたことがある場合、前回の評価結果も人物の情報ページに表示されます。

AltumView Systems Inc.

6. アラート

6.1 アラート

落下や手を振り、特定のグループが制限区域に入るなどの異常事態を検知するとクラウド経由でモバイルアプリにアラームを自動送信します。ユーザーはまず棒人間アプリにログインし、携帯電話でアプリが実行されていること（バックグラウンドで実行可能）、プッシュ通知がオンになっていること、そして携帯端末がアラートを受信した際に携帯電話で音が鳴ることを確認する必要があります。

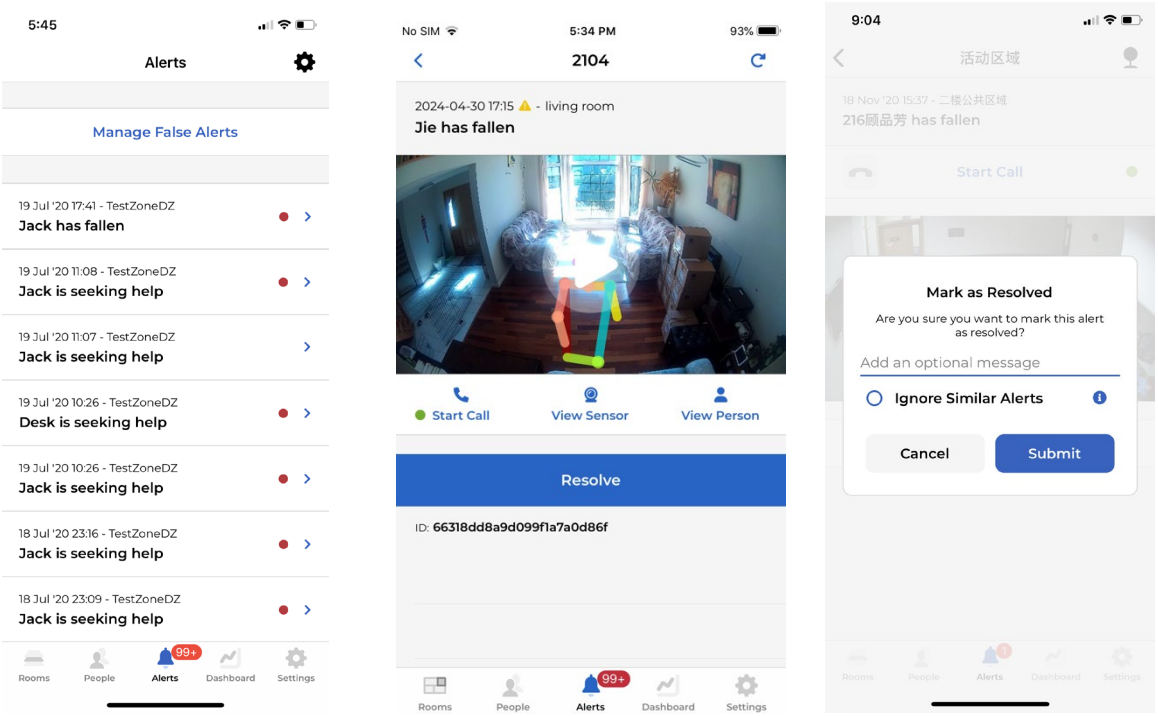
注意事項：

1. 無料プランでも、複数の人が別々の携帯電話で同じアカウントにログインし、同時にアラートを受信することは可能です。
2. 多くの携帯電話（特に Android 携帯電話）には様々な節電設定があります。 棒人間アプリがバックグラウンドで動作している場合、これらの設定が無効になり、棒人間アプリからのプッシュアラーム通知がオフになる場合があります。 棒人間アプリがプッシュ通知を受信できるようにするには、携帯電話のユーザーマニュアルを参照してください。また、プッシュ通知を受信できるようにするには、複数の省電力設定を変更する必要がある場合があります。
3. 現在、アラートメッセージには、アラートをトリガーした人の棒人間アクティビティのみが表示され、その場にいる全員のアクティビティは表示されません。シーン内の全員のアクティビティを表示するには、ビデオ表示機能を使用してください（数分の遅延があります）。
4. Android ユーザーは、Android 携帯の設定ページからプッシュ通知音をカスタマイズできます。

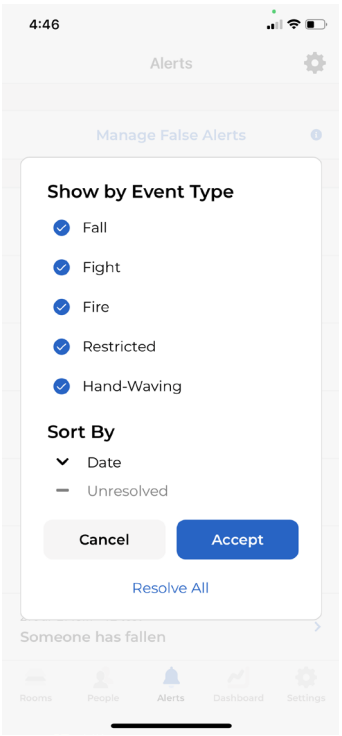
ページ下部の「アラーム」ボタンをクリックすると、すべてのアラームのリストが表示されます。各アラームページには、対応するイベントの時間、部屋、対応するマッチメーカーのモーションピクチャーが表示されます。時々、ユーザーはボタンを押してスクロールダウンし、最新のアラームを表示するためにリストを更新する必要があります。

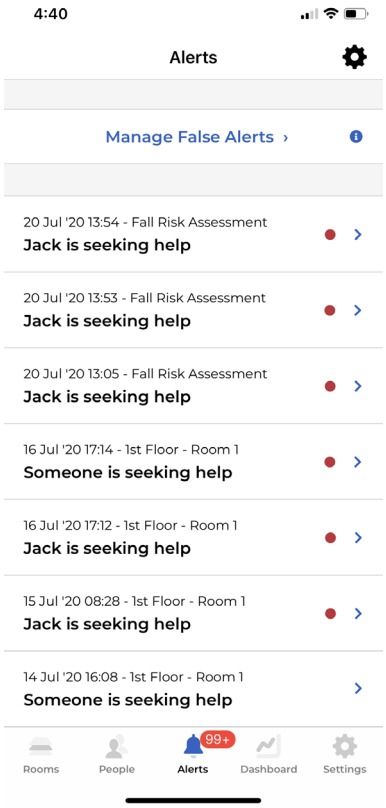
アラームを受信したら、ユーザーはアラームページの「通話開始」コマンドを使って現場と会話したり、「デバイスページを開く」コマンドをクリックしてセンサーのビデオストリーミングページに直接移動して現場のライブ状態を再確認することができます。

アラームを処理するには、「処理」ボタンをクリックします。処理済みとしてマーク」ポップアップページで、ユーザーはイベントの説明を入力するか、「類似のアラームを無視する」（セクション 6.2 参照）を選択して送信できます。アラームログリストのイベントのステータスが「処理済み」に変わり、赤いドットが削除されます。アラームが処理された日付と時刻は、アラームページの「最終更新」セクションに表示されます。



アラームリストの右上にある「設定」ボタンをタップすると、異なるイベントタイプを検索して、以下の 1 枚目の画像のように、時系列や逆順、処理済みかどうかで表示することも可能です。第二の画像は、転倒事件のみを検索した結果です。「フィルターをクリアする」をクリックすると、デフォルトの表示モードが復元されます。





注意事項：現在のアルゴリズムは転倒を検知し、床面への転倒に対してのみ警報を発します。ソファーやベッドへの転倒は警報されません。

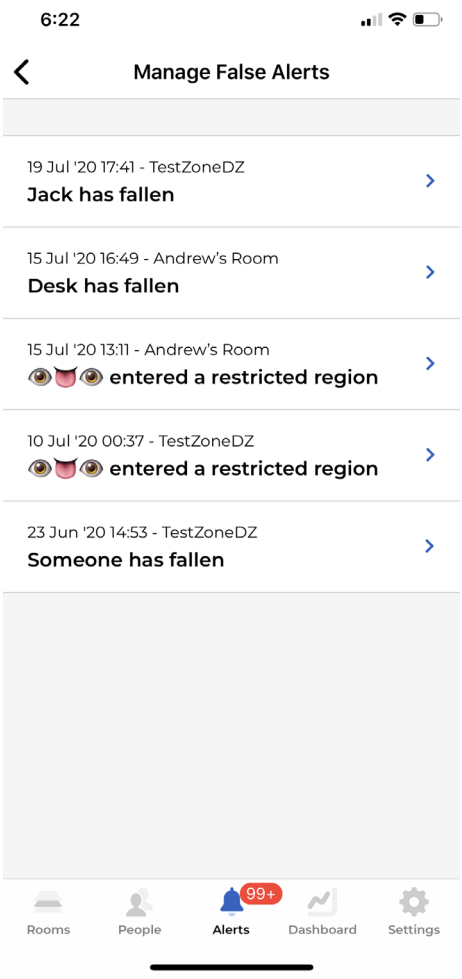
6.2 誤報の管理

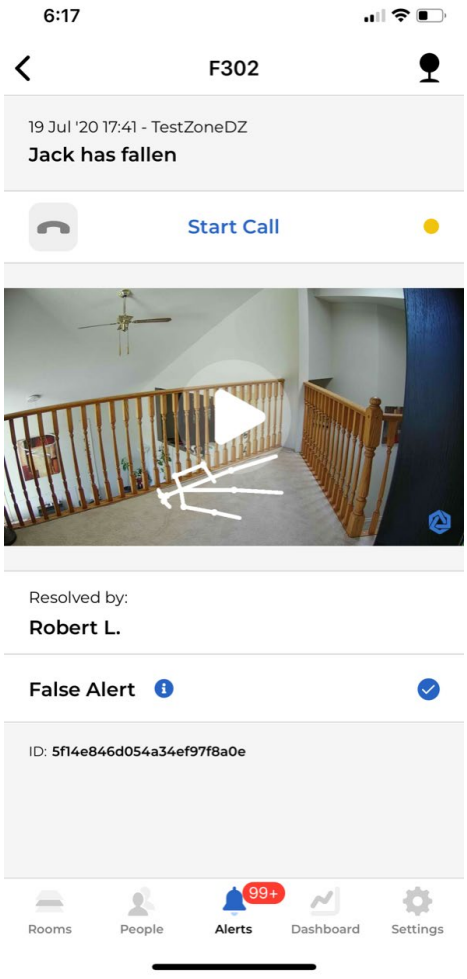
センサーからのアラームが誤報になることがあります。例えば、植物などを人間として検知してしまったり、転倒や手を振るアラームを作動させてしまったりすることがあります。

特定の誤報が同じ場所で頻繁に発生する場合、ユーザーは「処理済みとしてマークする」ページで「類似のアラームを無視する」とマークすることができます。それ以降、サーバーは同じ場所で同じ種類のアラームが発生した場合、それが本物のアラームであっても送信しないようにします。

センサーの位置または角度が変更された場合、そのセンサーのすべての誤報を手動で削除する必要があります。誤報を削除するには、誤報をクリックし、アラームページの「誤報」フラグのチェックを外してください。アラームは、アラームページのアラームリストに戻ります。

AltumView
Systems Inc.





7. 転倒リスク評価

7.1 概要

また、棒人間センサーは、転倒リスク評価も可能です。これにより、ユーザーは介護施設やコミュニティセンター、自宅などで高齢者の転倒リスクを定期的に評価することができるようになります。この検査は病院に行くことなく行うことができ、高齢者が転倒の危険性が高いかどうかを早期に発見することで、転倒やそれがもたらす被害を減らすために必要な介入を行うことができるようになります。

棒人間センサーの転倒リスク評価アルゴリズムは、広く使われている「モース転倒リスク評価尺度」に基づいており、以下の 6 つの要素を評価し、その合計スコアで転倒リスクを判定します。

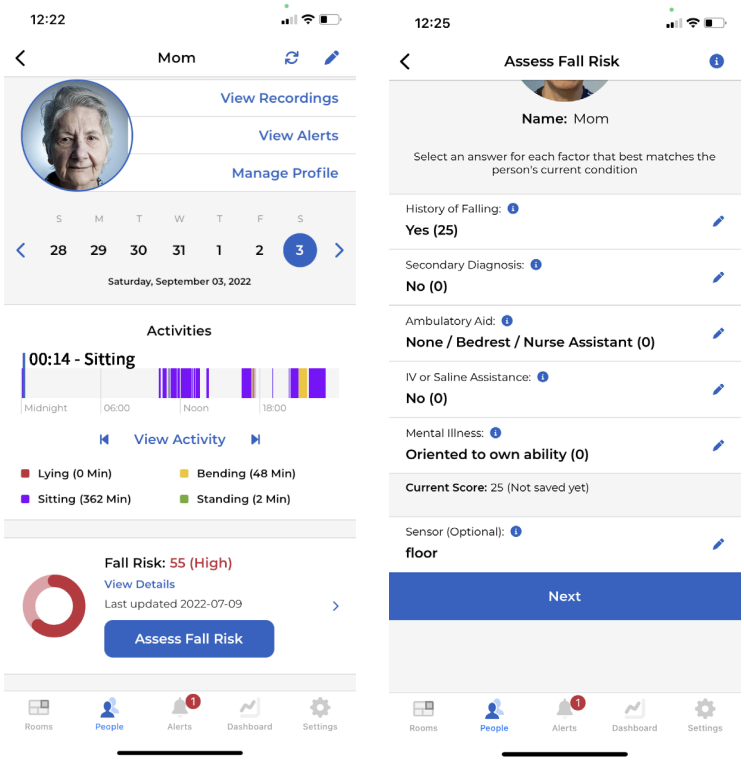
センサーによる評価方法は、次の 6 つの要因に点数を割り当てる広く使用されているモールス転倒リスク評価スケールであり、合計点数は転倒リスクを決定するために使用されます。

- 過去 3 ヶ月間の転倒歴
- 二次診断
- 「歩行補助具」
- 静脈内点滴
- 精神状態
- 「歩行の質」

モース法の平均感度・特異度は 80%以上、評価者間信頼度は 0.96 で、繰り返し検査が検査者間で高い一貫性を持つことを意味します。その結果、この方法は世界中で広く採用されています。

7.2 モース転倒リスク評価尺度

転倒リスク評価を実施するには、画面下部の「人」アイコンをクリックし、人の一覧から人を選択します。この人の個人ページで、「転倒リスクアセスメント」ボタンをクリックし、以下のように「転倒リスクアセスメント」ページにアクセスします。



「転倒リスク評価」ページでは、まず、検査対象者の健康状態について五つの質問に答えていただきます。質問と採点ルールは以下に記載されています。また、これらの情報は、各質問の横にある情報アイコンをクリックすることで、アプリケーション内で確認することができます。

1：過去 3 ヶ月以内に転倒の既往がある場合。
- 25：対象者が過去 3 ヶ月以内に最近転倒した履歴がある場合。
- 0：その他

2：二次診断：
- 15：対象者の病歴に、病気 / 服薬期間などの要因によるめまい、頻尿、ふらつき歩行などの副作用を含む、転倒リスクを高める可能性のある病名が二つや二つ以上ある場合。
- 0：その他

3：歩行補助具
- 0：歩行補助具を使用せず（または看護師の介助を受けながら）、車椅子を使用している、または寝たきり（立ち上がって歩くことが全くできない）場合。
- 15：様々な松葉杖や歩行補助具を使用している場合。
- 30：対象者が歩行時に壁や家具にしがみついて支えている場合（例：歩行時に補助が必要だが、助けを求めない、ベッドサイドの医学的アドバイスに従わないなど）。

4：静脈内点滴
- 20：患者が点滴を使用していたり、他の医療器具を装着している場合。
- 0：その他

5：精神状態

精神状態を検査するときは、「一人でトイレに行けますか、それとも手助けが必要ですか。」と患者に尋ねます。点数は以下になります。

- 0：患者さんの回答が病院・施設の記録と一致している場合。
- 15：患者さんの回答が記録と一致しない場合、または患者さんの回答が事実でない場合。

7.3 歩行解析

モース転倒リスク評価尺度の最後のステップは、その人の歩行や歩行の質を評価することです。棒人間センサーは、一般的に使用されている 3m 距離の Timed Up & Go（TUG）テストによって評価されます。このテストは、もともと高齢者向けに設計されましたが、その後、パーキンソン病、アルツハイマー病、股関節骨折、日常整形手術、その他の状態の人々にも正確であることが判明しています。3m 距離 UTG 法の平均感度と特異度も 80%を超え、評価者間信頼性は 0.98 でした。

7.3.1 部屋の設定

歩行分析では、まず被験者が棒人間センサーを設置する部屋を選択する必要があります。部屋にはテスト用に 3m 以上の空き地が必要で、アセスメント中に過去の転倒リスク評価の映像をセンサーが撮影・再生できるように、テストエリア全体をセンサーがカバーできる必要があります。

そして、次のような準備作業をしてください。

- 部屋にアームチェアを置く。
- 椅子の 3m 手前の床に目印（カラーテープなど）を置く。

検査を受ける方は、普段履いている靴を履き、**必要であれば歩行補助具を使用することができます。**必要であれば、高齢者の転倒を防ぐために、テスト中に人が付き添うことも可能です。

7.3.2 歩行テスト

テストは、まず被験者が椅子に座り、背中を背もたれに、両腕を椅子のアームに預けるところから始まります。

オペレーターがアプリの「スタート」ボタンをクリックすると、被験者が以下の動作をしてください。測试时に被験者が 1 回練習をすることを許可します。

1：椅子から立ち上がる。
2：快適で安全な速度で、3 メートル先の床にある目印まで歩く。
3：振り返る。

4: 椅子に戻る。
5：再び座る。

被験者が椅子に戻った後、オペレーターはアプリ内の「完了」ボタンをクリックします。次に、「提出」ボタンをクリックすると、アプリは歩行得点とモース転倒リスク評価の総合得点を表示します。

次に、アプリの[送信]ボタンをタップすると、歩行スコアとモールスフォールリスクスケールの合計スコアがアプリに表示されます。

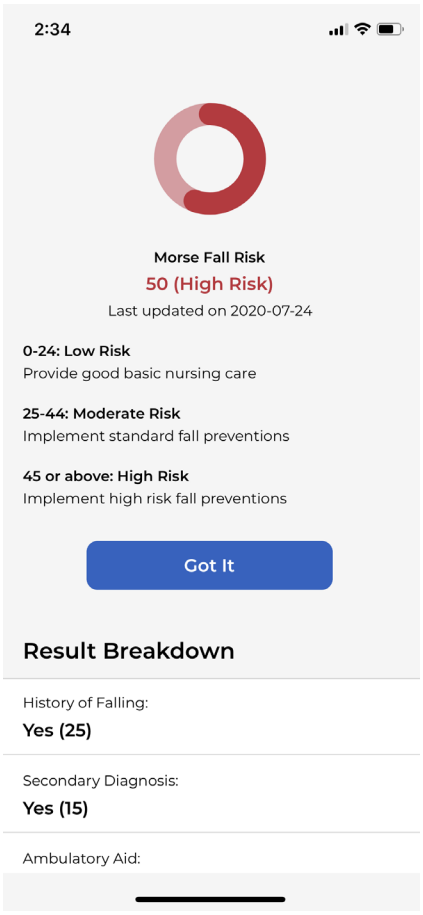
被験者の歩行解析に基づき、センサーは以下のように被験者の歩行得点を提供します。

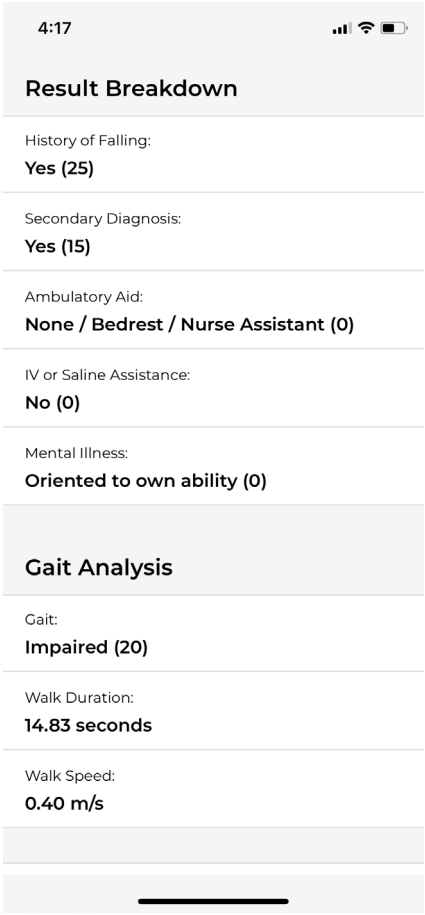
- 0：正常な歩行（または被験者が常にベッドや車椅子で休んでいる状態）
- 30：歩行が弱い
- 45：歩行に障害がある

7.4 最終的なモース転倒リスク評価

最終的なモース転倒リスク評価は、上記の 6 つの部分の合計得点に基づいて、以下の 3 つのカテゴリーに分類されます。

- 低リスク:　　0-24
    - 良好な基本介護が必要
- 中リスク:　　25-44
    - 標準的な転倒予防対策を実施する必要がある
- 高リスク:　　>=45
    - 高リスク予防転倒介入措置が必要





棒人間のアプリは、異なるレベルの転倒リスクに対して転倒予防策を提供します。また、評価結果ページで「棒人間ビデオを表示」をクリックすることで、前回の転倒リスク評価の記録を再生することができます。

AltumView Systems Inc.

8. ダシュボード

画面下部のメニューの[ダッシュボード]をタップすると、以下に示すように、このアカウントに関する統計情報が表示されます。

第一部分は、セクション 8.1 で詳述したように、訪問者の記録を表示します。

第二部分には、現在のアカウントの人数（各カテゴリーの人数を含む）が表示され、開いて一覧を見ることができます。

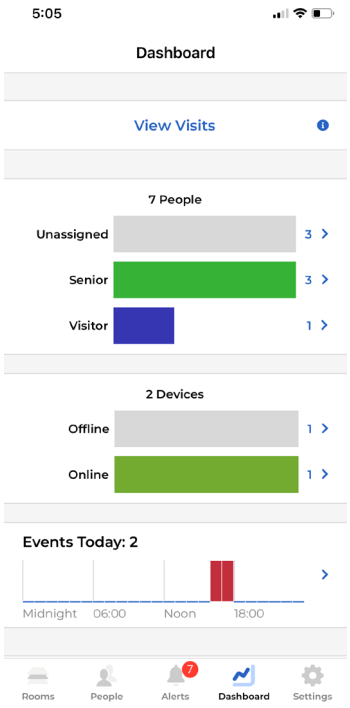
第三部分は、現在のアカウントのすべてのセンサーのオンライン/オフライン統計を表示し、各カテゴリのリストを表示するために開くことができます。

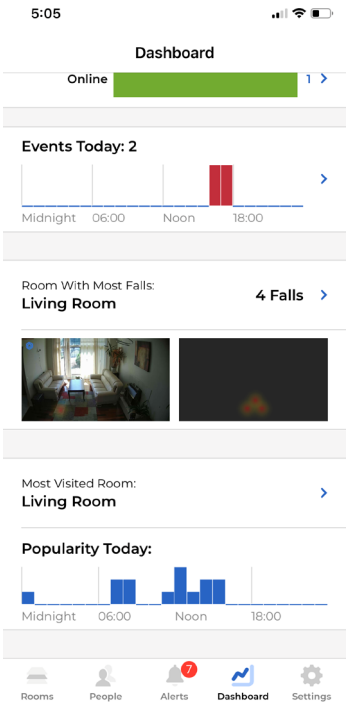
「今日のイベント」部分には、今日のすべてのイベントのリストが表示されます。このセクションをクリックすると、ユーザーは別の日または過去 30 日間のすべてのイベントをカレンダーで見ることができます。

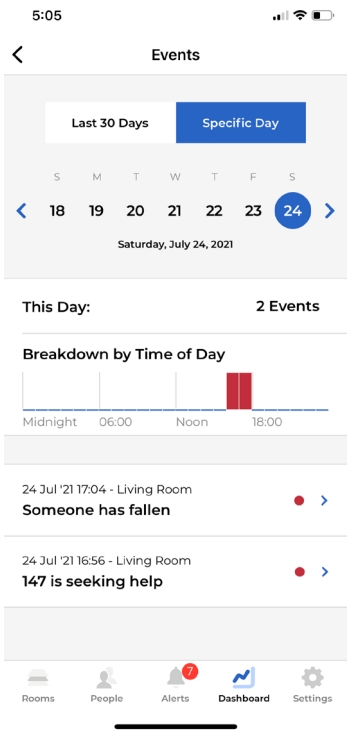
また、ダッシュボードページでは、転倒が多く発生する部屋と、転倒が発生する場所のヒートマップが表示されます。

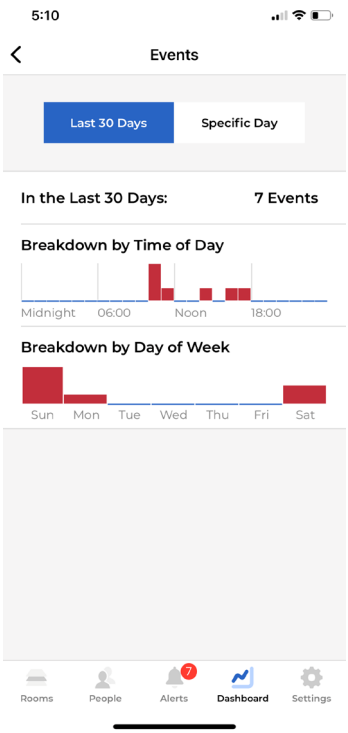
「最も訪問された部屋」をクリックすると、今日最も訪問された部屋とその時間分布が表示されます。また、他の日付や過去 30 日間の訪問者数の多い部屋は、カレンダーで確認することができます。

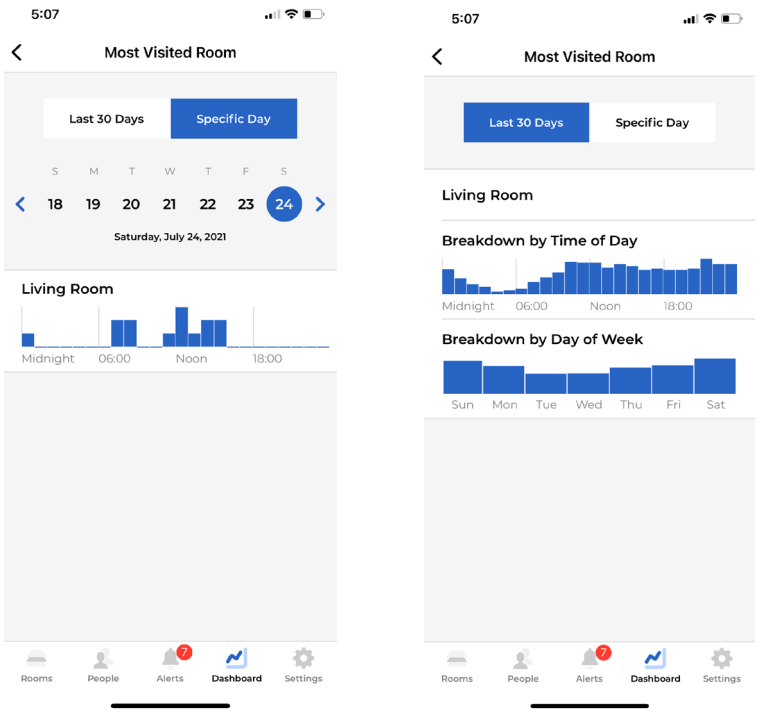
AltumView
Systems Inc.











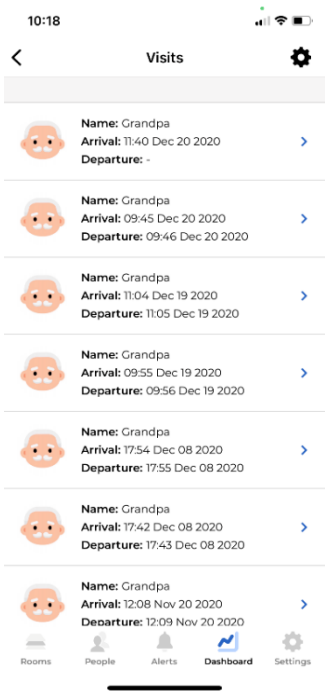
8.1 来訪記録

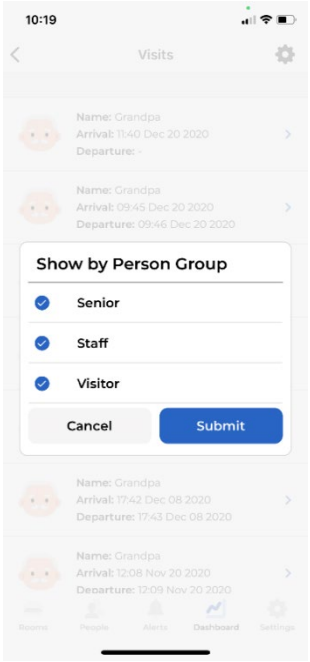
ダッシュボードの上部にある「訪問者を見る」コマンドをクリックすると、第 4 章の感心のある領域を通じて定義された出入口の記録を表示することができます。

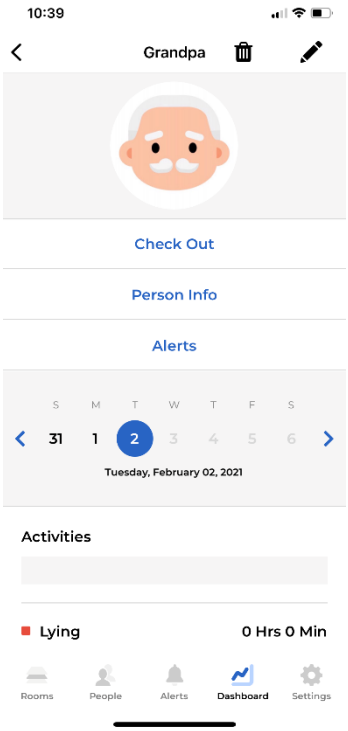
訪問者の記録ページで、右上の設定アイコンをクリックすると、特定のグループのアクセス記録のみを表示することを選択できます。「フィルタリング解除」をクリックすると、すべてのレコードの表示に戻ります。

何らかの理由で出発時刻が記録されていない人を、「訪問」ページから手動でチェックアウトすることもできます。これは、出発時刻が記録されていないレコードをタップすることで実行できます。次のページで「チェックアウト」コマンドをタップすると、下図のようなポップアップウィンドウが表示され、その人の出発時刻を入力することができます。

AltumView
Systems Inc.

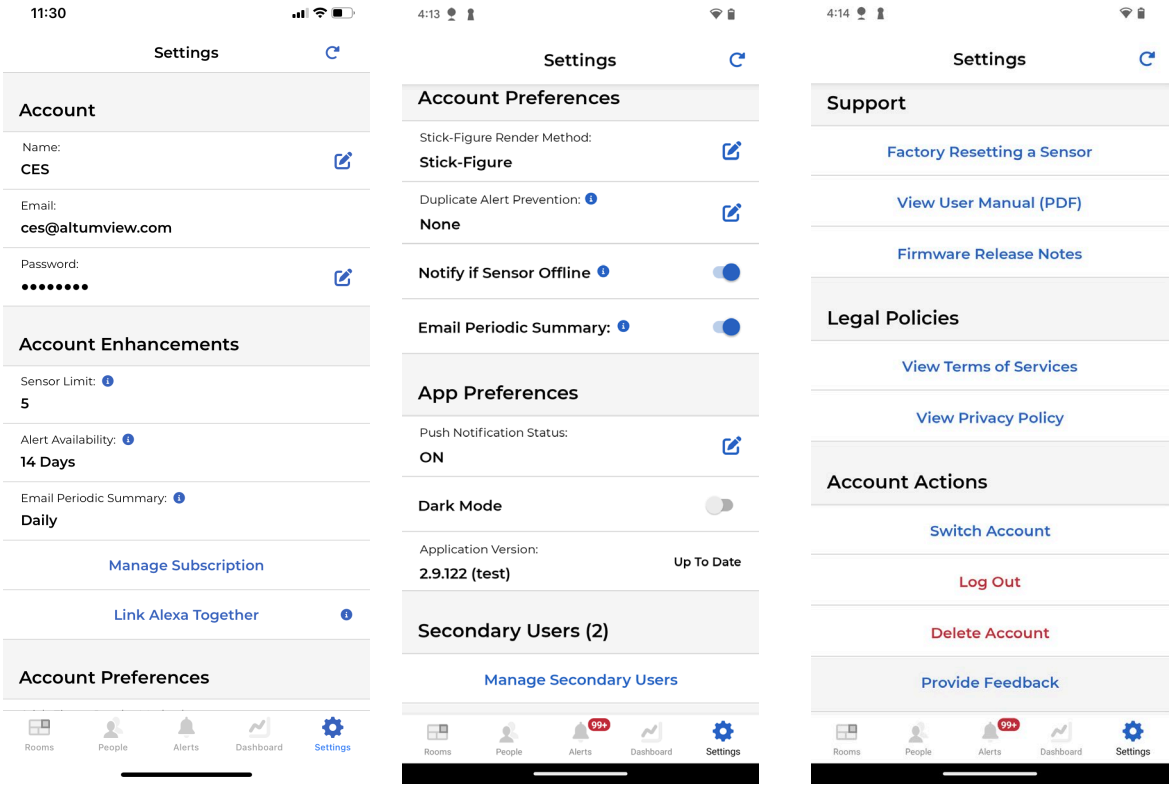






9. アカウント設定

右下の「設定」をタップし、アカウント設定ページにアクセスします。



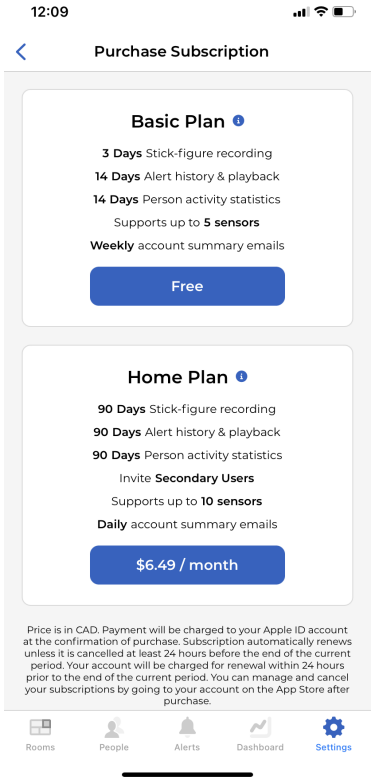
9.1 アカウント

ユーザーは、「アカウント」セクションで名前、メールアドレス、パスワードなどを変更できます。

9.2 アカウントの強化とサブスクリプションプラン

「アカウント強化」セクションには、アカウントに追加できるデバイスの最大数と、アラームログの表示可能日数が表示されます。

「サブスクリプションの管理」ボタンをクリックすると、「サブスクリプションプランの購入」ページが開きます。現時点、システムは 3 つのプランをサポートしています：



1. 無料の基本プラン（デフォルト）：

デフォルトの無料プランでは、3 日間の連続棒人間録画、14 日間のアラーム履歴と再生、14 日間の人物活動統計、最大 5 つのセンサー、二次ユーザーへの招待はありません。これは、ほとんどのコンシューマー・ユーザーに適用されます。

2：家族プラン（有料）：

家庭プランでは、90 日間の連続した棒人間録画、90 日間のアラーム履歴と再生、90 日間の人物アクティビティ統計情報を提供し、最大 10 台のセンサーをサポートし、サブユーザーを招待することができます。このプランは、個人消費者または小規模企業に適しており、6〜10 個のセンサーが必要で、長期データにアクセスし、サブユーザーを招待する必要がある場合に最適です。家族プランは、90 日間の連続棒人間映像、90 日間のアラーム履歴と再生、90 日間の人物活動統計、10 個までのセンサーのサポート、およびセカンダリーユーザーを招待する機能を提供します。このプランは、長期的なデータへのアクセスやセカンダリーユーザーの招待を必要とする、一部の個人消費者や 6〜10 個のセンサーを持つ小規模企業に適しています。

3：企業向けプラン（有料）：

企業プランは、大量のセンサー、API 統合、またはより多くの技術サポートが必要な企業や機関に適しています。カスタムソリューションを取得するために、当社の営業チームにお問い合わせいただくか、contact@altumview.com メールを送信してください。ビジネス契約に基づいて、センサーの数、ヒートマップ録画日数、アラーム日数、およびアクティビティ統計日数など、関連するパラメータをサーバーで変更することができます。

9.3 アカウント設定

アカウント設定セクションには 4 つの設定があります：

9.3.1 棒人間のプレゼンテーション

プライバシー保護のため、棒人間センサーは各人の 棒人間に関する情報のみをサーバーに送信する。棒人間アプリケーションは棒人間とシルエットの 2 つの提示方法を提供します。ユーザーは 棒人間 プレゼンテーションの横にあるペンアイコンをクリックして、プレゼンテーションの変更ページに移動することで、どちらかを選択することができます。

9.3.2 重複アラート防止

「重複アラート防止」は、ある部屋から頻繁にアラームが発生しないようにするための設定です。この値は、「Duplicate Alert Prevention」の右側にある鉛筆のアイコンをクリックすることで変更可能です。「なし」に設定した場合、部屋のセンサーから発生したすべてのアラームがクラウドとアプリに送信されます。設定が時間（例：2 時間）の場合、同じイベントによるアラームの繰り返しを減らすため、2時間ごとに1部屋につき最大1つのアラームを発生させます。**「重複アラート防止」の初期値は「なし」です。**

「重複アラート防止」の設定は、管理者のみ変更可能です。

9.3.3 センサーオフライン通知

このオプションをオンに設定すると、センサーがオフラインになった場合、オフラインになってから 15 分後にサーバーからアプリケーションに通知が送信されます。その後、オフラインセンサーに関するプッシュ通知は 1 日 2 回送信されます。

9.3.4 定期的な電子メールの概要

このオプションがオンになっている場合、ユーザーは以下のようにセンサーの状態とセンサーによって記録された人のアクティビティが記載された電子メールを定期的に受信します。

無料プランのユーザーの場合、1 日分の概要として 1 週間に 1 回のみメールが送信されます。有料プランの場合、概要は毎日送信されます。

AltumView Systems Inc.

9.4 アプリの設定

9.4.1 プッシュ通知の状態

棒人間のセンサーは、転倒などの異常なイベントを検出し、即座にユーザーのモバイルデバイスにアラートを送信することができます。しかし、この機能を完全に活用するために、ユーザーはモバイルデバイスのシステム設定で棒人間アプリがプッシュ通知を送信することを許可する必要があり、ユーザーは振動と音でそのような通知を受け取ることができます。プッシュ通知は、棒人間の設定ページにある「プッシュ通知ステータス」コマンドでオンかオフを切り替えることができます。

注意事項：棒人間アプリがバックグラウンドで動作している場合、多くの携帯電話では様々な省電力設定がされており、プッシュ通知が無効になる場合があります。お使いの携帯電話の取扱説明書をご参照の上、棒人間アプリのプッシュ通知が有効になっていることをご確認ください。iPhone の場合、「設定」か「バッテリー」ページで低バッテリーモードをオフにしてください。

9.4.2 ダークモード

この切り替えは、アプリケーションのユーザーインターフェースを通常モードとダークモードの間で変更します。

9.4.3 アプリのバージョン

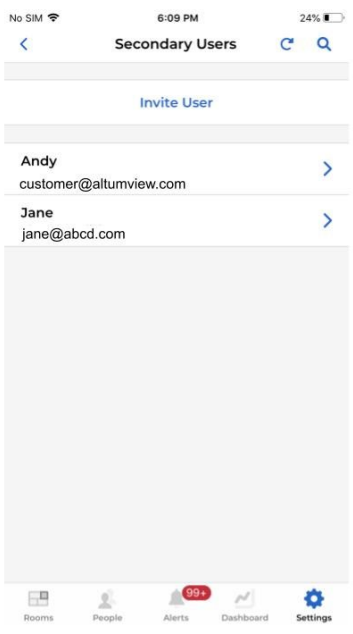
このセクションには、棒人間アプリケーションのバージョン番号が表示されます。

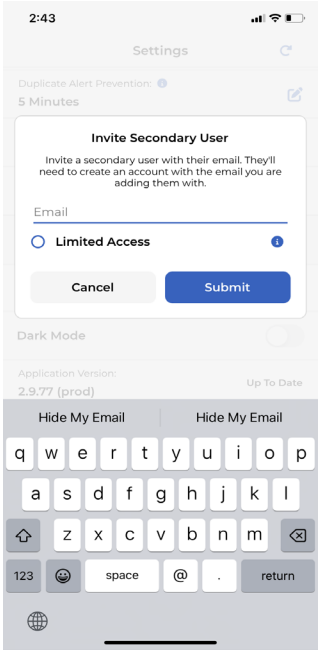
ユーザーは「更新を確認」コマンドをクリックすることで、アプリケーションに新しいバージョンがあるかどうかを確認することができます。

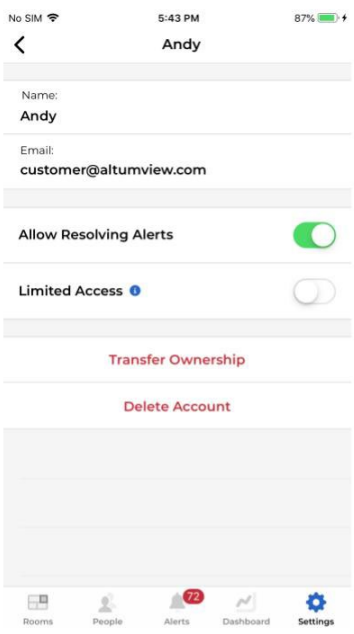
9.5 セカンダリユーザー

ユーザーはホームプランとエンタープライズプランに加入した後、プライマリーアカウントまたは管理者アカウントは、他の人をアカウントのセカンダリーユーザーとして招待し、彼らがアクセスできる部屋と人を選択することができます。セカンダリーユーザーは、自分に割り当てられた部屋、センサー、人に関する情報を閲覧したり、それらに関するアラートを受信したりできます。しかし、しかし、彼らは他の部屋、センサー、および人の情報にアクセスすることはできず、またメインアカウントの設定を変更することもできません。セカンダリーユーザーを招待するには、次のように操作します：

- メインユーザーアカウントにログインしてください。
- 「設定」ページの「ユーザーを管理する」をクリックします。
- セカンダリーユーザーの管理画面で、「セカンダリーユーザーを招待する」とクリックしてください。
- 招待ユーザーのメールアドレスを記入してください。招待ユーザーが一部の部屋と人にのみアクセスする必要がある場合は、「限定アクセス」にチェックを入れ、「送信」をクリックして招待状を送信してください。このアドレスは既存の棒人間アカウントで使用できません。1 つのメールに登録できる棒人間アプリのアカウントは、メインユーザーまたは招待されたユーザーのどちらか 1 つだけです。
- 招待されたユーザーには、登録のためのリンクが記載されたメールが届きます。
- リンクが開かれると、招待されたユーザーはメールアドレス、名前、パスワードを入力し、棒人間アプリのセカンダリーユーザーとして登録することになります。成功したセカンダリーユーザーは、直接アプリにログインすることができます。
- セカンダリーユーザーを招待する際に「アクセス制限」が選択されていない場合、新しいユーザーはメインアカウントのすべてのルーム、センサー、人にアクセスすることができます。アクセス制限」がチェックされている場合、主ユーザーは次のページで、このユーザーがアクセスできる部屋と人、およびアラームを扱えるかどうかを選択できます。







ユーザーを招待できるのは、管理者のみです。

各アカウントのセカンダリーユーザーは、設定画面の「ユーザー招待」コマンドで、下図のように一覧表示されます。セカンダリーユーザーをクリックすると、次の画面で、セカンダリー

ユーザーを削除したり、プライマリーユーザーの権利をセカンダリーユーザーに移したりすることができます。

セカンダリーユーザーを削除すると、セカンダリーユーザーが使用していたメールボックスを使用して、上記の新規アカウントと同様にプライマリーユーザーまたはセカンダリーユーザーを再登録することができるようになります。

9.6 サポート

9.6.1 センサーの工場出荷時リセット

このボタンをクリックすると、**第一世代及び第二世代**センサーの工場出荷時のリセット手順が表示されます。

9.6.2 取扱説明書を見る（PDF）

このボタンをクリックすると、棒人間ユーザーマニュアルの PDF ファイルが開きます。

9.6.3 ファームウェア・リリースのお知らせ

このボタンをクリックすると、棒人間センサーファームウェア・リリースページが開きます。

9.7 法的方針

9.7.1 ご利用規約を見る

ユーザーは、設定ページの「ご利用規約を見る」をクリックすることで、本製品の利用規約を閲覧することができます。

9.7.2 プライバシーポリシーを見る

ユーザーは、設定ページの「プライバシーポリシーを見る」をクリックすることで、プライバシーポリシーを閲覧することができます。

9.8 アカウントの操作

9.8.1 アカウントの切り替え

ユーザーは複数のアカウントを使用し、時々切り替える必要がある場合があります。ユーザーは、異なるユーザー名とパスワードを入力する手間を省くために、「アカウント切り替え」機能を使用することができます。この機能は、アプリケーションが複数のアカウントのユーザー名とパスワードを記憶し、ログイン情報を再入力することなく迅速に切り替えるができます。

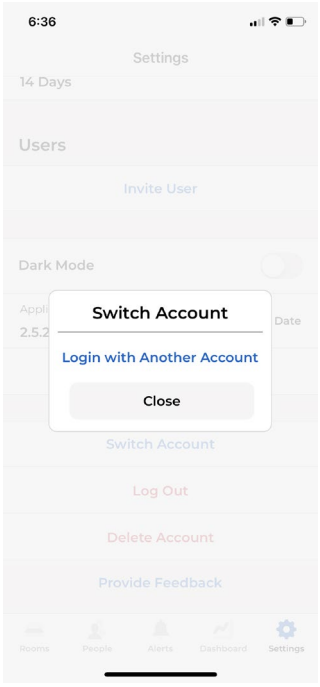
なお、アプリケーションに複数のアカウントが保存されている場合でも、アラートなどの通知は現在のアカウントにのみ届きますのでご注意ください。

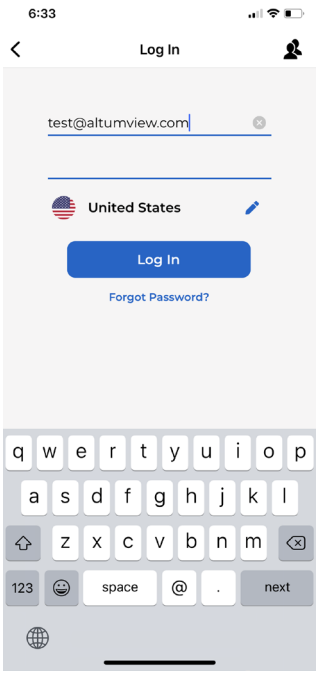
別のアカウントに切り替えるには、画面右下の「設定」アイコンをクリックし、設定画面の一番下にある「アカウントの切り替え」をクリックしてください。

アプリケーションは、保存されているすべてのアカウントを一覧表示します。ユーザーはログインしたいアカウントをクリックするだけで、アプリケーションは自動的にそのアカウントに切り替わり、ユーザー名とパスワードを再入力する必要はありません。

アプリケーションに他のアカウント情報が保存されていない場合、または希望するアカウントがリストにない場合、ユーザーは「別のアカウントでログイン」コマンドをクリックすると、アプリケーションはログインページに移動し、アカウントのログイン情報を入力してそのアカウントにログインすることができます。 そのアカウントはユーザーリストに記録され、ユーザーは後でそのアカウントに切り替えることができます。ただし、アラートなどのプッシュメッセージを受け取ることができるのは、現在のアカウントのみです。アプリケーションに保存されている他のアカウントは、プッシュを受信しません。

アカウント切り替え機能で複数アカウントのログイン情報を保存しておけば、ログインページの右上にあるマルチプレイのアイコンをクリックすることで、ログインページでどのアカウントにログインするか選択することも可能です。





9.8.2 ログアウト

ユーザーは、設定画面の「ログアウト」をタップすることで、アプリケーションからログアウトできます。

9.8.3 アカウントの削除

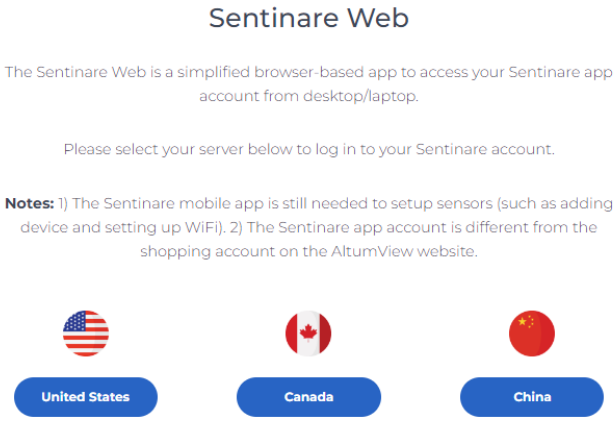
設定画面の「アカウント削除」をクリックすることで、ユーザーアカウントの削除、全デバイスのリセット、すべての人物と写真の削除、すべてのアラーム履歴の消去が可能です。

9.8.4 フィードバックを提供する

ユーザーは、設定ページの「フィードバックを提供する」をクリックすることで、当社にフィードバックを与えることができます。

10. ブラウザーインターフェース

モバイルアプリ以外に、システムはブラウザインターフェースも提供しています。これは機関の顧客にとって非常に役立ちます。ブラウザは、デバイスの追加、WiFi の設定、キャリブレーションなどの Bluetooth を必要とするセンサーのセットアップ操作を除き、棒人間アプリの主な機能を備えており、Bluetooth 対応のモバイルデバイスで行う必要があります。ユーザーは、ウェイブリンクで www.altumview.ca を通じ、棒人間画面に行けます。そして、メニューの「Product」をクリックし、直接「Web App」を選択してください。またはこちらのリンクアドレスでアクセスしてください。https://www.altumview.ca/sentinare-web/



上記のページで、使用しているサーバーを選択してください。

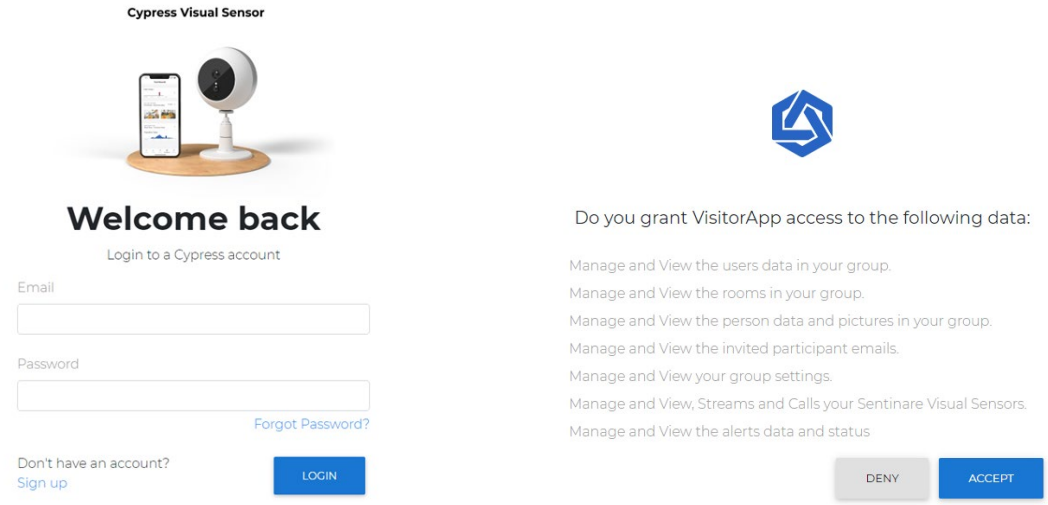
各サーバー用のブラウザー・インターフェースには、以下のアドレスから直接アクセスすることもできます（https:// を含める必要がある）。

中国サーバーのユーザー：https://app.altumview.com.cn

米国サーバーのユーザー: https://app.altumview.com

カナダサーバーのユーザー: https://app.altumview.ca

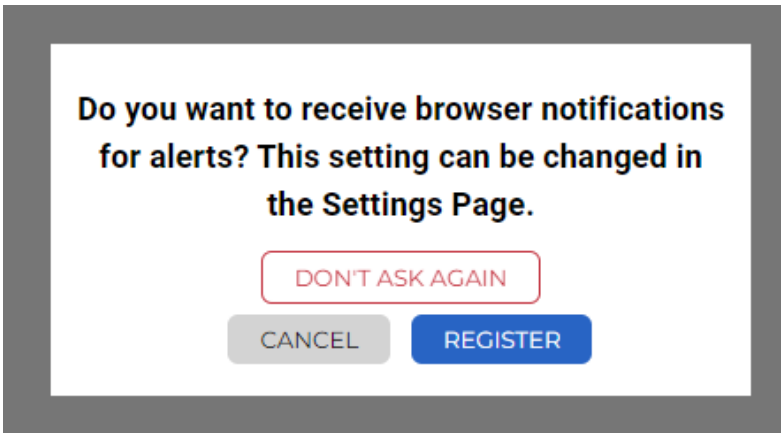
そうすると、以下のログインページが表示されます。棒人間アプリのアカウントでログインすると、まず以下のように、このページでユーザーデータへのアクセスを許可するよう求められます。



ブラウザ画面へのログイン時に以下のエラーが発生する場合は、ブラウザの Cookie やキャッシュをクリアするか、ブラウザのシークレットモードを使用するか、他の種類のブラウザを使用してください：

{"status_code": 401, "message": "Token is invalid or expired.", "success": false, "error": {"name": "AccessDeniedError", "code": 28}}

その後、以下のポップアップメッセージが表示され、アラートのプッシュ通知を受信するかどうかが確認されます。



プッシュ通知を受け入れるために「有効」をクリックしても、上記のウェブサイトがプッシュ通知を送信できるようにブラウザの設定を変更する必要がある場合がありますのでご注意ください。

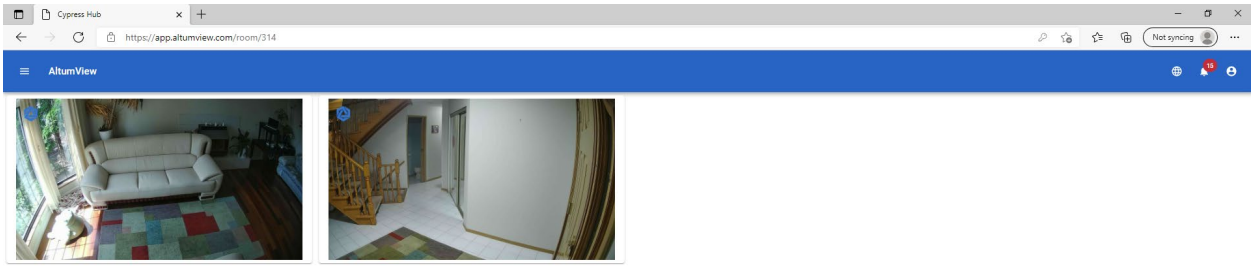
ブラウザによって、プッシュ通知をオンにする方法は異なります。お使いのブラウザで検索してみてください。例えば、Google Chrome ブラウザの場合、「設定」>「プライバシーとセキュリティ」>「サイト設定」の順に進み、「許可」>「通知」の順にスクロールダウンすることで

行うことができます。通知の送信を許可する」セクションで、上記のウェブサイトを追加します。例えば、https://app.altumview.com。

10.1 部屋

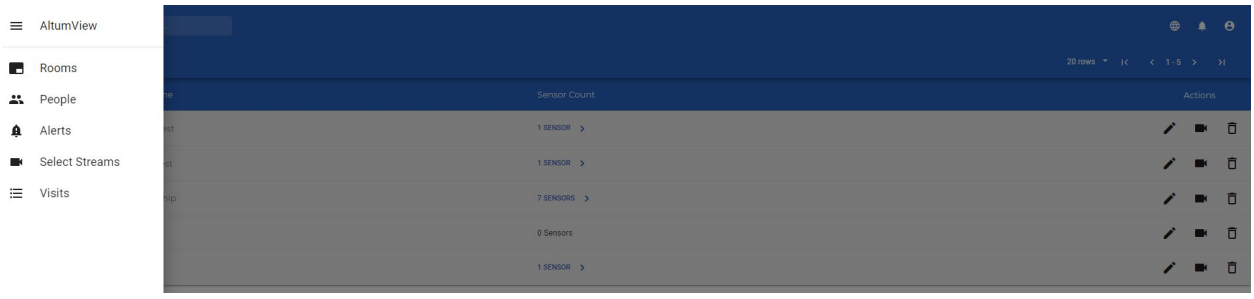
ログインすると、次のようなルームのページが表示されます。 ユーザーは、さまざまなルームを閲覧したり、ルーム名を変更したりすることができます。

鉛筆アイコンの右側にあるアイコンをクリックすると、下の画像のように、その部屋にあるすべてのデバイスから棒人間のビデオストリームを同時に再生することができます。



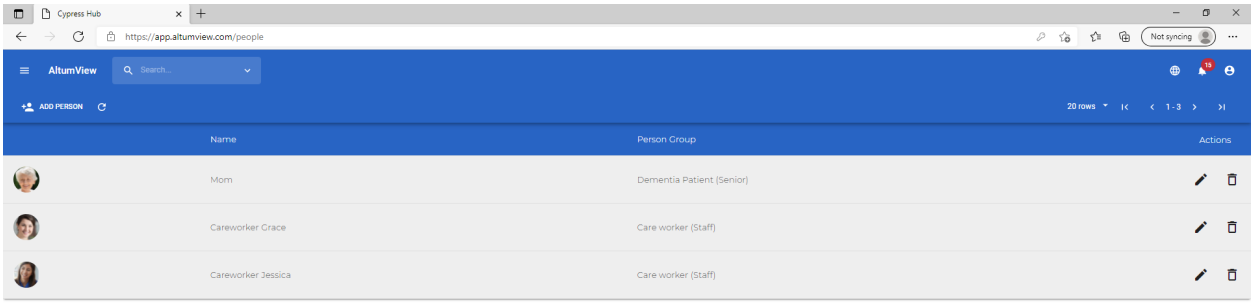
ユーザーは、ページ右上の地球マークをクリックすることで、言語を設定することができます。

左上のメニューアイコンをクリックすると、下図のように、メニュー内の「人」「アラーム」「セレクトストリーム」「訪問者記録」などのページに切り替えることができます。

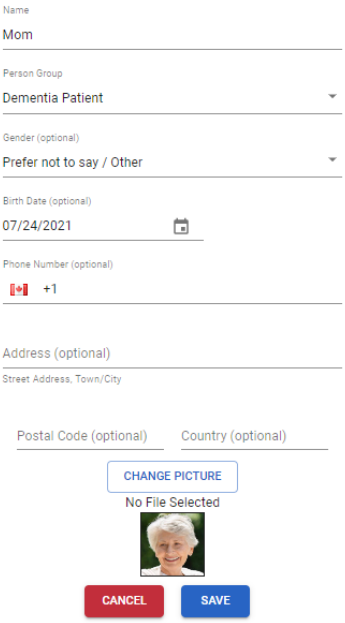


10.2 人

メニューの「人」をクリックしてください。ユーザーのアカウントにあるすべての「人」のリストが表示されます。このリストは、モバイルアプリの「人」のリストと同じです。



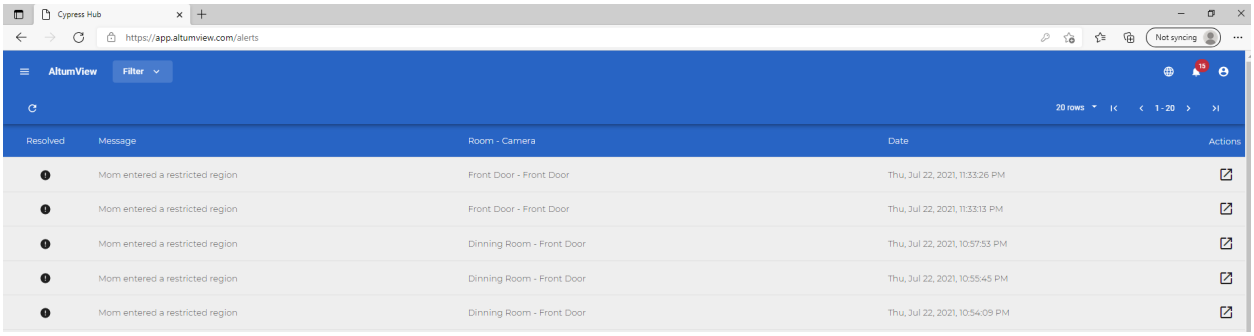
ユーザーはここで「人を追加」をクリックして、新しい人を追加することができます。ポップアップウィンドウで、その人の名前、グループ、性別、生年月日、電話番号、住所などを入力し、顔写真をアップロードして「保存」をクリックします。この新しい人は、アプリの人リストにも表示されます。

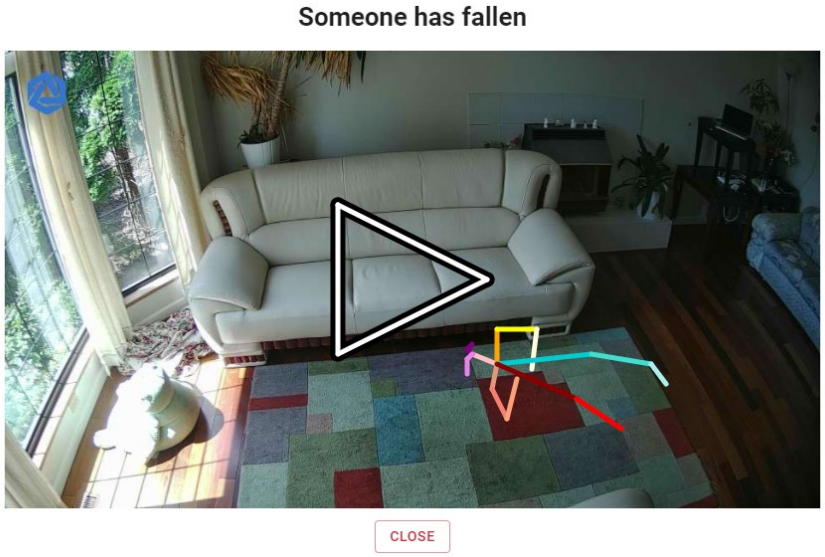


ユーザーは、人一覧でその人の右側にあるビンのマークをクリックすることで、その人を削除することもできます。削除された人のプロフィールは、同時にアプリから削除されます。

10.3 アラート

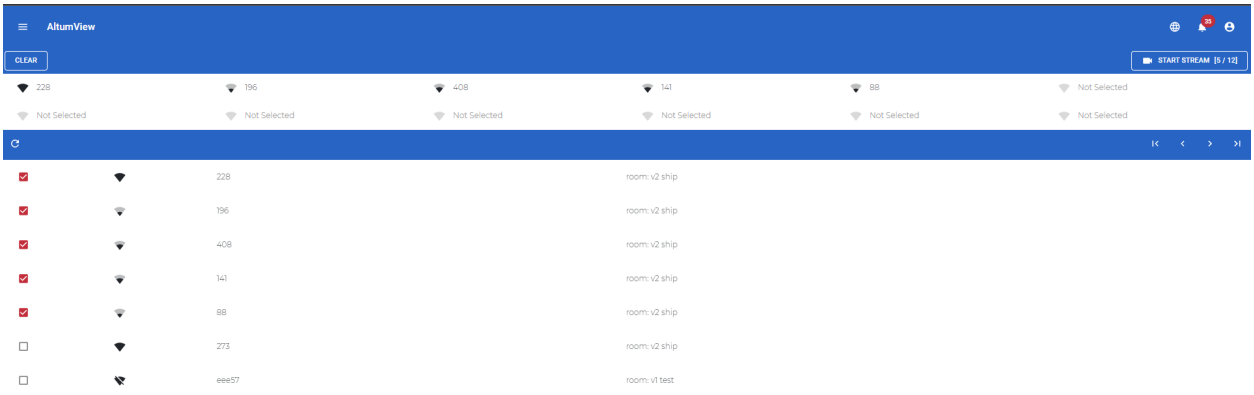
メニューリストの「アラーム」をクリックするか、ページ右上のアラームマークをクリックすることで、アラームログページにアクセスできます。このページでは、ユーザーのアカウントにあるすべてのアラームが一覧表示され、モバイルアプリで一覧表示されるアラームログと同じです。また、ページ上部の「フィルター」を使って、アラームの種類を絞り込んだり、アラームの棒人間アニメを再生したりすることができます。

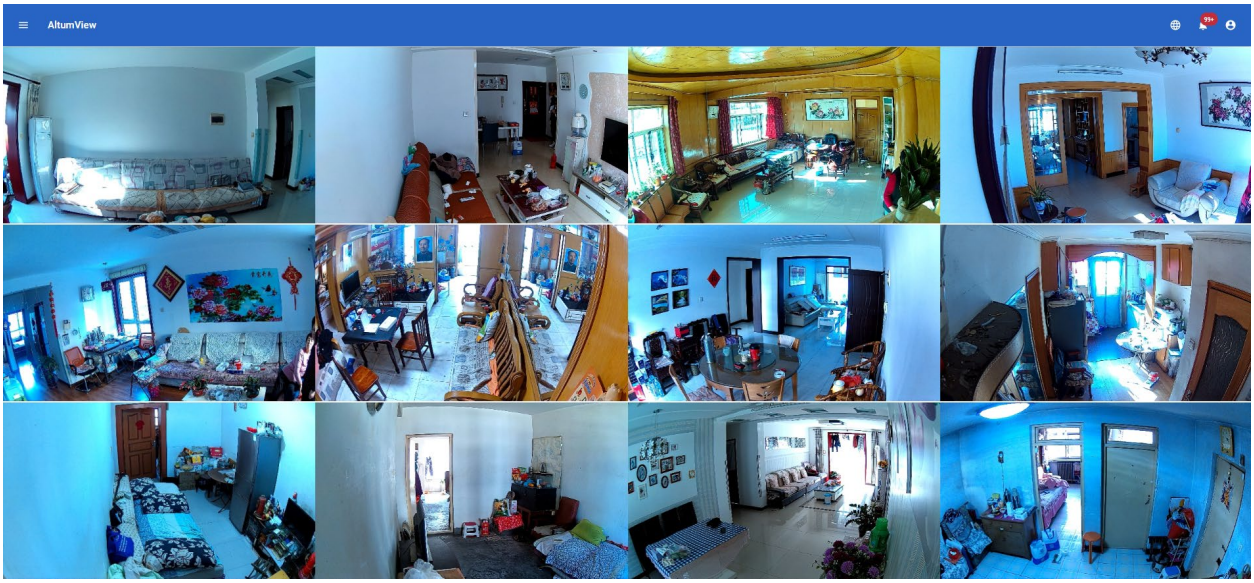




10.4 棒人間のビデオストリーミング

メニューの中の「Select Streams」をクリックすると、ユーザーは異なる部屋から最大 12 個のセンサーを選択し、右上の「Start Streams」コマンドをクリックすることができます。これにより、選択したすべてのセンサーからの棒人間のライブビデオストリームが同じページ上に同時に表示されます。



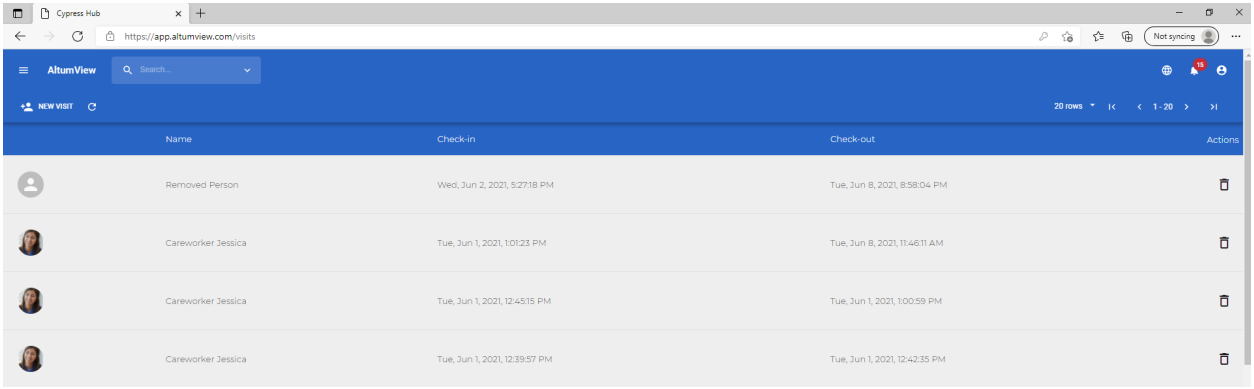


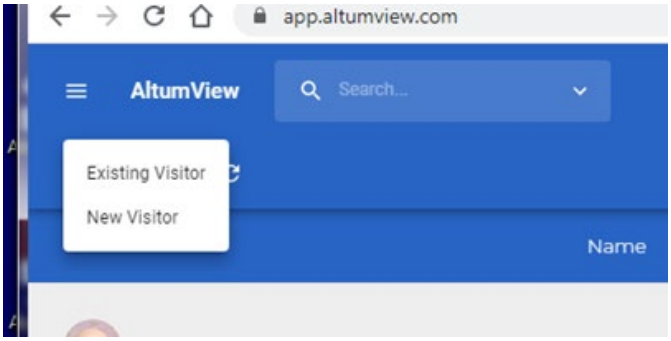
10.5 訪問記録

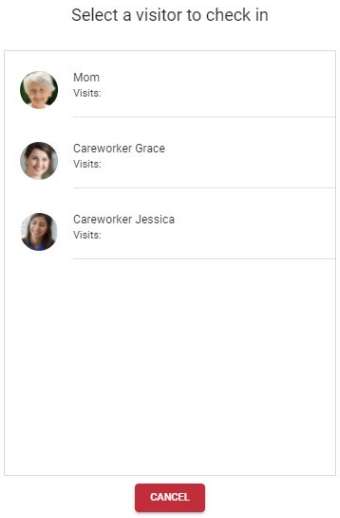
メニューで「Visits」オプションをクリックすると、すべての入室と退室の記録が表示されます。「訪問者」の記録には、訪問者の名前、写真、訪問時刻、出発時刻が含まれます。

入退室記録は、「感心のある領域」ページ（4.2.6 項参照）を通じて入退室を定義したセンサーが作成することができます。センサーが人を特定できる場合、棒人間センサーは手動で登録することなく、自動的に入退室記録を作成することができます。退出記録は、その人がすでに入室記録を持っている場合にのみ生成することができます。

ユーザーは手動で入退室記録を作成することもできます。来訪記録を手動で作成する場合は、「来訪」ページで「訪問者記録を追加」をクリックし、人が「人」リストにある場合は、ポップアップウィンドウで「既存の訪問者」を選択し、人を選択すると、その人の来訪記録が作成されます。ユーザーはその人の記録で「現在ログアウト」をクリックするだけで、退室の記録を完了することができます。







人が「人」リストにない場合は、ポップアップリストで「訪問者を追加」を選択し、訪問者の新規レコードを作成します。

また、ユーザーは記録の右側にあるビンのアイコンをクリックすることで、記録を削除することができます。

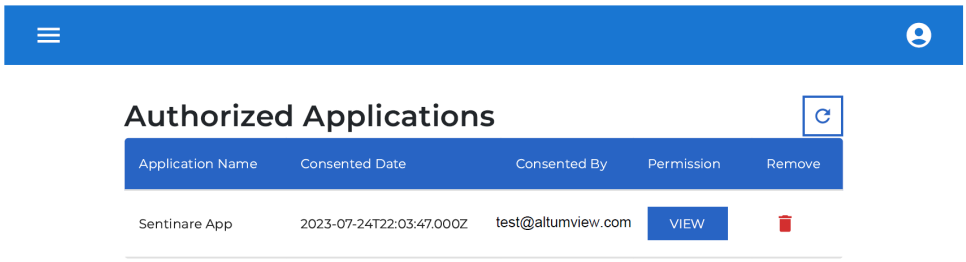
11. サードパーティ API 連携

棒人間センサーシステムは、サードパーティーのインターフェイスとして API インターフェースを提供しています。サイプレスおよび棒人間センサーの全データは API 経由で利用でき、他のシステムに統合することが可能です。

API の統合を開始する前に、AltumView 社の許可を得るために最初に contact@altumview.com に電子メールを送信する必要があります。AltumView が API 統合を有効にする許可を与えた後、ご利用の棒人間センサーサーバーから下記のページにログインしてください。

- 中国: https://accounts.altumview.com.cn
- 米国: https://accounts.altumview.com
- カナダ: https://accounts.altumview.ca

棒人間アカウントでログインすると、以下のページが表示されます。



左上隅のメニューアイコンをクリック（API 統合権限がない場合は使用できません）。そこで API FAQ ファイル、詳細な OAuth API ドキュメント、およびサイプレス/棒人間 API ドキュメントが参照できます。FAQ ファイルをよく読み、その中の例を含め、指示に従って統合を行ってください。

メニューの OAuth 2.0 Credentials をクリックすると、以下のページが表示されます。

このページでは、右上の「Create Grant」コマンドを使用して、クライアント ID とシークレットを含むセキュリティ認証情報を生成することができます。この情報を適切に保存してください。

アラートをプッシュする必要がある場合は、アラート転送の下にある「セットアップ」コマンドを選択し、次のページでアラート転送ウェブフックを指定してください。システムはお客様のために RAS 公開鍵を生成します。このページのアラート転送のドキュメントと例をお読みください。